

Panasonic®

取扱説明書 活用ガイド デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 DC-GX7MK3L
DC-GX7MK3K
DC-GX7MK3



LUMIX

困ったときは？
メッセージ
表示 P.270
Q&A 故障かな？
と思ったら P.272

知りたいことの
探し方 P.2

本機の特長 P.4

目次 P.6

機能別目次 P.11

各部の名前と
働き P.16

メニュー一覧 P.157

さくいん P.289

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（付属冊子「取扱説明書」）を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

DVQP1461ZB
M0218KZ1079

本書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動しますので、知りたいことを素早く探せます。

本機の特長 → P.4 ~

目次 → P.6 ~

機能別目次 → P.11 ~

各部の名前と働き → P.16 ~

モニター/
ファインダーの
表示一覧 → P.265 ~

メッセージ表示 → P.270 ~

メニュー一覧 → P.157 ~

Q&A 故障かな?と
思ったら → P.272 ~

さくいん → P.289 ~

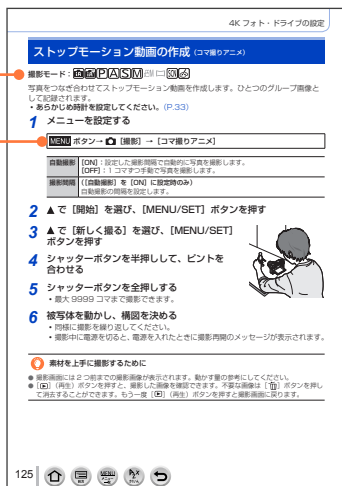
このページに
移動します。

直前に表示していたページに戻ります。



撮影モード表示


- アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニューや機能を選択 / 実行できません。
- **C** (カスタムモード) は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。



本文中の記号


MENU [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。



Wi-Fi [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。





 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

(P.00) 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

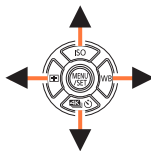
メニュー設定の手順を次のように説明しています。

例) [撮影] メニューで、[クオリティ] を  に設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → 

- カーソルボタンの上下左右を     で表します。
- ダイヤルの操作を次のように表します。

前ダイヤルを回す	
後ダイヤルを回す	
後ダイヤルを押す	



- 本書では、メモリーカードを「カード」と表記します。
- 本書では、交換レンズ (H-FS12032) を用いて説明をしています。

直感的に操作できるデザイン

ファインダーの角度を調整して、フォーカスモードレバー、露出補正ダイヤル、前/後ダイヤルを操作することで、ファインダーから目を離さずに設定から撮影まですることができます。

豊かなモノクロ表現

ハイライトとシャドウをより強調しつつディテールの表現にもこだわった、フォトスタイル [L. モノクローム D] を搭載。ダイナミックで力強い印象の作品に仕上がります。(P.160)



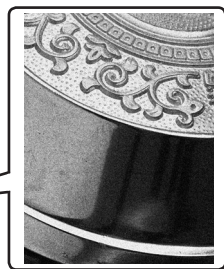
モノクローム



L. モノクローム



L. モノクローム D



L. モノクローム D + 粒状

さらに、モノクロフィルムを現像するときの粒状感を再現することで、より深みのあるモノクロ画像に上げることができます。(P.161)

進化した 4K フォト

30 コマ / 秒の連写から一瞬を選び出し、約 800 万画素の写真を保存することができます。(P.102)

オートマーキング機能

被写体の動きや顔を、カメラが自動で検出してマーカーを設定します。マーカーの位置へスキップして、写真に残したいシーンを、4K 連写ファイルの中から簡単に探すことができます。(P.108)

軌跡合成

4K 連写ファイルの中から複数の写真を合成し、動いている被写体の軌跡を 1 枚の写真に合成できます。(P.206)



フォーカスセレクト / フォーカス合成

フォーカスセレクト撮影をすると、撮影後にピント位置を選び、写真を保存することができます。フォーカス合成で、4K 連写ファイルの中から複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げた写真を作ることができます。(P.112)

手持ちの撮影シーンを広げる手ブレ補正機能

ボディ内手ブレ補正

上下方向、左右方向、縦回転、水平回転、回転軸の5軸でブレを補正します。手ブレ補正機能がないレンズの描写力を最大限に引き出します。(P.127)

Dual I.S.

写真撮影時は、ボディ内手ブレ補正とレンズ内手ブレ補正を組み合わせた Dual I.S. 方式で、より効果的にブレを抑えます。

動画撮影時は、ボディ、レンズ、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正を採用し、全方位のブレを抑えます。

Wi-Fi 機能 / Bluetooth 機能

Bluetooth low energy 対応のスマートフォンと Bluetooth 接続できます。

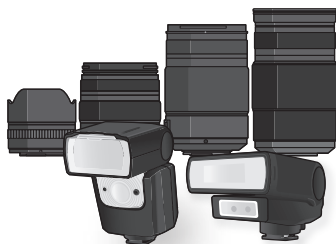
スマートフォンを操作して、離れたところにあるカメラの電源を入れたり、リモート撮影したりできます。また、撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録することもできます。(P.213)

表現の幅を広げる交換レンズ / 別売品

広角から望遠まで、高い描写性能と優れた機動性を備えた交換レンズを多数用意しています。

- 交換レンズについては、カタログ・ホームページをご覧ください。

ワイヤレス対応のフラッシュライトなど、別売品を活用することで、表現の幅を広げたり、より快適な撮影を行うことができます。(P.262)



■ 知りたいことの探し方	2	■ 本機の特長	4
■ 本書の見方	3	■ 機能別目次	11

はじめに

■ ご使用の前に	13	■ 各部の名前と働き	16
■ 同梱品	14	■ 本機で使用できるレンズ	19

準備

■ ショルダーストラップを付ける	20	■ カードについて	28
■ バッテリーを充電する	21	カードをフォーマット（初期化）する	29
バッテリーを入れる	22	記録可能枚数・時間の目安	29
充電する	23	■ レンズを付ける・取り外す	31
■ カード（別売）を 入れる・取り出す	27	■ 時計を合わせる	33

基本操作

■ カメラの構え方	34	■ タッチパネル（タッチ操作）	44
レンズを繰り出す / 収納する [交換レンズ（H-FS12032）装着時]	34	タッチした位置にピントを合わせる （タッチ AF、タッチシャッター）	45
■ モニターとファインダーの角度を 調整する	35	タッチした位置に明るさを合わせる （タッチ AE）	46
■ 撮影時に使うボタン / ダイヤル	36	■ メニューを使って設定する	47
[LVF] ボタン（ファインダー撮影）	36	■ よく使うメニューをすぐに呼び出す （クイックメニュー）	49
シャッターボタン（写真を撮る）	37	クイックメニューをお好みの項目に 変更する	50
動画ボタン（動画を撮る）	37	■ よく使う機能をボタンに割り当てる （ファンクションボタン）	51
モードダイヤル（撮影モードを選ぶ）	38	撮影時にファンクションボタンを使う	51
前ダイヤル / 後ダイヤル	38	再生時にファンクションボタンを使う	53
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン （項目を選択 / 決定する）	41	■ 文字を入力する	54
[DISP.] ボタン （画面の表示情報を切り換える）	41		



撮影モード

■ カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード).....	55
インテリジェントオートメニュー.....	57
色合いを設定する.....	58
明るさ(露出)・背景のボケ具合 (ボケ味コントロール)を設定する.....	59
■ 絞り値とシャッタースピードを 自動で設定して撮る (プログラムAEモード).....	60
■ 絞り値/シャッタースピードを 決めて撮る.....	61
絞り値を決めて撮る (絞り優先AEモード).....	61
シャッタースピードを決めて撮る (シャッター優先AEモード).....	61
絞り値とシャッタースピードを決めて 撮る(マニュアル露出モード).....	62
絞り効果/シャッタースピード効果を 確認する(プレビューモード).....	64
絞り値/シャッタースピードを 簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュAE).....	65
■ パノラマ写真を撮る (パノラマモード).....	66
■ 撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード).....	68
シーンガイドモードの種類.....	68
■ 画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)...	71
画像効果の種類.....	72
■ 絞り/シャッタースピード/ ISO感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード).....	76
カメラを固定したまま パン/ズーム動画を撮る (4Kライブクロップ).....	77
■ お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード).....	79
お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録).....	79
登録したカスタムセットで撮る.....	79

ピント・明るさ(露出)・色合いの設定

■ 自動でピントを合わせる (オートフォーカス).....	80
フォーカスモードを設定する (AFS、AFF、AFC).....	81
オートフォーカスモードを切り換える.....	82
AFエリアの位置や大きさを変更する.....	88
タッチパッドでAFエリアの位置を 設定する.....	90
タッチした位置にピントと明るさを 合わせる.....	91
■ 手動でピントを合わせる (マニュアルフォーカス).....	92
■ ピントや露出を固定して撮る (AF/AEロック).....	95
■ 露出を補正して撮る.....	96
■ ISO感度を設定する.....	97
■ ホワイトバランスを調整する.....	99



4K フォト・ドライブの設定

- 4K フォトで撮影して、
写真を選んで保存する 102
 - 4K フォトで撮る 102
 - 4K 連写ファイルから写真を選び
保存する 105
 - 4K フォトのお知らせ 109
- 撮影後にピントを操作する
(フォーカスセレクト/
フォーカス合成) 112
 - フォーカスセレクト撮影をする 112
 - ピントを合わせる位置を選び、写真を
保存する (フォーカスセレクト) 113
 - ピントが合う範囲を選び、1 枚の
写真に合成する (フォーカス合成) 114
 - フォーカスセレクト/
フォーカス合成のお知らせ 115
- ドライブモードを選ぶ 116
 - 連写する 117
 - セルフタイマーで撮る 119
- 設定を自動的に変えながら撮る
(ブラケット撮影) 120
 - 露出ブラケット 121
 - 絞りブラケット 122
 - フォーカスブラケット 122
- 一定の間隔で自動的に撮影する
(インターバル撮影) 123
- ストップモーション動画の作成
(コマ撮りアニメ) 125

手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

- 手ブレを補正する 127
 - レンズの焦点距離を設定する 129
- ズームを使って撮る 130
 - 光学ズーム 130
 - 望遠効果を上げる 130
 - パワーズームレンズの設定を
変更する 133
 - タッチ操作でズームを使う
(タッチズーム) 134
- フラッシュを使って撮る 135
- フラッシュの機能を設定する 136
 - 発光モードを変更する
(マニュアルフラッシュ) 136
 - フラッシュモードを切り換える 137
 - 後幕シンクロに設定する 139
 - フラッシュの発光量を調整する 140
 - 露出補正時にフラッシュ発光量を
連動させる 140
- ワイヤレスでフラッシュ撮影
する 141

動画を撮影する

- 動画・4K 動画を撮る 143
 - フォーマット、サイズ、
記録フレームレートを設定する 145
 - 動画撮影時のピントの合わせ方
(AF 連続動作) 146
- 動画撮影中に写真を撮影する 147
- スナップムービーを撮る 148



再生・編集

■ 写真を見る.....	150	■ グループ画像を見る.....	155
■ 動画を見る.....	151	■ 写真や動画を消す（消去）.....	156
動画から写真を切り出す.....	152		
■ 再生方法を切り換える.....	153		
拡大して見る（再生ズーム）.....	153		
画像を一覧で見る（マルチ再生）.....	153		
画像を撮影日ごとに見る （カレンダー再生）.....	154		

メニュー機能を使う

■ メニュー一覧.....	157	[セットアップ].....	188
[撮影].....	158	[マイメニュー].....	198
[動画].....	173	[再生].....	199
[カスタム].....	175		

Wi-Fi/Bluetooth

■ Wi-Fi®/Bluetooth® 機能で できること.....	213	■ テレビに写真を映す.....	230
■ Wi-Fi/Bluetooth 機能について.....	214	■ 画像を送る.....	231
■ スマートフォンと接続する.....	216	■ スマートフォンに画像を送る.....	233
スマートフォン / タブレットアプリ 「Panasonic Image App」を インストールする.....	216	■ ワイヤレスでプリントする.....	234
Bluetooth low energy 対応の スマートフォンと接続する.....	217	■ AV 機器に画像を送る.....	235
Bluetooth low energy に対応して いないスマートフォンと接続する.....	219	■ パソコンに画像を送る.....	236
■ スマートフォンとつないで使う.....	223	■ Web サービスを利用する.....	238
スマートフォンで、 カメラの電源を操作する.....	223	Web サービスに画像を送る.....	238
スマートフォンで、 カメラのシャッターボタンを操作する （リモート撮影）.....	224	クラウド同期サービスに画像を送る.....	241
カメラの画像を再生 / 保存する、 SNS へ送信する.....	226	LUMIX CLUB (PicMate) を 設定する.....	242
撮影した画像をスマートフォンに 自動転送する.....	227	■ Wi-Fi 接続について.....	245
撮影する画像にスマートフォンの 位置情報を記録する.....	228	無線アクセスポイントを経由して 接続する（[ネットワーク経由]）.....	245
カメラの時刻をスマートフォンに 合わせる.....	228	直接接続する（[直接接続]）.....	247
スナップムービーで撮影した動画を スマートフォンでお好みに結合する.....	229	以前と同じ設定で素早く接続する （[履歴から接続する] / [お気に入りから接続する]）.....	248
		■ [Wi-Fi 設定].....	250

他の機器との接続

- 4K 動画を楽しむ 251
 - 4K 動画を見る 251
 - 4K 動画を残す 251
- テレビで見る 252
 - カメラの映像をモニターしながら撮る 253
 - ピエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) を使う 254
- 写真や動画をパソコンに残す 255
 - ソフトウェアをダウンロードする 255
 - 写真、動画を取り込む 257
- 写真や動画をレコーダーに残す 259
- プリントする 259
 - 写真に日付や文字を入れる 261

その他 Q&A

- 別売品を使う 262
 - 外部フラッシュ (別売) 262
 - AC アダプター (別売) / DC カプラー (別売) 263
- 海外旅行先で使う 264
- モニター / ファインダーの表示一覧 265
- メッセージ表示 270
- Q&A 故障かな?と思ったら 272
- 使用上のお願いとお知らせ 280
- さくいん 289





撮影

撮影

撮影モード	P.38
プレビュー	P.64
パノラマモード	P.66
ブラケット撮影	P.120
インターバル撮影	P.123
コマ撮りアニメ	P.125
サイレントモード	P.169
多重露出	P.172

4K フォト

4K フォト	P.102
フォーカスセレクト撮影	P.112

ピント (AF/MF)

オートフォーカス	P.80
オートフォーカスモード	P.82
AF エリアの位置移動	P.88
マニュアルフォーカス	P.92
AF/AE ロック	P.95

ドライブ

ドライブモード	P.116
連写	P.117
セルフタイマー	P.119

露出

タッチ AE	P.46
ワンタッチ AE	P.65
AF/AE ロック	P.95
露出補正	P.96
ISO 感度	P.97
露出ブラケット	P.121
測光モード	P.164

画質・色合い

ホワイトバランス	P.99
記録画素数	P.159
クオリティ	P.159
フォトスタイル	P.160
フィルター設定	P.162
色空間	P.163
ハイライトシャドウ	P.165
iD レンジコントロール	P.166
超解像	P.166
長秒ノイズ除去	P.168
シェーディング補正	P.168
回折補正	P.169
HDR	P.171

手ブレ補正

Dual I.S.	P.127
5 軸ハイブリッド手ブレ補正	P.127

フラッシュ

フラッシュモード	P.137
後幕シンクロ	P.139
フラッシュ光量調整	P.140
ワイヤレスフラッシュ設定	P.141

モニタリング

撮影時 HDMI 出力	P.253
-------------	-------



動画

動画

クリエイティブ動画モード	P.76
4K ライブクローズ	P.77
記録方式 / 画質設定	P.145
動画撮影中の写真撮影	P.147
スナップムービー	P.148

音声

録音レベル設定	P.174
風音キャンセラー	P.174

画面設定

録音レベル表示	P.173
モノクロライブビュー	P.180
センターマーカー表示	P.182
ゼブラパターン表示	P.183





セットアップ / カスタム

基本設定

フォーマット	P.29
時計設定	P.33
視度調整	P.36
クイックメニュー	P.49
電子音	P.190
エコモード	P.191
リセット (初期化)	P.196
センサークリーニング	P.197

カスタマイズ

ファンクションボタン	P.51
カスタムモード	P.79
カスタムメニュー	P.175



再生

再生

写真の再生	P.150
動画の再生	P.151
再生ズーム	P.153
マルチ再生	P.153
消去	P.156
オートレビュー	P.180
スライドショー	P.200
画像回転 / 縦位置自動回転	P.210、212

編集

フォーカスセレクト	P.113
フォーカス合成	P.114
タイトル入力	P.202
RAW 現像	P.203
4K フォト一括保存	P.205
比較明合成	P.205
軌跡合成	P.206
クリアレタッチ	P.207
文字焼き込み	P.208
リサイズ	P.209
トリミング	P.210

画像設定

プロテクト	P.201
レーティング	P.201



Wi-Fi/Bluetooth

Image App

Image App	P.216
リモート起動	P.223
リモート撮影	P.224
自動画像転送	P.227

他機器連携

テレビで写真再生	P.230
画像のプリント	P.234
AV 機器に画像を送信	P.235
パソコンに画像を送信	P.236
Web サービスに画像を送信	P.238
クラウド同期サービスの利用	P.241



他機器接続

パソコン

パソコンに画像を取り込む	P.255
PHOTOfunSTUDIO	P.255
SILKYPIX	P.256

テレビ

テレビで見る	P.252
ピエラリンク	P.254

レコーダー

ダビング	P.259
------------	-------

プリンター

<small>ピクトブリッジ</small> PictBridge	P.259
--	-------



ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

● 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。

また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

● 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。

- 砂やほこりの多いところ
- 雨の日や浜辺など水がかかるところ

モニターに砂やほこり、水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

● タッチ操作が誤認識される場合があります。

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

電源 OFF 時に本機を振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がします。
ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

■露付きについて（レンズやモニター、ファインダーが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

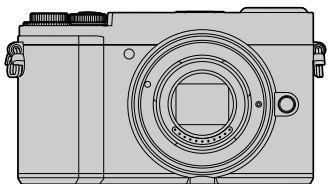
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください（P.280）

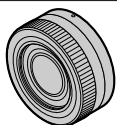
同梱品



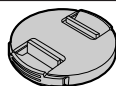
デジタルカメラボディ
(本書では、本体と表記します)

記載の品番は 2018 年 2 月現在のものです。変更されることがあります。

DC-GX7MK3K (レンズキット商品) に同梱



交換レンズ*1
H-FS12032
(本書では、レンズと表記します)



レンズキャップ*2
SYF0059

DC-GX7MK3L (レンズキット商品) に同梱



交換レンズ*1
H-X015
(本書では、レンズと表記します)



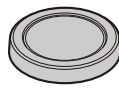
レンズキャップ*2
SYF0001



デコレーションリング*2
SFC0089 (ブラック)
SFC0090 (シルバー)

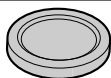


レンズフード
SFC0190 (ブラック)
SFC0191 (シルバー)



レンズフードキャップ*3
SFC0093 (ブラック)
SFC0133 (シルバー)

DC-GX7MK3 (ボディ商品) に同梱




ボディキャップ*1
VKF4971

*1 お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。

*2 お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

*3 お買い上げ時はレンズフードに装着されています。



	<p>バッテリーパック DMW-BLG10</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電してからお使いください。 <p>(本書では、バッテリーと表記します)</p>		<p>ホットシューカバー* VKF5259 (ブラック) SKF0133S (シルバー)</p>
	<p>AC アダプター SAE0012B</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電に使用します。 <p>(本書では、AC アダプター(付属)と表記します)</p>		<p>USB 接続ケーブル K1HY04YY0106</p>
			<p>ショルダーストラップ VFC5167</p>

* お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。

- カードは別売です。
- 別売品については本書の [262 ページ](#) および付属冊子「取扱説明書」をご確認ください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 別売品のバッテリーチャージャー (DMW-BTC12) を使ってバッテリーを充電することもできます。

パナソニックグループの
ショッピングサイト

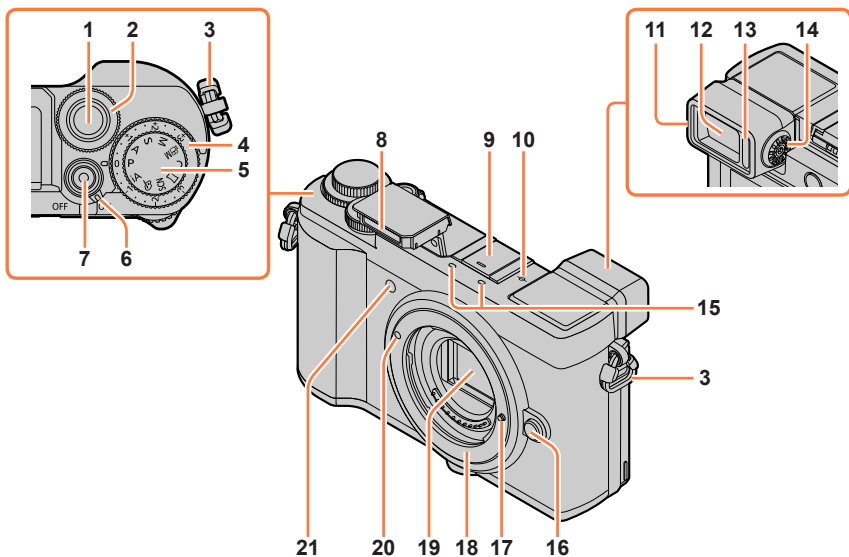
 **Panasonic Store**

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>



各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ

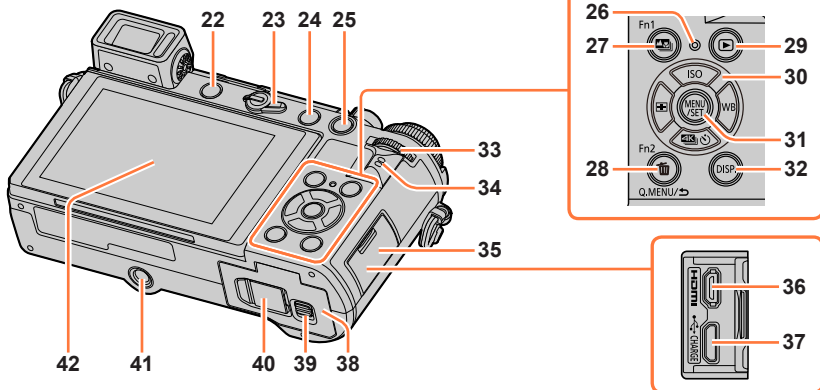


- 1 シャッターボタン (P.37)
- 2 前ダイヤル (P.38)
- 3 ショルダーストラップ取り付け部 (P.20)
- 4 露出補正ダイヤル (P.96)
- 5 モードダイヤル (P.38)
- 6 電源スイッチ (P.33)
- 7 動画ボタン (P.37、143)
- 8 フラッシュ発光部 (P.34、135)
- 9 ホットシュー (ホットシューカバー)
(P.262)
- 10 撮影距離基準マーク (P.93)
- 11 アイカップ (P.281)

- 12 ファインダー (P.36、265)
- 13 アイセンサー (P.36)
- 14 視度調整ダイヤル (P.36)
- 15 ステレオマイク (P.34、174)
指などで塞がないようにしてください。
音が記録されにくくなります。
- 16 レンズ取り外しボタン (P.31)
- 17 レンズロックピン
- 18 マウント
- 19 センサー
- 20 レンズ取り付けマーク (P.31)
- 21 セルフタイマーランプ (P.119) /
AF 補助ランプ (P.34、177)



各部の名前と働き



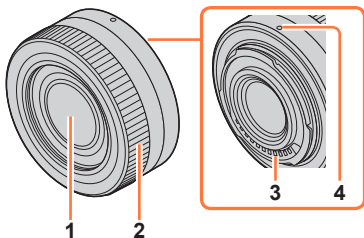
- 22 [LVF] ボタン (P.36) /
ファンクション
[Fn3] ボタン (P.51)
- 23 フォーカスモードレバー (P.81、92)
- 24 [] (フラッシュオープン) ボタン
(P.135)
- 25 [AF/AE LOCK] ボタン (P.95)
- 26 充電ランプ (P.24) /
ワイヤレス
WIRELESS 接続ランプ (P.214)
- 27 [] (フォーカスセレクト) ボタン
(P.112) /
ファンクション
[Fn1] ボタン (P.51)
- 28 [] (消去) ボタン (P.156) /
クイックメニュー
[Q.MENU/] (戻る) ボタン (P.49) /
ファンクション
[Fn2] ボタン (P.51)
- 29 [] (再生) ボタン (P.150)
- 30 カーソルボタン (P.41)
[ISO] (ISO 感度) (▲) (P.97)
[WB] (ホワイトバランス) (▶) (P.99)
[] (ドライブモード) (▼) (P.116)
[] (オートフォーカスモード) (◀)
(P.82)
- 31 [MENU/SET] ボタン (P.41、47)
ディスプレイ
セット
- 32 [DISP.] ボタン (P.41)

- 33 後ダイヤル (P.38)
- 34 スピーカー (P.34、190)
- 35 端子カバー (P.23)
- 36 [HDMI] 端子 (P.252)
- 37 [USB/CHARGE] 端子
チャージ
(P.23、257、259)
- 38 カード / バッテリー扉 (P.22、27)
- 39 開閉レバー (P.22、27)
- 40 DC カプラー扉 (P.263)
AC アダプターを使用するときは、当
社製の AC アダプター (別売：DMW-
AC10) と DC カプラー (別売：DMW-
DCC11) を使用してください。
- 41 三脚取り付け部 (P.284)
ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取
り付けると、本機を三脚にしっかり固
定できない場合や、本機を傷つける場
合があります。
- 42 タッチパネル (P.44) /
モニター (P.265)

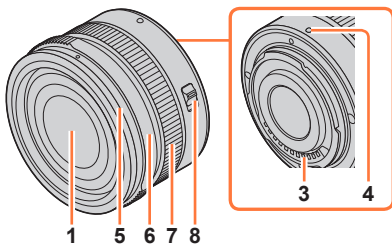
ファンクションボタン [Fn4] ~ [Fn8] は、
タッチアイコンです。
撮影画面の [Fn] タブをタッチすると表
示されます。

■同梱レンズ

H-FS12032



H-X015



- | | |
|---|--|
| 1 | レンズ面 |
| 2 | ズームリング (P.130) |
| 3 | 接点 |
| 4 | レンズ取り付けマーク (P.31) |
| 5 | デコレーションリング (P.32) |
| 6 | 絞りリング |
| | <ul style="list-style-type: none"> 絞り値を調節したいときに回します。 絞り優先 AE モードかマニュアル露出モードに設定すると、リングの設定が有効になります。 絞りリングの位置を [A] に合わせると、カメラ側の絞り設定が有効になります。 絞りリング設定時、デコレーションリングの取り付けや取り外しの際に絞りリングに触れて設定が変わっていないかご確認ください。 |
| 7 | フォーカスリング (P.92) |
| 8 | AF/MF スイッチ (P.92) |
| | <ul style="list-style-type: none"> レンズ側の AF/MF スイッチか、カメラ側の設定のどちらかが [MF] 設定になっていると、マニュアルフォーカス (MF) 動作になります。 |

- 交換レンズ (H-FS12032) にはフォーカスリングがありませんが、本体を操作してマニュアルフォーカスを行えます。(P.92)

本機で使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™ システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ（マイクロフォーサーズマウント）を使用することができます。

また、マウントアダプターを装着することで以下のマウント規格のレンズを使用することができます。



レンズ	マウントアダプター
フォーサーズ™ マウント規格レンズ 	マウントアダプター（別売：DMW-MA1）
ライカ M マウント規格レンズ	M マウントアダプター（別売：DMW-MA2M）
ライカ R マウント規格レンズ	R マウントアダプター（別売：DMW-MA3R）

レンズと機能について

お使いのレンズによっては、オートフォーカス、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ / ホームページなどをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- マイクロフォーサーズのレンズに記載されている焦点距離は、35 mm フィルムカメラで換算すると 2 倍に相当します。（50 mm レンズを使用した場合は、35 mm 換算で 100 mm レンズ相当になります）

お使いの交換レンズのファームウェアについて

より快適な撮影のために、交換レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることを勧めます。

- ファームウェアの最新情報やダウンロードについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 交換レンズのファームウェアのバージョンは、本体に交換レンズを取り付けて、[セットアップ] メニューの [バージョン表示] でご確認ください。

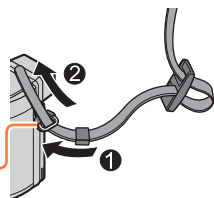


ショルダーストラップを付ける

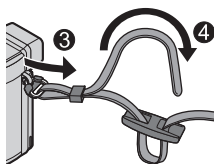
落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1** 本機のショルダーストラップ取り付け部に
ショルダーストラップを通す

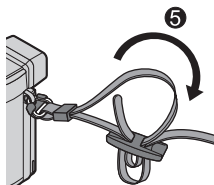
ショルダーストラップ取り付け部



- 2** ショルダーストラップの端を留め具に通す

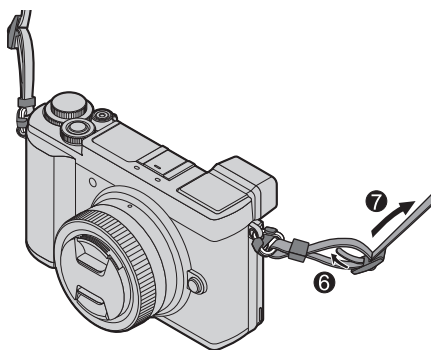


- 3** ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4** ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する

・手順 **1**～**4** に従って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーを充電する

本機専用の AC アダプター（付属）、USB 接続ケーブル（付属）、バッテリーを使用してください。

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
- 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

- AC アダプター（別売：DMW-AC9）でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
- バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC12）でも充電できます。

本機で使えるバッテリー（2018年2月現在）

本機で使えるバッテリーは DMW-BLG10 です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

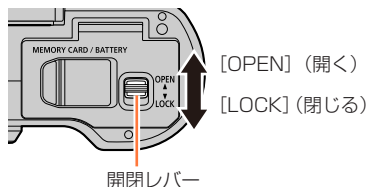


バッテリーを充電する

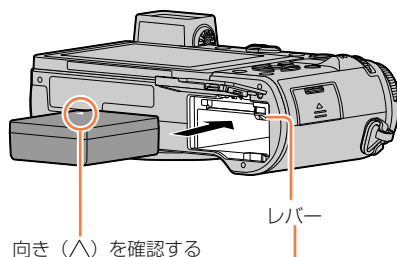
バッテリーを入れる

充電するために、バッテリーを本機に入れます。

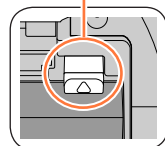
- 1** 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて、カード / バッテリー扉を開ける



- 2** バッテリーを奥まで入れる



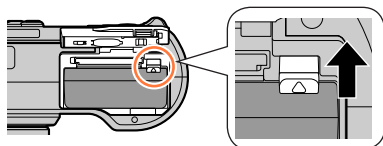
- バッテリーを奥まで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する



- 3** カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる

■取り出す

レバーを矢印方向へ引く。



- バッテリーが奥まで完全に入っていない状態でカード / バッテリー扉を閉めると、バッテリーが飛び出すおそれがあります。
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。

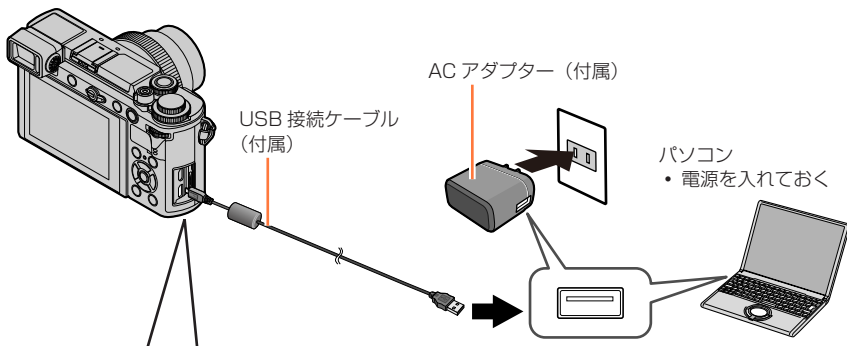
バッテリーを充電する

充電する

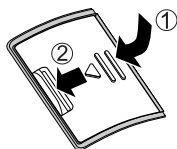
充電は周囲の温度が 10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。

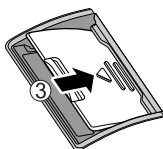
電源コンセントまたは、パソコンを使用して充電します。



■端子カバーを開ける

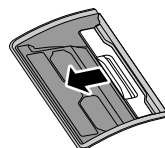


- ① 押しながら
- ② スライドさせる



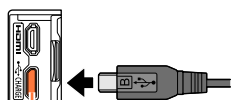
- ③ 指を離す
• 端子カバーが本体内部に収納されます。

閉め方



- 完全に閉まると「カチッ」と音がします。

■USB 接続ケーブル (付属) を [USB/CHARGE] 端子に接続する

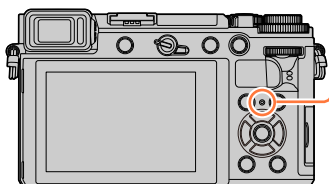


- Ⓐ : [USB/CHARGE] 端子
• カメラを立てたときに下にある端子です。
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
(向きを逆にする、端子が変形して故障の原因になります)
また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

バッテリーを充電する

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。

充電ランプ表示



充電ランプ（赤色）

点灯：充電中

消灯：充電終了

（充電終了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）

点滅：充電エラー

（対処方法は [272 ページ](#) をお読みください）

充電時間

AC アダプター（付属）使用時

充電時間

約 190 分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 付属の AC アダプターまたは当社製 AC アダプター（別売：DMW-AC9）以外は使わないでください。故障の原因になります。
- USB 延長ケーブルは使用しないでください。
- AC アダプター（付属）と USB 接続ケーブル（付属）は本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- AC アダプター（付属）は海外でも使うことができます。（[P.264](#)）
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。（長時間放置すると、バッテリーは消耗します）
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。USB 接続ケーブル（付属）を抜き、接続し直してください。



バッテリーを充電する

バッテリー残量の表示



	75%以上
	74%～50%
	49%～25%
	24%以下
	残量不足 ・バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 表示される残量は目安です。周囲環境や使用条件によって異なります。

撮影可能枚数や使用時間の目安

写真の撮影可能枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による。
当社製 SDHC メモリーカード使用、付属バッテリー使用。

■写真撮影（モニター使用時）

	交換レンズ (H-FS12032) 装着時	交換レンズ (H-X015) 装着時
撮影可能枚数	約 260 枚	約 260 枚
撮影使用時間	約 130 分	約 130 分

■写真撮影（ファインダー使用時）

() 内は [省電力ファインダー撮影] の [時間] を [1 秒] に設定し、[省電力ファインダー撮影] が動いた場合の数値です。(CIPA 規格をベースにした当社測定条件による)

	交換レンズ (H-FS12032) 装着時	交換レンズ (H-X015) 装着時
撮影可能枚数	約 250 枚 (約 900 枚)	約 250 枚 (約 940 枚)
撮影使用時間	約 120 分	約 120 分



バッテリーを充電する

■動画撮影（モニター使用時）

AVCHD（画質設定を [FHD/17M/60i] で撮影）

	交換レンズ (H-FS12032) 装着時	交換レンズ (H-X015) 装着時
撮影可能時間	約 90 分	約 90 分
実撮影可能時間*	約 45 分	約 45 分

MP4（画質設定を [FHD/28M/60p] で撮影）

	交換レンズ (H-FS12032) 装着時	交換レンズ (H-X015) 装着時
撮影可能時間	約 90 分	約 90 分
実撮影可能時間*	約 45 分	約 45 分

MP4（画質設定を [4K/100M/30p] で撮影）

	交換レンズ (H-FS12032) 装着時	交換レンズ (H-X015) 装着時
撮影可能時間	約 70 分	約 70 分
実撮影可能時間*	約 35 分	約 35 分

*電源の入り切り、撮影の開始と終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■再生（モニター使用時）

	交換レンズ (H-FS12032) 装着時	交換レンズ (H-X015) 装着時
再生使用時間	約 210 分	約 210 分

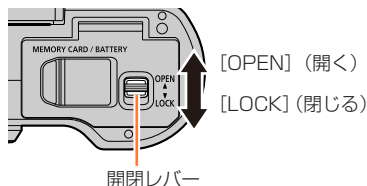
- 使用時間と撮影可能枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。
例えば、次の場合、使用時間は少なくなり、撮影可能枚数は減少します。
 - ・ スキー場などの低温下
 - ・ フラッシュ発光を繰り返したとき
- 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。



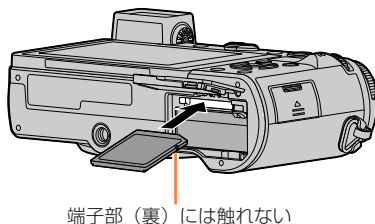
カード（別売）を入れる・取り出す

・電源が切れていることを確認してください。

- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて、カード/バッテリー扉を開ける

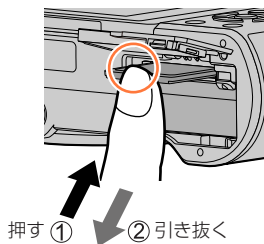


- 2 カードを奥まで入れる
 - ・カードの向きを確認
 - ・「カチッ」と音がするまで押し込む
- 3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる



■取り出す

カードの中央を押す



- カードの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

カードについて

SD 規格に準拠した次のカードが使用できます。

カードの種類	容量	備考
SD メモリーカード microSD カード*	512 MB ~ 2 GB	<ul style="list-style-type: none"> 本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 左記の当社製カードで動作確認済みです。
SDHC メモリーカード microSDHC カード*	4 GB ~ 32 GB	
SDXC メモリーカード microSDXC カード*	48 GB ~ 128 GB	

*本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラス

以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

[記録方式]	[画質設定]	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4 ④
MP4	FHD/HD		
MP4	4K	UHS Speed Class 3	U3
4K フォト / フォーカスセレクト撮影時		UHS Speed Class 3	U3

- 最新情報 : <http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は電源を切ったり、バッテリーやカード、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC11）を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードや撮影内容が壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。
- 書き込み禁止スイッチを [LOCK] 側になると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。
- 大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。（電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります）



書き込み禁止スイッチ

カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。
フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

MENU ボタン →  **[セットアップ]** → **[フォーマット]**

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリーか、ACアダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC11）をご使用ください。
- フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。


記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。（撮影条件、カードの種類により変化します）

記録可能枚数（写真：枚）

画像横縦比 [4:3]、クオリティ  の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L (20M)	1450	2910	5810	11510
M (10M)	2630	5280	10510	20810
S (5M)	4600	9220	17640	34940

画像横縦比 [4:3]、クオリティ  の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L (20M)	450	900	1810	3590
M (10M)	520	1050	2110	4180
S (5M)	570	1150	2290	4550

- 記録可能枚数が 9999 枚を超える場合は、[9999+] と表示されます。

記録可能時間（動画撮影時）（h：時間、m：分、s：秒）

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
[FHD/28M/60p]	1h10m	2h30m	5h00m	9h55m
[FHD/17M/60i]	2h00m	4h05m	8h15m	16h25m
[FHD/24M/30p] [FHD/24M/24p]	1h25m	2h55m	5h50m	11h35m

記録方式 [MP4] の場合

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
[4K/100M/30p] [4K/100M/24p]	20m00s	41m00s	1h25m	2h45m
[FHD/28M/60p]	1h10m	2h25m	5h00m	9h55m
[FHD/20M/30p]	1h35m	3h15m	6h40m	13h15m
[HD/10M/30p]	3h05m	6h20m	12h45m	25h20m

- AVCHD 動画の場合：
ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存されます。
- [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD] の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 30 分を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
- [画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画の場合：
以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
SDHC メモリーカード使用時：ファイルサイズが 4 GB を超える場合
SDXC メモリーカード使用時：連続記録時間が 3 時間 4 分を超える場合、
ファイルサイズが 96 GB を超える場合
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

レンズを付ける・取り外す

- 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してください。
- 交換レンズ (H-FS 12032) をお使いのときは、レンズの取り付け・取り外しは、レンズ鏡筒が収納されている状態で行ってください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。
ごみなどが付着した場合 (P.281)

■ レンズを取り付ける

- レンズにレンズリアキャップが付いているときは外してください。
- 本機にボディキャップが付いているときは外してください。

- ① レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

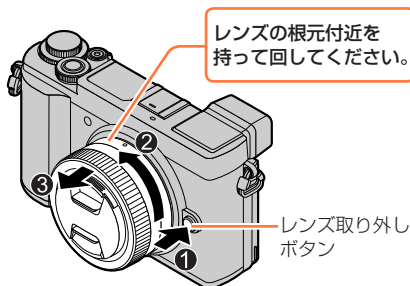


- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとする、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。

■ レンズを取り外す

- レンズキャップを取り付けてください。

- ① レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



- 本体からレンズを取り外すと、ほこりなどが付着、侵入するおそれがあります。ボディキャップとレンズリアキャップを必ず付けてください。

レンズフードを取り付ける

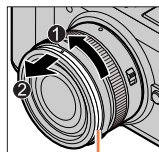
日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

- 交換レンズ (H-FS12032) には、レンズフードは付属していません。

交換レンズ (H-X015) に付属しているレンズフード (筒型) を取り付ける場合

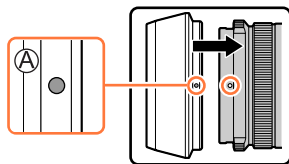
- 取り付け前に、必ずレンズキャップを外してください。レンズキャップを外さないと、レンズフードを取り付けることができません。
- レンズフードを付けた状態で、フィルターを取り付けることはできません。

1 デコレーションリングを矢印の方向に回して外す

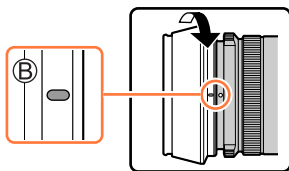


デコレーションリング

2 レンズフードの指標 A (●) とレンズ先端の指標を合わせる



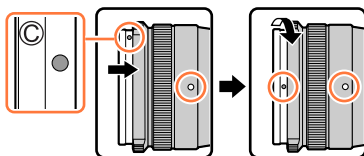
3 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの指標 B (○) とレンズ先端の指標を合わせる



■ デコレーションリングを付ける

- 取り付け前に、必ずレンズキャップを外してください。

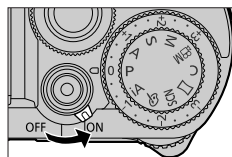
- ① レンズ取り付けマークから約 90° の位置にデコレーションリングの指標 C (●) を合わせてはめ込む
- ② デコレーションリングを矢印の方向に回し、デコレーションリングの指標 C (●) とレンズ取り付けマークを合わせる



時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。

- 1 電源スイッチを [ON] にする
 - お買い上げ時、電源を入れると「時計を設定してください」と表示されます。
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀▶ で合わせたい項目 (年・月・日・時・分) を選び、▲▼ で設定する



🏠 : ホームの時間
📍 : 旅行先の時間



■表示順・時刻表示形式を設定する

[表示形式] を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示順 時刻表示形式

- 4 [MENU/SET] ボタンを押す
- 5 [時計を設定しました] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す
- 6 [ホームエリアを設定してください] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す
- 7 ◀▶ でお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 交換レンズ (H-FS12032) 装着時、レンズ鏡筒が収納されている状態ではメッセージが表示され、撮影することができません。ズームリングを回し、レンズを繰り出してください。(P.34)

都市・地域名 現在時刻



GMT (グリニッジ標準時) との時差

■時計を合わせ直す

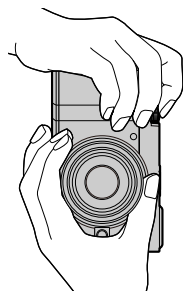
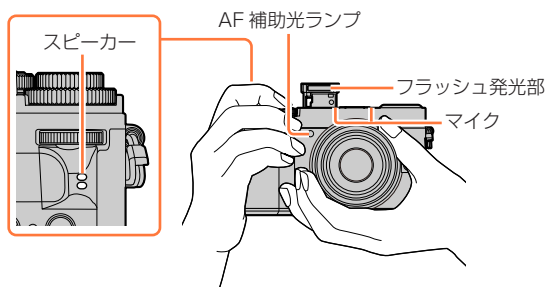
[セットアップ] メニューの [時計設定] で手順 3 と 4 を操作する

- メニュー操作について (P.47)

カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

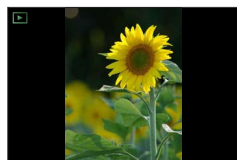
- ・フラッシュ発光部や AF 補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- ・シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- ・足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



■縦位置検出機能

カメラを縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。〔縦位置自動回転〕を〔ON〕に設定している場合のみ)

- ・本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、正しく働かないことがあります。
- ・動画、4K フォトの 4K 連写ファイルおよびフォーカスセレクト撮影した画像は、縦向きに表示できません。

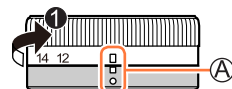


レンズを繰り出す / 収納する【交換レンズ (H-FS12032) 装着時】

■レンズを繰り出す

レンズ収納状態 (A) の位置から、ズームリングを矢印 ① の方向に回し、B) の位置 [12 mm ~ 32 mm] にしてレンズを繰り出す。

- ・レンズ鏡筒が収納されている状態では、撮影することができません。

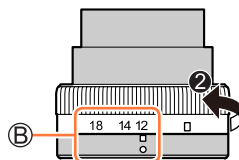


レンズを収納している状態

■レンズの収納

B) の位置 [12 mm ~ 32 mm] から、ズームリングを矢印 ② の方向に回し、A) の位置に合わせて収納する。

- ・12 mm の位置でクリック感がありますが、そのまま A) の位置まで回してください。
- ・撮影しないときは収納状態にしておくことをお勧めします。

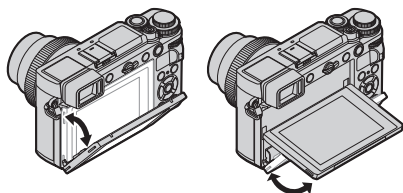


レンズを繰り出した状態

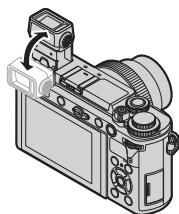
モニターとファインダーの角度を調整する

モニターやファインダーの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

■ モニターの角度を調整する

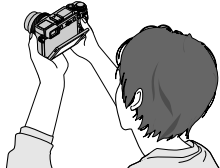


■ ファインダーの角度を調整する



フリーアングル撮影

ハイアングル撮影



ローアングル撮影

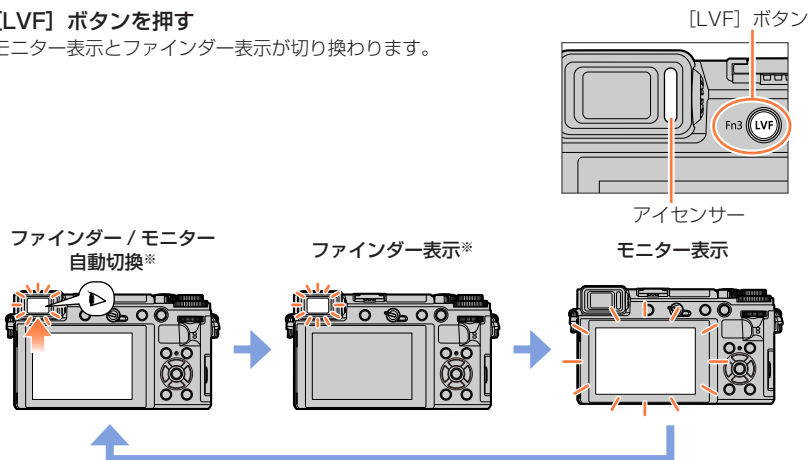


- モニターやファインダーに指などを挟まないようにお気をつけください。
- モニターやファインダーの角度を調整するときは、無理な力を加えないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。
- 本機を使用しないときは、モニターとファインダーを元の位置に完全に収納してください。
- 三脚 / 一脚の取り付け時は、モニターを元の位置に閉じた状態で取り付けてください。
- お使いの三脚 / 一脚によっては、モニターの調整できる角度が制限される場合があります。
- 外部フラッシュ（別売）使用時は、ファインダーの調整できる角度は制限されます。

撮影時に使うボタン / ダイヤル

[LVF] ボタン (ファインダー撮影)

- 1 [LVF] ボタンを押す
モニター表示とファインダー表示が切り換わります。



* [カスタム] メニュー (フォーカス/リリース) の [アイセンサー AF] を [ON] に設定しているときは、アイセンサーが動くとカメラが自動的にピント合わせを行います。[アイセンサー AF] でピントが合っても電子音は鳴りません。

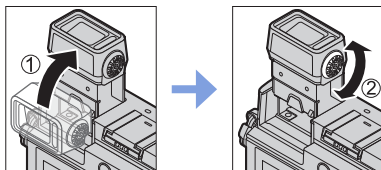
■ファインダー / モニター自動切替

ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。目や物を離すとモニター表示に戻ります。

- [エコモード] の [省電力ファインダー撮影] (P.191) を設定することで、バッテリーの消耗を抑えることができます。
- モニターの角度によっては、アイセンサーは動きません。

■視度調整

- ① ファインダーを起こす
- ② 視度調整ダイヤルを回す
 - ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで調整してください。



- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または強い光が当たることなどにより、アイセンサーが反応することがあります。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーは動きません。

シャッターボタン (写真を撮る)

1 シャッターボタンを半押し (軽く押す) して被写体にピントを合わせる

- 絞りとシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)



フォーカス表示
(ピントが合う: 点灯
ピントが合わない: 点滅)



2 シャッターボタンを全押し (さらに押し込む) して撮影する



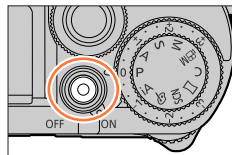
- [フォーカス / リリース優先] を [フォーカス] に設定時は、ピントが合うまで撮影できません。
- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

動画ボタン (動画を撮る)

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- ・動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。

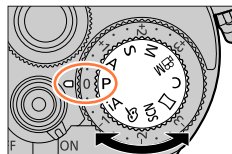
2 もう一度動画ボタンを押して、撮影を終了する








モードダイヤル (撮影モードを選ぶ)

1 モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

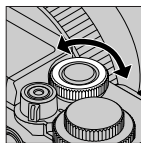


iA	 インテリジェントオートモード (P.55)
	 インテリジェントオートプラスモード (P.55)
P	プログラム AE モード (P.60)
A	絞り優先 AE モード (P.61)
S	シャッター優先 AE モード (P.61)
M	マニュアル露出モード (P.62)
 M	クリエイティブ動画モード (P.76)
C	カスタムモード (P.79)
	パノラマモード (P.66)
SCN	シーンガイドモード (P.68)
	クリエイティブコントロールモード (P.71)

前ダイヤル / 後ダイヤル

前ダイヤル

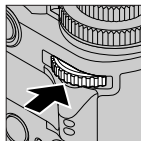
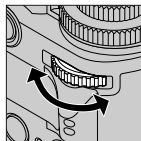
回す：各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。



後ダイヤル

回す：各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

押す：各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。



撮影時に使うボタン / ダイヤル

[P] / [A] / [S] / [M] モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	前ダイヤル	後ダイヤル
P	プログラムシフト	プログラムシフト*
A	絞り値	絞り値*
S	シャッタースピード	シャッタースピード*
M	絞り値	シャッタースピード*

* [カスタム] メニュー (操作) の [ダイヤル設定] で、[露出補正ダイヤル] を [OFF] に設定時は、後ダイヤルを押すと露出補正の設定に切り換わります。マニュアル露出モードでは、ISO 感度を [AUTO] に設定時のみ露出補正できます。



前後のダイヤルの動作を一時的に変更する (ダイヤル動作切換)

準備

ファンクションボタンに [ダイヤル動作切換] を設定する (P.51)

1 ファンクションボタンを押す

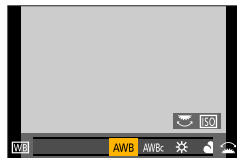
- 前後のダイヤルに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。



2 ガイドが表示されている間に、前ダイヤルまたは後ダイヤルを回す

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 後ダイヤルを押す















- 一時的に前後のダイヤルに割り当てる項目は、[カスタム] メニュー (操作) の [ダイヤル設定] の [ダイヤル動作切換設定] で設定できます。(P.40)



■前ダイヤルと後ダイヤルの操作方法を設定する

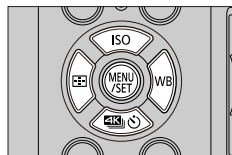
MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [ダイヤル設定]

F/SS ダイヤルの割当	<p>マニュアル露出モード時のダイヤルの割り当てを設定します。</p> <p> F  SS : 前ダイヤルに絞り値、後ダイヤルにシャッタースピードの操作を割り当てます。</p> <p> SS  F : 前ダイヤルにシャッタースピード、後ダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。</p>
F/SS ダイヤルの回転	<p>絞り値とシャッタースピードを操作する際の、ダイヤルの回転方向を変更します。</p> <p> ]、[ </p>
露出補正ダイヤル	<p>[ON] : 露出補正ダイヤルで露出を補正します。(−3 EV ~ +3 EV)</p> <p>[OFF] : 露出補正ダイヤルを無効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [露出補正ダイヤル] を [OFF] に設定時は、後ダイヤルを押して露出補正画面を表示できます。(−5 EV ~ +5 EV) (P.96)
露出補正のダイヤル割当	<p>[露出補正ダイヤル] が [OFF] のときに、前ダイヤルまたは後ダイヤルを回すだけで露出を補正できるように設定します。(−5 EV ~ +5 EV)</p> <p> (前ダイヤル)、 (後ダイヤル)、[OFF]</p>
ダイヤル動作切換設定	<p>ファンクションボタンの [ダイヤル動作切換] で、前後のダイヤルに一時的に割り当てる項目を設定します。</p> <p> (前ダイヤル動作)、 (後ダイヤル動作)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設定できる項目は、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - 4K フォトモード - フォトスタイル - フィルター効果 - 画像横縦比 - オートフォーカスモード - ハイライトシャドウ - iD レンジコントロール - 超解像 - フラッシュモード - フラッシュ光量調整 - ISO 感度 - ホワイトバランス - ドライブモード • [ハイライトシャドウ] では 2 つのダイヤルを使用します。

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン (項目を選択 / 決定する)

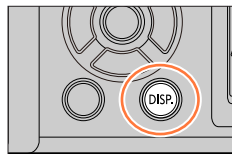
カーソルボタンを押す：
項目の選択や、数値の設定などができます。

[MENU/SET] ボタンを押す：
設定内容の決定などができます。



[DISP.] ボタン (画面の表示情報を切り換える)



1 [DISP.] ボタンを押して表示を切り換える



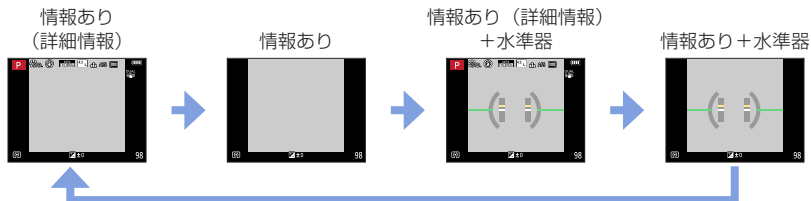
撮影時

ファインダー / モニターの表示方法を切り換えることができます。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]
→ [LVF / モニター表示設定] → [LVF 表示設定] または [モニター表示設定]

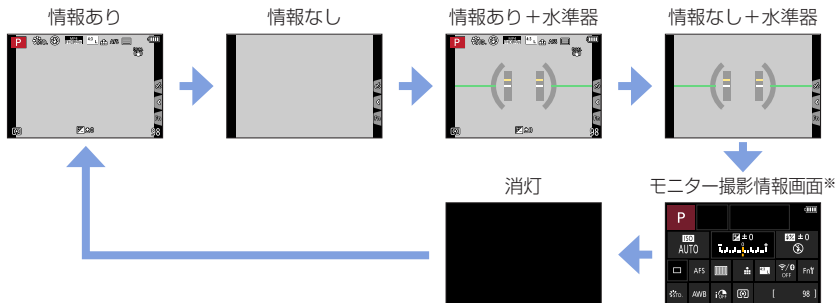
 (ファインダースタイル)	適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。
 (モニタースタイル)	画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。

■ ファインダースタイル (ファインダー表示での例です)



撮影時に使うボタン / ダイヤル

■ [] モニタースタイル (モニター表示での例です)



* [カスタム] メニュー (モニター / 表示) の [モニター撮影情報画面] を [ON] にしているときのみ表示されます。各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

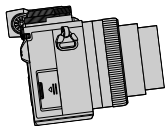
- [カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] で [LVF / モニター表示スタイル] をファンクションボタンに割り当てられます。ファンクションボタンを押すごとに、現在表示しているモニターかファインダーの表示スタイル ([] / []) をそれぞれ切り換えます。

■ 水準器を使う

黄色い線が現在の傾き具合を表しています。白い線に合わせるように本機の傾きを補正してください。

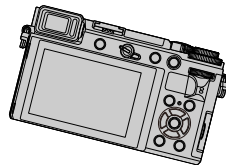
上下の傾き

- この場合、上を向いています。



左右の傾き

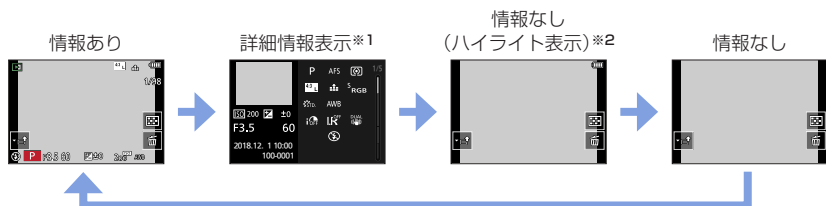
- この場合、右側が下がっています。



- カメラの傾きがほぼない状態では、水準器は緑色に変わります。

- 傾きが補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能が正しく働かない場合があります。

再生時



※1 ▲▼を押すと、次の表示内容に切り換わります。

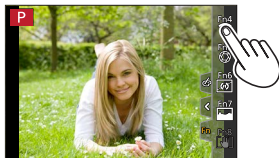
- 詳細情報表示
- ヒストグラム表示
- フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示
- ホワイトバランス表示
- レンズ情報表示

※2 [カスタム] メニュー (モニター / 表示) の [ハイライト表示] を [ON] にしているときのみ表示されます。

タッチパネル（タッチ操作）

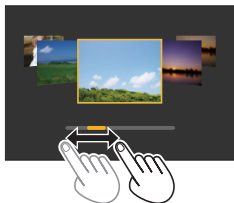
タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



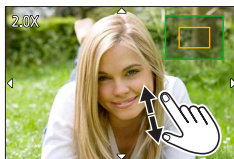
ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。



ピンチする（広げる / 縮める）

タッチパネルを2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 次の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - ・ 手袋を着用している
 - ・ タッチパネルがぬれている



タッチした位置にピントを合わせる (タッチ AF、タッチシャッター)

撮影モード：  P A S M   




1  をタッチする



2 アイコンをタッチする

- タッチすることによりアイコンが切り換わります。



 (タッチ AF)	タッチした位置にピントを合わせます。*
 (タッチシャッター)	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。*
 (OFF)	タッチ AF、タッチシャッターを無効にします。

* [カスタム] メニュー (操作) で [タッチ設定] の [タッチ AF] を [AF+AE] に設定時は、タッチした位置にピントと明るさを合わせます。(P.91)

3 (OFF 以外に設定時)
被写体をタッチする

-  (タッチ AF) に設定時、AF エリアの位置や大きさを
変更する操作については、88 ページをお読みください。



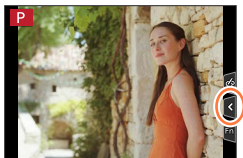
- タッチシャッターに失敗したときは、AF エリアが赤く点灯したあと消えます。

タッチした位置に明るさを合わせる (タッチ AE)


撮影モード：  P A S M   SCN 

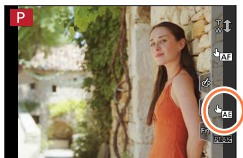
人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることができます。

1 をタッチする



2 をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の  に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。



4 [決定] をタッチする

■ タッチ AE 機能を解除する

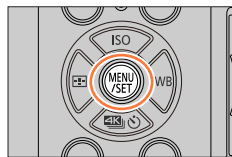
をタッチする

- 次の場合、タッチ AE は使えません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4K ライブクロップ撮影時
 - [カスタム] メニュー (操作) の [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF+AE] に設定時

メニューを使って設定する

メニューの設定はボタン操作、タッチ操作のどちらでも行えます。

1 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを表示する



2 メニューの種類を切り換える







- ① ◀ を押す
- ② ▲▼ で [🔧] などのタブを選ぶ
 - ・ 前ダイヤルを回しても、タブを選べます。
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作

[🔧] などのタブをタッチする



メニューの種類

 【撮影】 (P.158)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
 【動画】 (P.173)	記録方式や画質などを設定できます。
 【カスタム】 (P.175)	画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
 【セットアップ】 (P.188)	時計設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi/Bluetooth 機能に関する設定もできます。
 【マイメニュー】 (P.198)	よく使うメニューを登録することができます。
 【再生】 (P.199)	画像の再生や編集の設定ができます。

・各撮影モードでのみ表示されるメニュー (P.157)

メニューを使って設定する

3 ▲▼でメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

— タッチ操作 —

メニュー項目をタッチする

- 画面右のバー (A) をタッチすると、ページを切り換えられます。



メニュー項目

A

4 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目により、設定方法が異なります。

— タッチ操作 —

設定内容をタッチして決定する

選択されている設定



設定内容

5 撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [Q.MENU/] ボタンを押す

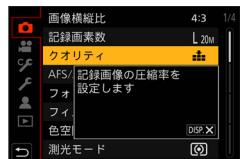
- 撮影時は、シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

— タッチ操作 —

[] をタッチする



- メニュー項目や設定内容を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が表示されます。
- 設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。一部の設定状況では、グレーのメニュー項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。

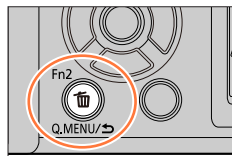


- メニュー項目などを選んで決定する操作は後ダイヤルでもできます。後ダイヤルを回すと選択、押すと決定の操作ができます。

よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

撮影時、一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

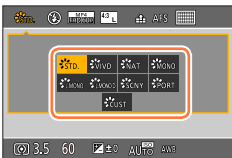
1 [Q.MENU/] ボタンを押す



2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ



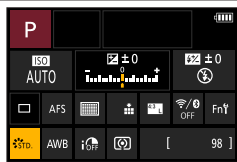
3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ



4 [Q.MENU/] ボタンを押してクイックメニューを終了する

[] (モニタースタイル) のモニター撮影情報画面 (P.42) でクイックメニューを使う

[Q.MENU/] ボタンを押し、前ダイヤルを回してメニュー項目を選び、後ダイヤルを回して設定内容を選んでください。





- [カスタム] メニュー (操作) の [ダイヤル設定] で、[露出補正ダイヤル] を [ON] に設定時は、露出補正ダイヤルを回して露出を補正してください。
- ▲▼◀▶でもメニュー項目や設定項目を選択できます。
- モードや表示画面によっては設定できない項目があります。

よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

クイックメニューをお好みの項目に変更する

クイックメニューは 15 項目まで設定しておくことができます。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [Q.MENU] → [カスタム]

- 1** [Q.MENU/ ] ボタンを押したあと、▼で [] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



上段：設定できる項目

- 2** ▲▼◀▶で上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 上段の薄いグレーで表示されている項目は、設定済みの項目です。

- 3** ◀▶で下段の空いている項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- 下段に空いている項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ換えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼で下段に移動し、解除する項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押してください。



下段：設定済みの項目

- 4** [Q.MENU/ ] ボタンを押す

- 手順 **1** の画面に戻ります。撮影画面にするには [MENU/SET] ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

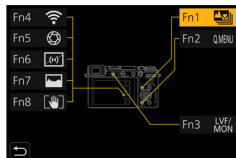
特定のボタン ([Fn1] ~ [Fn3]) または画面に表示されるアイコン ([Fn4] ~ [Fn8]) に、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [Fn ボタン設定]

設定：[撮影時設定] / [再生時設定]

2 ▲▼で機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲▼で割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・[撮影時設定] で割り当てられる機能 (P.52)
- ・[再生時設定] で割り当てられる機能 (P.53)

■モニター撮影情報画面からファンクションボタンを設定する

モニター撮影情報画面 (P.42) で [Fn1] をタッチしても、手順 2 の画面を表示することができます。

■素早く機能を割り当てる

ファンクションボタン ([Fn1] ~ [Fn3]) を長押し (2 秒) すると、手順 3 の画面を表示することができます。

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。

撮影時にファンクションボタンを使う

ファンクションボタンを押すと、割り当てた機能を使えます。

■タッチ操作でファンクションボタンを使う

- ① [Fn] をタッチする
- ② [Fn4] ~ [Fn8] のいずれかをタッチする



よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

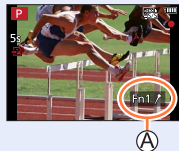
■ [撮影時設定] で割り当てられる機能

- | | | |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 4K フォトモード* • フォーカスセレクト：[Fn1]*^{※1} • Wi-Fi：[Fn4]*^{※1} • Q.MENU：[Fn2]*^{※1} • 動画撮影 • LVF/モニター切換：[Fn3]*^{※1} • LVF/モニター表示スタイル • AF/AE LOCK • AF-ON • プレビュー：[Fn5]*^{※1} • ワンタッチ AE • タッチ AE • 水準器表示：[Fn6]*^{※1} • フォーカスエリア選択 •ズーム操作 • 操作ロック • ダイヤル動作切換 • フォトスタイル • フィルター効果 • 画像横縦比 | <ul style="list-style-type: none"> • 記録画素数 • クオリティ • AFS/AFF • 測光モード • ブラケット • ハイライトシャドウ • iD レンジコントロール • 超解像 • 下限シャッター速度 • HDR • シャッター方式 • フラッシュモード • フラッシュ光量調整 • ワイヤレスフラッシュ設定 • EX テレコン • デジタルズーム • 手ブレ補正 • 手ブレロック（動画）：[Fn8]*^{※1} • 4K ライブクロップ • スナップムービー | <ul style="list-style-type: none"> • 動画記録方式 / 画質設定 • 動画撮影中の写真撮影 • 録音レベル設定 • サイレントモード • ピーキング • ヒストグラム表示：[Fn7]*^{※1} • ガイドライン表示 • ゼブラパターン表示 • モノクロライブビュー • 常時プレビュー（Mモード） • ライブビューブースト • 記録枠表示 • ステップズーム • ズーム速度 • ISO 感度 • ホワイトバランス • AF モード / MF • ドライブモード • 撮影 / 再生切換 • OFF*^{※2} |
|---|--|--|

*^{※1} お買い上げ時のファンクションボタン設定

*^{※2} ファンクションボタンに機能が設定されていない状態です。

- [動画撮影] 設定時は、動画ボタンと同様に動画記録の開始 / 停止を操作できます。
- [フォーカスエリア選択] 設定時は、AF エリアまたは MF アシストの位置設定画面を表示することができます。
- [操作ロック] 設定時は、[カスタム] メニュー（操作）の [操作ロック設定] で設定した操作を無効にします。[操作ロック] を設定したファンクションボタンを再度押すと、ロックを解除します。
- [撮影 / 再生切換] 設定時は、撮影状態と再生状態を切り換えることができます。
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、51 ページの手順 3 で [デフォルトに戻す] を選んでください。
- 画面に (A) のように表示された場合は、[Fn ボタン設定] で割り当てた機能ではなく、表示された操作が実行されます。



よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

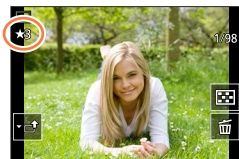
再生時にファンクションボタンを使う

再生時にファンクションボタンを押すと、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。

例) [レーティング★3] を [Fn1] に設定した場合

1 ◀▶ で画像を選ぶ

2 [Fn1] ボタンを押し、画像を [レーティング★3] に設定する



■ [再生時設定] で割り当てられる機能

• [Fn1]、[Fn3] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

- | | | |
|-----------------------|---------------------|--------------|
| • Wi-Fi | • プロテクト | • レーティング★5 |
| • LVF/モニター切換: [Fn3]*1 | • レーティング★1 | • RAW 現像 |
| • 撮影/再生切換 | • レーティング★2 | • 4K フォト一括保存 |
| • 4K フォト再生 | • レーティング★3: [Fn1]*1 | • OFF*2 |
| • 1枚消去 | • レーティング★4 | |

*1 お買い上げ時のファンクションボタン設定

*2 ファンクションボタンに機能が設定されていない状態です。

- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、51 ページの手順 3 で [デフォルトに戻す] を選んでください。



文字を入力する

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 ▲▼◀▶ で文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで [MENU/SET] ボタンを押す

- [] : 空白を入力できます。

■文字の種類を切り換える

- [DISP.] ボタンを押す
- ▲▼◀▶ で [切換] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■続けて文字を入力する

- ▲▼◀▶ で [] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 後ダイヤルを右側に回す

■文字を修正する

- ① ▲▼◀▶ で [] [] を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、
修正する文字にカーソル位置を移動する
• 後ダイヤルを回してもカーソル位置を移動できます。
- ② ▲▼◀▶ で [消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ▲▼◀▶ で正しい文字を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 入力が終わったら、▲▼◀▶ で [決定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

- 入力できる文字数は以下のとおりです。



[かな] [カナ] : 最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)

[A] [a] [1] [&] * : 最大 30 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 9 文字)

* []、[]、[]、[]、[] は最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)



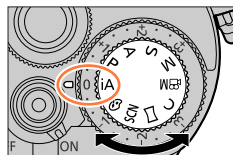
カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード)

撮影モード：  

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる

- お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードに設定されています。





2 被写体にカメラを向ける

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)





■インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える

- ① [インテリジェントオート] メニューで [インテリジェントオートモード] を選ぶ
- ② ▲▼で  または  を選び、[MENU/SET] ボタンを押す





撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



 は、 の設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるので、よりお好みに合わせた撮影ができます。

(○：設定可、×：設定不可)

	 インテリジェントオートプラスモード	 インテリジェントオートモード
色合い設定	○	×
明るさ(露出)設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

オートフォーカス / 顔・瞳認識 / 個人認証

オートフォーカスモードは自動で [i:人] に設定されます。被写体をタッチすると [i:人] に切り換わり、追尾 AF 機能が働きます。

- カウンシルボタンの ◀ を押しても、[i:人] に切り換わります。被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。
- [個人認証] を [ON] に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i:人]、[i:人]、[i:人] の右上に [R] が表示されます。

フラッシュ

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で [i:A]、[i:人]（赤目軽減オート）、[i:人] または [i:S] に設定します。

- [i:人] または [i:人] のときは、[デジタル赤目補正] 機能が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。
- [i:人] または [i:S] のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別

写真撮影時

i:人 i 人物	i:山 i 風景	i:花 i マクロ	i:人 i 夜景 & 人物*1
i:人 i 夜景	i:人 i 手持ち夜景*2	i:刀 i 料理	i:人 i 赤ちゃん*3
i:火 i タ焼け	i:A / i:S どのシーンにも当てはまらないとき		

動画撮影時

i:人 i 人物	i:山 i 風景	i:人 i ローライト	i:花 i マクロ
i:A / i:S どのシーンにも当てはまらないとき			

*1 フラッシュ使用時に表示

*2 [i 手持ち夜景] が [ON] の場合

*3 個人認証機能で登録した乳幼児（3 歳未満）を認識したとき

- [i:人] に判別時、三脚などを使用していてブレの量が少ないとカメラが判断した場合は、シャッタースピードが通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようお気をつけください。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。



カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

 逆光補正

インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像を明るくすることにより自動で逆光補正します。

インテリジェントオートメニュー




手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景）

撮影モード： 

[i 手持ち夜景] は手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できる機能です。



MENU ボタン →  /  [インテリジェントオート] → [i 手持ち夜景]

設定：[ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは （発光禁止）に固定されます。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、[i 手持ち夜景] は使えません。
 - ・ 連写撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ ブラケット撮影時
 - ・ [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - ・ [EX テレコン（写真）] 設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

階調豊かな写真に合成する（iHDR）



撮影モード：  

[iHDR] は背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成する機能です。

[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。

MENU ボタン →  /  [インテリジェントオート] → [iHDR]

設定： [ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、[iHDR] は使えません。
 - ・フラッシュ撮影時
 - ・連写撮影時
 - ・4K フォト撮影時
 - ・フォーカスセレクト撮影時
 - ・ブラケット撮影時
 - ・[クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - ・[EX テレコン（写真）] 設定時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

色合いを設定する

撮影モード： 

1 ▶ を押して設定画面を表示する


2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- ・ [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ・ 設定した色合いは、電源を切る、または他の撮影モードに変更すると、標準（中心点）に戻ります。
- ・ タッチパネル操作時（P.59）



カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

明るさ（露出）・背景のボケ具合（ボケ味コントロール）を設定する

撮影モード：

【露出補正ダイヤル】（P.40）が【ON】の場合

1 露出補正ダイヤルを回して明るさを設定する

- 露出補正值は、 -3 EV \sim $+3$ EV の範囲で設定可能です。
- 背景のボケ具合は、タッチパネルで設定できます。（下記）

【露出補正ダイヤル】（P.40）が【OFF】の場合

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

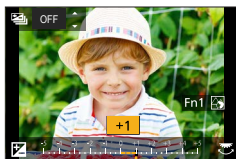
- 明るさ（露出）操作の画面が表示されます。[Fn1] ボタンを押すと、ボケ味コントロール操作、操作終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

明るさ（露出）設定時

- 露出補正值は、 -5 EV \sim $+5$ EV の範囲で設定可能です。
- \blacktriangle \blacktriangledown を押すと、露出ブラケットの設定ができます。（P.121）




背景のボケ具合設定時

- [Q.MENU/] ボタンを押すと、設定が解除されます。
- オートフォーカスモードが [] になります。画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。（大きさは変更できません）



■ タッチパネルで設定を変える

①  をタッチする

② 設定する項目をタッチする

：色合い：ボケ具合：明るさ（【露出補正ダイヤル】を【OFF】に設定時のみ）

③ スライダーや露出メーターをドラッグして設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがあります。このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る

(プログラム AE モード)

撮影モード：[P]

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

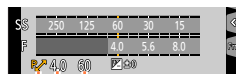
1 モードダイヤルを [P] に合わせる

2 シャッターボタンを半押しする

• 適正な露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。

3 数値が表示されている間 (約 10 秒間) に、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- 数値の表示中は、後ダイヤルを押すごとに、プログラムシフト操作と露出補正操作が切り換わります。
([露出補正ダイヤル] (P.40) を [OFF] に設定時のみ)
- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してください。
- ファンクションボタンに [ワンプッシュ AE] を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。
(P.51、65)



シャッタースピード
絞り値
プログラムシフト表示

プログラムシフト

同じ露出 (明るさ) のままで絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでも絞り値やシャッタースピードを調整して撮影できます。

- 次の場合、プログラムシフトは使えません。
 - フラッシュ撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ISO 感度を [ISO] に設定時

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：**A S M**

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(P.64)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞り値またはシャッタースピードを調整すると、露出メーターが表示されます。適正な露出でない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

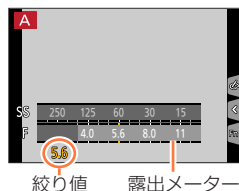
絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード）

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。([露出補正ダイヤル] (P.40) を [OFF] に設定時のみ)



- 絞りリングのあるレンズ (H-X015) を使用する場合は、絞りリングの位置を [A] にすると前後のダイヤルの設定が有効になります。[A] 以外では絞りリングの設定が優先されます。

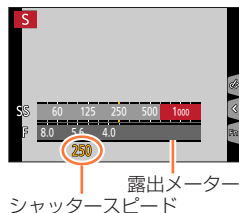
シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード）

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを [S] に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。([露出補正ダイヤル] (P.40) を [OFF] に設定時のみ)



- フラッシュ発光時は、1/200 秒より速いシャッタースピードには設定できません。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る (マニュアル露出モード)

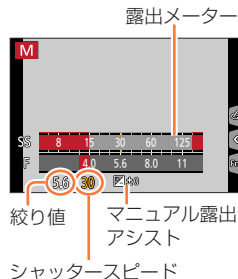
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

- 1 モードダイヤルを [M] に合わせる
- 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する

設定可能なシャッタースピード (秒)

T (タイム)、60 ~ 1/4000 (メカシャッター使用時)

1 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)



絞り値とシャッタースピードに ISO 感度を合わせる

ISO 感度を [AUTO] に設定時、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO 感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO 感度が高くなる場合があります。

マニュアル露出アシスト (目安)

	標準的な明るさ (適正露出) に写ります。
	明るく写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
	暗く写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

- 絞りリングのあるレンズ (H-X015) を使用する場合は、絞りリングの設定が優先されます。
- フラッシュ発光時は、1/200 秒より速いシャッタースピードには設定できません。



絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

T (タイム) (最大約 30 分間)

シャッタースピードを T (タイム) に設定し、シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開いた状態になります。シャッターボタンをもう一度押しと、シャッターが閉じます。花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。



- タイム撮影時は、手ブレ防止のために三脚を使用し、スマートフォンと Wi-Fi 接続してリモート撮影することをお勧めします。Bluetooth 接続時は、バルブ撮影もできます。(P.224、225)
- タイム撮影をすると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[撮影]メニューの [長秒ノイズ除去] を [ON] にして撮影することをお勧めします。(P.168)

- 次の場合、T (タイム) は使えません。
 - フラッシュ撮影時 ([フラッシュシンクロ] を [後幕] に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - 電子シャッター使用時
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)



絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する (プレビューモード)

撮影モード： P A S M SCN

- ・絞り効果の確認：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- ・シャッタースピード効果の確認：実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。

準備

- ・ファンクションボタンに [プレビュー] を設定する (P.51)

次の手順は、[Fn5] ボタンに [プレビュー] を設定した場合の例です。

1 [Fn5] ボタンを押して効果確認画面を切り換える

- ・ [Fn5] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い (狭い) 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い (広い) 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど	

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8 秒～ 1/16000 秒です。
- 4K フォトの (4K プリ連写) では使用できません。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

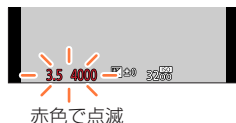
絞り値 / シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュ AE)

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

露出の設定が明るすぎる、または暗すぎるとき、ワンプッシュ AE を使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

適正露出でないときの見分け方

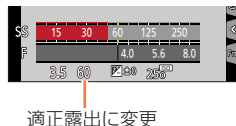
- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシスト (P.62) が 以外で表示されたとき。



準備


- ファンクションボタンに [ワンプッシュ AE] を設定する (P.51)

1 (適正露出でないときに) ファンクションボタンを押す




- 次の場合、適正露出に合わせることができません。
 - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - フラッシュ撮影時
 - プレビューモード時
 - 絞りリングのあるレンズ (H-X015) を使用時

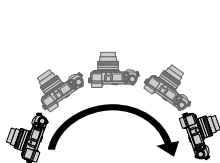
パノラマ写真を撮る (パノラマモード)

撮影モード：

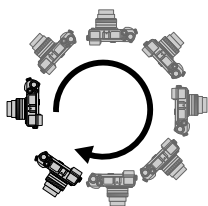
カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

- 1 モードダイヤルを  に合わせる
- 2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる
- 3 シャッターボタンを全押しして、撮影方向へ小さな円を描くようにカメラを動かして撮影する

左から右に撮影する場合



画像サイズ：標準の場合



画像サイズ：ワイドの場合

- 一定の速さでカメラを動かしてください。
- 速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

水平 / 垂直ガイド




撮影の方向と進み具合 (目安)

4 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても、撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

■パノラマ写真の撮影方向や画角 (画像サイズ) を変更する

MENU ボタン →  【パノラマ】 → 【撮影方向】 / 【画像サイズ】

撮影方向	撮影する向きを設定します。
画像サイズ	画角 (画像サイズ) を設定します。 【標準】 / 【ワイド】



パノラマ写真を撮る (パノラマモード)

- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、画像サイズや撮影方向、合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

画像サイズ	撮影方向	横	縦
標準	水平方向	8176 画素	1920 画素
	垂直方向	2560 画素	7680 画素
ワイド	水平方向	8176 画素	960 画素
	垂直方向	1280 画素	7680 画素



撮影のコツ

揺れないように、撮影方向へカメラを動かす。

(揺れが大きいと撮影できなったり、出来上がりのパノラマ写真が細く (小さく) なります。)



撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
(最後の 1 コマは端まで記録されません)

再生について

▲を押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

- スクロール再生中は、以下の操作が行えます。

		パノラマ再生開始 / 一時停止*
		停止



*一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。
スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置がジャンプします。

- 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きいときはカメラをゆっくり動かしてください。
- ピント、露出、ホワイトバランスは、最初の 1 枚目の画像に最適な値に固定されます。このために、撮影の途中の画像でピント位置や明るさが極端に異なる場合、パノラマ写真全体で一様なピントや明るさに撮影されない場合があります。
- 複数画像を合成してパノラマ写真を作成するため、被写体がゆがんだり、つなぎ目が目立つ場合があります。
- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなったり、適切に合成されない場合があります。
 - 単調な色や模様が続く被写体 (空や砂浜など)
 - 動いている被写体 (人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
 - 短時間で色や模様が変化する被写体 (ディスプレイに映った画像など)
 - 暗い場所
 - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所



撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)

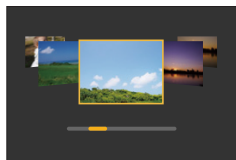
撮影モード：[SCN]

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀▶ でシーンを選ぶ

- 作例写真やスライダーバーをドラッグしてシーンを選ぶこともできます。



3 [MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- シーンによっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- シーンを変更したい場合は、[シーンガイド] メニューで [シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと手順 2 に戻ります。
- シーンガイドモード時はカメラが自動で最適に調整するため、一部の撮影メニューが設定できません。
- シーンによってはホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、撮影画面で ▶ を押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスブラケットが使えます。

シーンガイドモードの種類

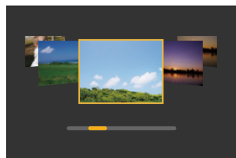


シーンの説明や撮影のヒントを表示する

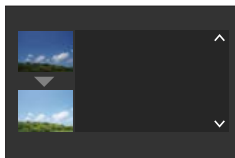
シーン選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。

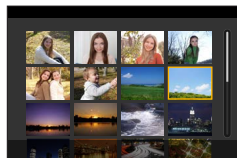
通常表示



ガイド表示



一覧表示



撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

1 人物をきれいに撮る

2 人物の肌をきれいに撮る

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

3 逆光でふんわり撮る

4 逆光でしっかり撮る

5 ほのぼのした雰囲気撮る

6 子どもをかわいく撮る

- 顔をタッチするとタッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。

7 風景をきれいに撮る

8 青空をさわやかに撮る

9 夕焼けを幻想的に撮る

10 夕焼けを印象的に撮る

11 水面をキラキラ撮る

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

12 夜景をきれいに撮る

13 夜空をクールに撮る

14 夜景を暖かく撮る

15 夜景をアーティスティックに撮る



撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

16 イルミネーションをキラキラ撮る

17 夜景を手持ちで撮る

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないください。
- 画角がわずかに狭くなります。

18 夜景をバックに人物をきれいに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。

19 花をふんわり撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

20 料理をおいしそうに撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

21 スイーツをかわいく撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

22 動くペットをきちんと撮る


- [AF 補助光] の初期設定は [OFF] になります。

23 スポーツをきれいに撮る


24 モノクロで撮る



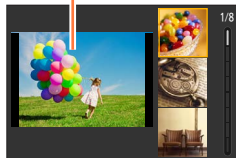
画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

撮影モード：

画像に加える効果を作例写真から選んで、画面で効果を確認できます。

- 1 モードダイヤルを  に合わせる
- 2 ▲▼で画像効果 (フィルター) を選ぶ
・作例写真をタッチして選ぶこともできます。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す

プレビュー表示



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- 画像効果によっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- ホワイトバランスは [AWB] に、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- [クリエイティブコントロール] メニューで、以下のメニュー項目が設定できます。
 - ・ [フィルター効果]：画像効果 (フィルター) の設定ができます。
 - ・ [フィルターなし同時記録]：画像効果を加えない写真を同時に記録する設定ができます。(P.163)

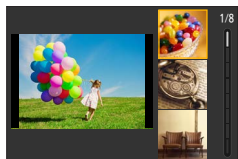


画像効果の説明を表示する

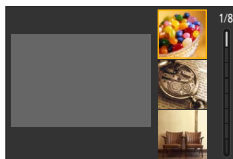
画像効果選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ・ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

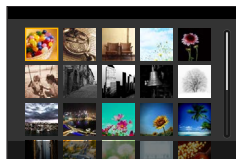
通常表示



ガイド表示



一覧表示



画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

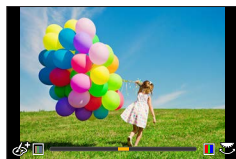
画像効果の種類

画像効果を好みに合わせて調整する

1 ▶ を押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して画像効果を調整する



- [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



画像効果	調整できる項目
[ポップ]	鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い
[レトロ]	色合い 黄色っぽい色 ↔ 赤っぽい色
[オールドデイズ]	コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
[ハイキー]	色合い ピンクっぽい色 ↔ 水色っぽい色
[ローキー]	色合い 赤っぽい色 ↔ 青っぽい色
[セピア]	コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
[モノクローム]	色合い 黄色っぽい色 ↔ 青っぽい色
[ダイナミックモノクローム]	コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
[ラフモノクローム]	粒子感 粒子感が弱い ↔ 粒子感が強い
[シルキーモノクローム]	ボケ具合 ボケ具合が小さい ↔ ボケ具合が大きい
[インプレッシブアート]	鮮やかさ 白黒 ↔ 派手な色合い
[ハイダイナミック]	鮮やかさ 白黒 ↔ 派手な色合い



画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

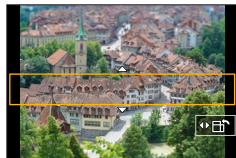
画像効果	調整できる項目
[クロスプロセス]	<p>色合い 緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色</p> <ul style="list-style-type: none"> 後ダイヤルを回して発色させる色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。 
[トイフォト]	<p>色合い オレンジっぽい色 ↔ 青っぽい色</p>
[トイポップ]	<p>周辺光量が落ちる範囲 小さい ↔ 大きい</p>
[ブリーチバイパス]	<p>コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい</p>
[ジオラマ]	<p>鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い</p> <ul style="list-style-type: none"> [ジオラマ] について詳しくは (P.74)
[ソフトフォーカス]	<p>ボケ具合 ボケ具合が小さい ↔ ボケ具合が大きい</p>
[ファンタジー]	<p>鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い</p>
[クロスフィルター]	<p>[・×] 光の輝きの長さ 輝きが短い ↔ 輝きが長い</p> <p>[×・*] 光の輝きの数 輝きが少ない ↔ 輝きが多い</p> <p>[×] 光の輝きの角度 輝きを左に回転 ↔ 輝きを右に回転</p>
[ワンポイントカラー]	<p>残す色の量 少し色を残す ↔ 多く色を残す</p> <ul style="list-style-type: none"> [ワンポイントカラー] について詳しくは (P.74)
[サンシャイン]	<p>色合い 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色</p> <ul style="list-style-type: none"> 後ダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。  <ul style="list-style-type: none"> [サンシャイン] について詳しくは (P.74)



画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

■ [ジオラマ] でぼかし方を設定する

- ① [📷] をタッチしたあと、[📏] をタッチする
- ② ▲▼ または ◀▶ でぼかさない部分を移動する
 - 撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
 - [📏] をタッチすると、撮影する向き (ぼかす向き) を設定できます。
- ③ 後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する
 - 画面をピンチアウト / ピンチインしても、拡大 / 縮小できます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す



- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります) 表示される記録可能時間は約 10 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■ [ワンポイントカラー] で残したい色を選択する

- ① [📷] をタッチしたあと、[🎨] をタッチする
- ② ▲▼◀▶ で残す色を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

■ [サンシャイン] で光源の位置と大きさを設定する

- ① [📷] をタッチしたあと、[☀️] をタッチする
- ② ▲▼◀▶ で光源の中心の位置を移動する
 - 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。
- ③ 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する
 - ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す

💡 光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。

画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

明るさ (露出)・背景のボケ具合 (ボケ味コントロール) を設定する

[露出補正ダイヤル] (P.40) が [ON] の場合

1 露出補正ダイヤルを回して明るさを設定する

- 露出補正值は、 -3 EV \sim $+3$ EV の範囲で設定可能です。
- 背景のボケ具合は、タッチパネルで設定できます。(下記)

[露出補正ダイヤル] (P.40) が [OFF] の場合

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

- 明るさ (露出) 操作の画面が表示されます。[Fn1] ボタンを押すと、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

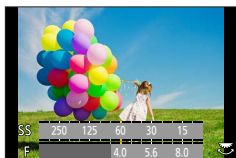
明るさ (露出) 設定時

- 露出補正值は、 -5 EV \sim $+5$ EV の範囲で設定可能です。
- \blacktriangle \blacktriangledown を押すと、露出ブラケットの設定ができます。(P.121)



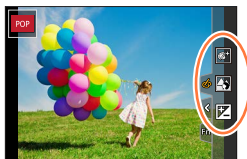
背景のボケ具合設定時

- [Q.MENU/] ボタンを押すと、設定が解除されます。



■ タッチパネルで設定を変える

- ① [] をタッチする
- ② 設定する項目をタッチする
 - [] : 画像効果の調整
 - [] : ボケ具合
 - [] : 明るさ (露出補正ダイヤル) を [OFF] に設定時のみ
- ③ スライドバーや露出メーターをドラッグして設定する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。




● クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使えません。

絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

撮影モード：

モードダイヤルを [P] / [A] / [S] / [M] のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を変更できます。(プログラムシフト以外)

- 1 モードダイヤルを  に合わせる
- 2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [クリエイティブ動画] → [動画露出設定]


設定：[P] / [A] / [S] / [M]



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。





3 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を開始する

- ①  をタッチする
- ② アイコンをタッチする

	ズーム (パワーズーム対応交換レンズ使用時)		露出補正 ([露出補正ダイヤル] (P.40) を [OFF] に設定時)
F	絞り値	ISO	ISO 感度
SS	シャッタースピード		録音レベル設定

- ③ スライダーをドラッグして設定する

 /  ゆっくり設定を変える

 /  速く設定を変える

タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。



4 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を終了する

- ISO 感度は次の範囲で設定できます。
 - ・ [AUTO]、200 ~ 6400 ([拡張 ISO 感度] を [ON] に設定時は L.100 ~ 6400)

■ ISO 感度を [AUTO] に設定したときの、ISO 感度の上限を設定する

MENU ボタン →  [動画] → [ISO オート上限設定 (動画)]

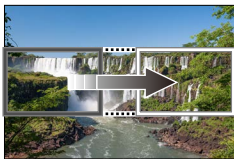
設定：[AUTO] / [400] / [800] / [1600] / [3200] / [6400]



絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

カメラを固定したままパン / ズーム動画を撮る (4K ライブクロップ)

4K 画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。



パン



ズームイン

- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- [MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。

1 モードダイヤルを [c/M] に合わせる

2 メニューを設定する

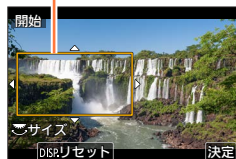
MENU ボタン → [クリエイティブ動画] → [4K ライブクロップ]

設定 : [40 秒] / [20 秒] / [OFF]

3 切り出し開始枠を設定し、[MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 初回設定時、1920 × 1080 の大きさの開始枠が表示されます。(切り出し開始枠、終了枠の設定後は、直前に設定した開始枠と終了枠が表示されます。)
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。

切り出し開始枠

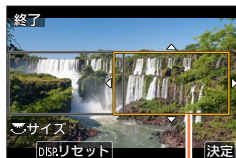


操作	タッチ操作	操作内容
▲▼▶▶	タッチ	枠の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	枠の拡大 / 縮小 (1920 × 1080 ~ 3840 × 2160 の範囲で設定できます)
[DISP.]	[リセット]	枠の位置を中央に、初回設定時の大きさに戻す
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定

絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

4 手順 3 を繰り返し、切り出し終了枠を設定する

- オートフォーカスモードは、[] (顔認識) に切り換わります。(ピントを合わせる目は表示されません。)

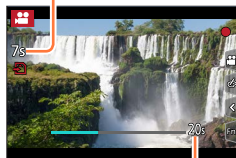


切り出し終了枠

5 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を開始する

- 動画ボタン (またはシャッターボタン) は押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン (またはシャッターボタン) を押してください。

記録経過時間



設定した動作時間




ズームイン / ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

■切り出し枠の位置や大きさを変更する

撮影画面で [Fn2] ボタンを押し、手順 3、4 を行う。

■4K ライブクロップ撮影を解除する

手順 2 で [OFF] を選ぶ。

- 画角は狭くなります。
- 明るさの測定とピント合わせは、切り出し開始枠内で行います。動画撮影中は、切り出し枠内で行います。ピント位置を固定する場合は、[AF 連続動作] を [OFF] にするか、フォーカスモードを [MF] に設定してください。
- [測光モード] は [] (マルチ測光) になります。

お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード)

撮影モード：[C]


お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録)

現在のカメラの設定内容を [カスタムセット登録] で3つまで登録しておくことができます。([C1]、[C2]、[C3])

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラム AE モードの初期設定が登録されています。

準備

あらかじめ撮影モードやメニューを設定して、本機の設定を保存したい状態にしておく。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [カスタムセット登録]
→ 登録したいカスタムセット

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

[カスタム] メニュー	[セットアップ] メニュー	[再生] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> • [メニューガイド] • [個人認証] で登録されたデータ • [プロフィール設定] の設定内容 	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのメニュー 	<ul style="list-style-type: none"> • [縦位置自動回転] • [画像表示順] • [消去確認画面]

登録したカスタムセットで撮る

1 モードダイヤルを [C] に合わせる

- 最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■ カスタムセットを変更する

- ① モードダイヤルを [C] に合わせる
- ② [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- ③ ▲▼ で使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



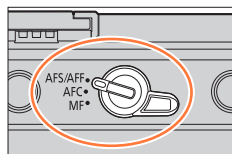
■ 登録内容を変更する

モードダイヤルを [C] に合わせた状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、[セットアップ] メニューの [カスタムセット登録] で登録内容を上書きしてください。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

1 フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる

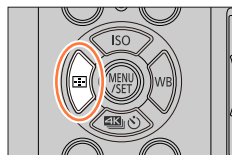
- フォーカスモードを設定する。（P.81）



2 [AF] ボタン (◀) を押す

3 ◀▶ でオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- オートフォーカスモードを切り換える（P.82）

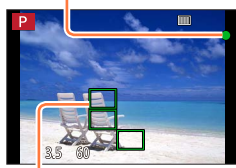


4 シャッターボタンを半押しする

- 電子音がピピッと鳴り、オートフォーカスが動きます。
- 暗い環境ではフォーカス表示が [LOW] と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- [LOW] を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空 AF が動きます。ピントが合うと、フォーカス表示が [STAR] と表示され、ピントを合わせた AF エリアが表示されます。（画面の端では、星空 AF の検知ができません）

フォーカス表示

（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）



AF エリア

（ピントが合う：緑）



次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、ピントを合わせ直してください。

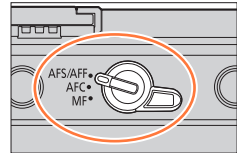
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

フォーカスモードを設定する（AFS、AFF、AFC）

撮影モード：

シャッターボタン半押し時のピント合わせの動作を設定します。

1 フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる



設定		被写体の動き、撮影シーン（お勤め）	設定内容
AFS/AFF	AFS	静止している（風景、記念撮影など）	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
	AFF	動きが予測できない（子ども、ペットなど）	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
		[撮影] / [動画] メニューの [AFS/AFF] で、切り換えることができます。	
AFC		動いている（スポーツ、鉄道など）	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。



[AFF]、[AFC] で撮影する場合は

- 動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。（動体予測）
- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- 次の場合、[AFF] または [AFC] は、[AFS] と同じ動作をします。
 - ・クリエイティブ動画モード
 - ・4K フォトの [連写]（4K 連写（S/S））で撮影時
 - ・低照度時
- パノラマモード設定時、[AFS] に固定されます。
- 4K フォト撮影時、[AFF] に設定できません。撮影時には AF 連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

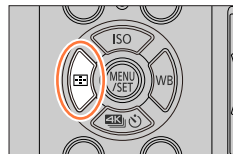
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

オートフォーカスモードを切り換える

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 ボタン（◀）を押す




2 ◀▶ でオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

設定： （顔・瞳認識） / （追尾） / （49点） /
 など（カスタムマルチ） / （1点） / （ピンポイント）
 (P.83～87)

- インテリジェントオートモードおよびインテリジェントオートプラスモード時は、 または に設定できます。
- 次の場合、 に固定されます。
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時
- 次の場合、 に固定されます。
 - ・ デジタルズーム使用時
 - ・ クリエイティブコントロールモード（[ジオラマ]）
- 次の場合、オートフォーカスモードは設定できません。
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ [スナップムービー] の [ピント送り] を [ON] に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

人物を正面から撮るとき （顔・瞳認識）

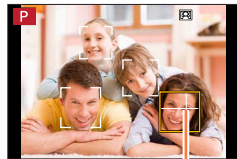
人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせてます。
（[測光モード] を （マルチ測光）に設定時）

- 検知できる顔は 15 個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。
- カメラが顔を認識すると AF エリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。

黄色の AF エリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。

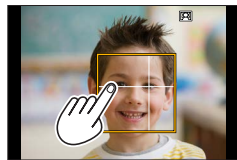




ピントを合わせる目

■ピントを合わせる目を変更する


ピントを合わせる目をタッチする

-  をタッチする、または [MENU/SET] ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



- 次の場合、（顔・瞳認識）に設定できません。
 - シーンガイドモード（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティストティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [料理をおいしそうに撮る] [スイーツをかわいく撮る]）
- 4K ライブクロップ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、（49点）に切り換わります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

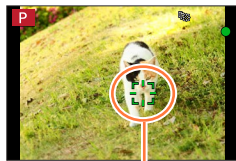
動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき （追尾）

ボタン操作

被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

被写体を認識すると追尾 AF エリアが緑色になります。シャッターボタンを離すと追尾 AF エリアが黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。

- 追尾 AF を解除するとき → [MENU/SET] ボタンを押す




追尾 AF エリア

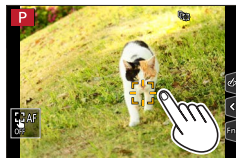
タッチ操作






被写体をタッチする

タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。


ロック中は追尾 AF エリアが黄色になります。

- 追尾 AF を解除するとき →  をタッチする

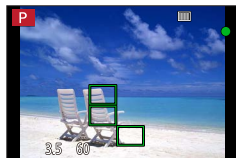



- AF ロックに失敗したときは、赤く点滅したあと消えます。
- [測光モード] を （マルチ測光）に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。（P.164）
- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾 AF が正しく動作しない場合があります。追尾 AF が動かないときは、（1点）となります。
- インターバル撮影時は  は使えません。
- 次の場合、 は （1点）の動作になります。
 - シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る] [モノクロで撮る]）
 - クリエイティブコントロールモード（[セピア] [モノクローム] [ダイナミックモノクローム] [ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - [フォトスタイル] の [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D]

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

被写体が中央にないとき （49点）

撮影画面の広範囲（最大 49 点）の中の被写体にピントを合わせます。








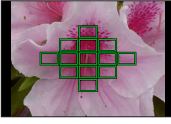
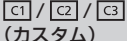
AF エリアの形状を設定するとき  など（カスタムマルチ）

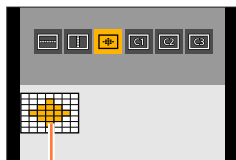
49 点の AF エリアから、被写体に合わせて、自由に AF エリアの形状を設定できます。

1  ボタン（）を押す

2 カスタムマルチアイコン（ など）を選び、 を押す

3   で設定項目を選ぶ

 （横）	流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
 （縦）	建築物の撮影などに便利な形状です。	
 （中央）	中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。	
 （カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。	



現在の AF エリアの形状

4  を押す

- AF エリア設定画面が表示されます。

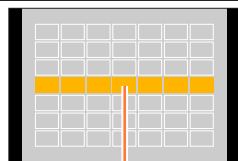
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

5 AF エリアを選ぶ

[] / [] / [] 選択時

① AF エリアを変更する

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	大きさの変更 (3 段階)
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す ・もう一度押すと、枠の大きさが初期設定に戻ります。



選択されている AF エリア

② [MENU/SET] ボタンを押す

[] / [] / [] 選択時

① AF エリアを変更する

ボタン操作

▲▼◀▶ で AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

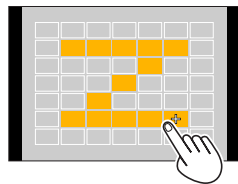
- ・もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- ・[DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。

タッチ操作

AF エリアにしたい場所をタッチする

- ・選択された AF エリアをタッチすると選択が解除されます。

② [Fn1] ボタンを押す




■設定した AF エリアを []、[]、[]（カスタム）に登録する

① 手順 3 の画面で、▲を押す

② ▲▼で登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す


- [] / [] / [] で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）


ピントを合わせる位置が決まっているとき （1点） / （ピンポイント）（1点）




画面中央の AF エリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにお勧め）



[[]] で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体に AF エリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。（フォーカスモードを [AFS] に設定時のみ）

（ピンポイント）

[[]]（1点）より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が拡大表示されます。

- 動画撮影中や 4K フォト撮影時、[[]]（ピンポイント）に設定している場合は、[[]]（1点）に切り換わります。
- 次の場合、[[]]（ピンポイント）に設定できません。
 - ・フォーカスモードを [AFF] または [AFC] に設定時



自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

AF エリアの位置や大きさを変更する

撮影モード： PASM SCN

オートフォーカスモードの 、、、 では、AF エリアの位置や大きさを設定することができます。 では、ロック開始位置を設定できます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- 撮影画面をタッチすることでも、AF エリア設定画面を表示できます。

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [タッチ設定] → [タッチ AF] → [AF]

- [カスタム] メニュー（フォーカス/リリース）で、AF エリアの表示方法などをお好みに設定できます。（P.175）

- [測光モード] が （スポット）のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。
- デジタルズーム領域では、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

/ / 選択時

- ① ボタン（）を押す
- ② 、 または を選び、 を押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
- ③ AF エリアを変更する



操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	AF エリアの移動
	ピンチアウト/ ピンチイン	AF エリアを細かく拡大 / 縮小*
	—	AF エリアを拡大 / 縮小*
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す • もう一度押すと、枠の大きさが初期設定に戻ります。








* の場合は操作できません。

- ④ [MENU/SET] ボタンを押す
 - 選択時は、タッチした場所に と同じ働きの AF エリアが表示されます。
 - [MENU/SET] ボタンを押す、または をタッチすると AF エリアの設定を解除できます。

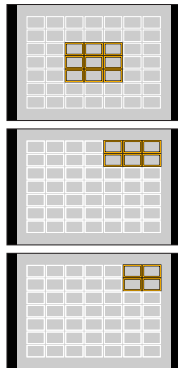
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

■ [AF] 選択時

AF エリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49 点の AF エリアは 9 点（画面の端では 6 点または 4 点）ごとのグループに分けられています。

- ① [AF] ボタン（）を押す
- ② [AF] を選び、を押す
 - ・ AF エリア設定画面が表示されます。
- ③     で AF エリアのグループを選択する
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ [MENU/SET] ボタンを押す、または  をタッチすると AF エリアの設定が解除されます。







グループの例

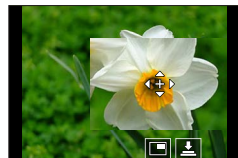







■ [+] 選択時

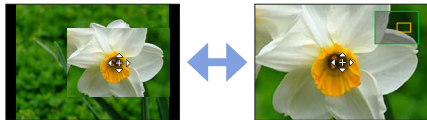
画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。


- ・ 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

- ① [AF] ボタン（）を押す
- ② [+] を選び、を押す
- ③     でピントを合わせる位置を決め、
[MENU/SET] ボタンを押す
 - ・ ピントを合わせる位置を決めるための拡大画面が表示されます。
- ④ [+] をピントを合わせる位置に移動する



操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	[+] の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
		拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）
[DISP.]	[リセット]	手順 ③ の画面に戻す



- ・ 画面の一部のときは約 3 倍～ 6 倍、画面全体のときは約 3 倍～ 10 倍に拡大 / 縮小できます。
- ・  をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

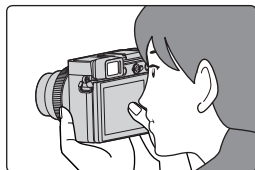
- ⑤ [MENU/SET] ボタンを押す

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

タッチパッドで AF エリアの位置を設定する

撮影モード：

ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動できます。



MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [タッチ設定]
→ [タッチパッド AF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーの AF エリアが移動します。	
相対位置	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーの AF エリアが移動します。	
OFF	—	

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。また、決定前に [DISP.] ボタンを押すと、ピントを合わせる位置が中央に戻ります。
- オートフォーカスモードを [顔・瞳認識]、[追尾]、[49点] に設定時は、[MENU/SET] ボタンを押すと AF エリア枠の設定が解除されます。

- [タッチパッド AF] 使用時は、タッチシャッターは無効になります。
- 次の場合、[タッチパッド AF] は使えません。
 - ・4K ライブクロップ撮影時
 - ・[スナップムービー] の [ピント送り] を [ON] に設定時


自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

タッチした位置にピントと明るさを合わせる

撮影モード：



MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [タッチ設定] → [タッチ AF] → [AF+AE]

1 明るさを合わせたい被写体にタッチする

- AF エリア設定画面が表示されます。(P.88)
- 明るさを合わせる位置が AF エリアの中央に表示され、AF エリアに合わせて移動します。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の  に変わります。

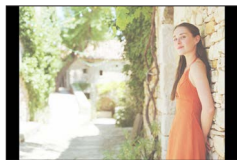


2 [決定] をタッチする

- タッチした場所に  と同じ動きの AF エリアが表示されます。
-  ([) 設定時は ) をタッチすると、[AF+AE] の設定が解除されます。



背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさに影響を受ける場合があります。
- 次の場合、[AF+AE] は動きません。
 - ・ デジタルズーム使用時
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

撮影モード：

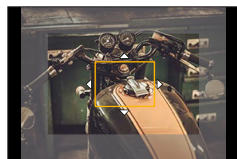
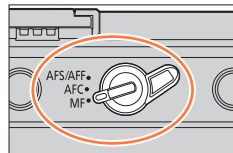
ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる

2  ボタン (◀) を押す

3 ▲▼◀▶ でピントを合わせる位置を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。
(MF アシスト)
- 画面をドラッグすると、拡大表示する位置を移動できます。
- 拡大表示は、以下の操作でもできます。
 - フォーカスリングを回す
 - フォーカスレバーを動かす
 - 画面をピンチアウトするか、2 回タッチする
- ピントを合わせる位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

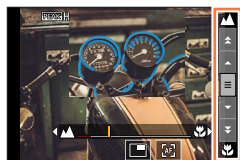


4 ピントを合わせる

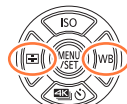
ピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングのない交換レンズ（H-FS12032）をお使いの場合

- ▶を押す：近くにピントを合わせる
- ◀を押す：遠くにピントを合わせる
- ピントを合わせる画面でのみ操作できます。
- ◀▶を押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライダーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。

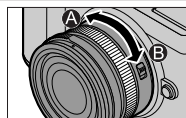


スライダー



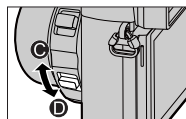
フォーカスリングのある交換レンズ（H-X015）をお使いの場合

- A** 側に回す：近くにピントを合わせる
- B** 側に回す：遠くにピントを合わせる



フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合

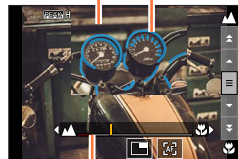
- C** 側に動かす：近くにピントを合わせる
- D** 側に動かす：遠くにピントを合わせる
- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。



手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）（P.181）

MF アシスト（拡大画面）
ピーキング



MF ガイド（P.183）

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶※1	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
		拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）※3
[DISP.]※1	[リセット]※1	拡大表示する部分を中央に戻す

※1 フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合、▼ ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。

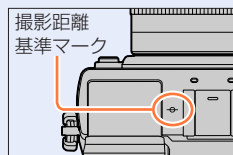
※2 インテリジェントオートモードでは設定できません。

※3 画面の一部のときは約 3 倍～ 6 倍、画面全体のときは約 3 倍～ 20 倍に拡大 / 縮小できます。

5 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。
- [MENU/SET] ボタンを押しても操作できます。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして拡大表示した場合は、操作をやめると約 10 秒後にアシスト画面を終了します。

- 使用するレンズによって、MF アシストや MF ガイドが表示されない場合があります。MF アシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。
- [カスタム] メニュー（フォーカス / リリース）の [縦 / 横位置フォーカス切換] を設定時は、カメラの向きごとに MF アシストの拡大表示位置を設定できます。
- 撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。



手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

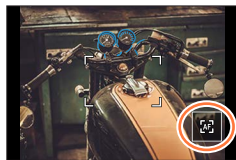


オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

マニュアルフォーカス時に、オートフォーカスでピントを合わせることができます。

1  をタッチする

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- 次の操作でもオートフォーカスが働きます。
 - [AF-ON] を設定した [AF/AE LOCK] ボタンを押す (P.95)
 - [AF-ON] を設定したファンクションボタンを押す (P.51)
 - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す
- 4K ライブクロップ設定時、この機能は使えません。



ピントや露出を固定して撮る（AF/AEロック）

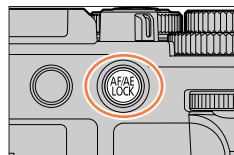
撮影モード： **P** **A** **S** **M**

撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時などに便利です。

1 被写体にカメラを向ける

2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、 ピントや露出を固定する

- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。



3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮 りたい構図に本機を動かし、シャッターボタ ンを全押しする

■ [AF/AE LOCK] の機能を設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [フォーカス/リリース]
→ [AF/AE ロック切換]

[AE LOCK]	露出だけを固定します。 • 露出が合うと、[AEL] が表示されます。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。 • ピントが合うと、[AFL] が表示されます。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。 • ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL] が表示されます。
[AF-ON]	オートフォーカスが動きます。

- マニュアル露出モード時は、AE ロックは無効になります。
- マニュアルフォーカス時は、AF ロックは無効になります。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

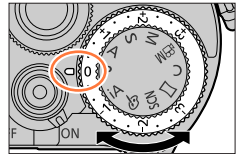
露出を補正して撮る

撮影モード： P A S M

逆光時や、暗すぎる / 明るすぎる場合に露出を補正します。

1 露出補正ダイヤルを回して露出を補正する

- 露出補正値は、 $-3 \text{ EV} \sim +3 \text{ EV}$ の範囲で設定可能です。



■ 露出補正値を拡張する（後ダイヤルで露出を補正する）

準備

露出補正ダイヤルを無効にする

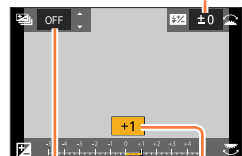
MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [ダイヤル設定]
→ [露出補正ダイヤル] → [OFF]

① 後ダイヤルを押して、露出補正操作に切り換える

② 後ダイヤルを回して、露出を補正する

- 露出補正値は、 $-5 \text{ EV} \sim +5 \text{ EV}$ の範囲で設定可能です。
- を押すと、露出ブラケットの設定ができます。(P.121)
- 前ダイヤルを回すと、フラッシュ光量調整 (P.140) を設定できます。([DISP.] ボタンを押して、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ換えることができます)

フラッシュ光量調整



露出ブラケット 露出補正

③ 後ダイヤルを押して決定する

- [ダイヤル設定] の [露出補正のダイヤル割当] を (前ダイヤル) または (後ダイヤル) に設定すると、露出補正ダイヤル操作時と同様、設定したダイヤルを回すだけで露出を補正することができます。(P.40)

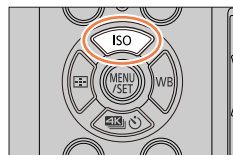
- マニュアル露出モードでは、ISO 感度を [AUTO] に設定時のみ露出補正できます。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、 $-3 \text{ EV} \sim +3 \text{ EV}$ の範囲で設定可能です。
- [撮影] メニューの [フラッシュ設定] の [露出補正連動] を [ON] に設定時は、露出補正値に応じたフラッシュの発光量も自動的に調整されます。
- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- 露出補正値が $-3 \text{ EV} \sim +3 \text{ EV}$ の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押しするか、[AF/AE LOCK] ボタンで AE ロック時に、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正値は、電源を切っても記憶しています。([露出補正リセット] を [OFF] に設定時)

ISO 感度を設定する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

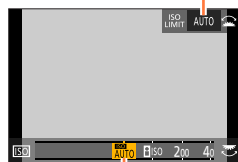
ISO 感度（光に対する感度）を設定します。

1 [ISO] ボタン（▲）を押す



2 後ダイヤルを回して ISO 感度を選ぶ

ISO オート上限設定



ISO 感度

AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200*1 までの範囲で自動設定します。
ISO (インテリジェント ISO)	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200*1 までの範囲で自動設定します。 ・シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
L.100*2/200 ~ 25600	それぞれの ISO 感度に固定します。

*1 [ISO オート上限設定 (写真)] を [AUTO] に設定時

*2 [拡張 ISO 感度] が [ON] の場合のみ

3 前ダイヤルを回して ISO オート上限設定を設定する

- ・ISO 感度が [AUTO] または [ISO] 時に働きます。
- ・[DISP.] ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ換えることができます。

4 後ダイヤルを押して決定する

- ・シャッターボタン半押しでも決定できます。

ISO 感度を設定する


設定の目安

ISO 感度	200	↔	25600
適した撮影場所	明るい（屋外）		暗い
シャッタースピード	遅くなる		速くなる
ノイズ	減る		増える
被写体ブレ	多い		少ない

- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、[135 ページ](#)をお読みください。
- シャッター優先 AE モード時やマニュアル露出モード時は、**[ISO]** は選択できません。
- [多重露出] 設定時は、3200 までの設定になります。
- 動画撮影中、ISO 感度は [AUTO]（動画用）の動作になります。クリエイティブ動画モード時、4K フォト、フォーカスセレクト撮影時は、次の範囲で設定できます。
 - [AUTO]、200 ~ 6400（拡張 ISO 感度）を [ON] に設定時は L.100 ~ 6400）

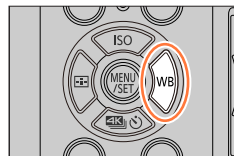


ホワイトバランスを調整する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタン (▶) を押す



2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

[AWB] / [AWBc]	<p>環境光に応じて、自動で色合いを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白熱電球下など赤みがかかる光源下では、 <ul style="list-style-type: none"> - [AWB] は見た目の印象を優先し、赤みを残します。 - [AWBc] は被写体本来の色を優先し、赤みを抑えます。 明るい環境下では、[AWB] と同じ色に調整される場合があります。 赤みがかかる光源下以外では、[AWB] と [AWBc] は同じ色に調整します。
	晴天下に適した色合いに調整します。
	曇天下に適した色合いに調整します。
	日陰に適した色合いに調整します。
	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
*	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
/ / /	<p>手動で設定した設定値を使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲を押す 画面中央の枠内に紙など白いものを映し、シャッターボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。
	<p>色温度でホワイトバランスを設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲を押す ▲▼で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> • [2500K] ~ [10000K] まで設定できます。



*動画撮影中、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は [AWB] の動作になります。

3 後ダイヤルを押して決定する

• シャッターボタン半押しでも決定できます。

ホワイトバランスを調整する

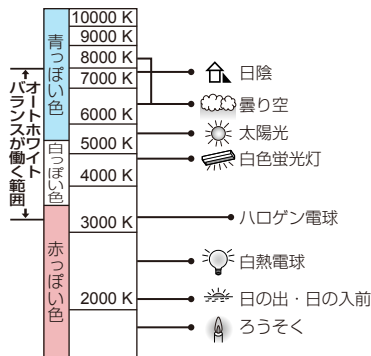


蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]、[AWBc] または []、[]、[]、[] をご使用ください。

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、それぞれのシーンに適した設定になります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス（ホワイトバランス微調整も含む）は、[AWB] に戻ります。

■オートホワイトバランス

AWB（オートホワイトバランス）に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB]、[AWBc] 以外に設定して調整してください。



ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを設定しても思い通りの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。

1 「ホワイトバランスを調整する」(P.99) の手順 **2** で
ホワイトバランスを選び、▼を押す

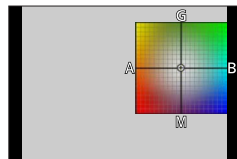
2 ▲▼◀▶でホワイトバランスを微調整する

- ◀: A (アンバー：オレンジ系) ▶: B (ブルー：青系)
- ▲: G (グリーン：緑系) ▼: M (マゼンタ：赤系)

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
- [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しで、撮影画面に戻ります。



ホワイトバランスを調整する

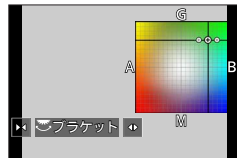
- ホワイトバランスを A（アンバー）または B（ブルー）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスを G（グリーン）または M（マゼンタ）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに「+」（グリーン）または「-」（マゼンタ）が表示されます。

ホワイトバランスのブラケット撮影をする

ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、1回の撮影操作で異なる色合いの写真を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランスを微調整する」(P.100) の手順 2 でホワイトバランスを微調整し、後ダイヤルを回してブラケット設定を行う

- [◀] / [▶] / [⬇] / [⬆] をタッチしてもブラケット設定することができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しで、撮影画面に戻ります。

- ホワイトバランスブラケットは、[撮影] メニューの [ブラケット] でも設定できます。(P.120)
- 次の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
 - パノラマモード
 - シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]）
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 動画撮影中の写真撮影
 - [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時
 - [多重露出] 設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

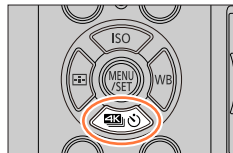
4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4K フォトで撮る

撮影モード：  P AS M  

約 800 万画素の写真を 30 コマ / 秒で連写撮影します。撮影後、連写ファイルから一瞬を選び出し、保存することができます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。




1   ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ で 4K フォトアイコンを選び、▲ を押す

3 ◀▶ で撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影方法は、[撮影] メニューの [4K フォト] → [撮影方法] でも設定できます。


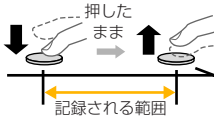






 4K 連写	動きの速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき (スポーツ、飛行機、鉄道など) 音声記録：なし
 4K 連写 (S/S) S/S とは「Start/Stop」 の略を表します。	いつ起こるか分からないシャッターチャンスをとらえたいとき (植物、動物、子どもなど) 音声記録：あり*
 4K プリ連写	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき (ボールを投げる瞬間など) 音声記録：なし

*本機で再生する場合、音声は再生されません。

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4 4K フォトで撮影する

 4K 連写	①シャッターボタンを半押しする ②撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする ・全押ししてから約 0.5 秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。	 <p>押したまま</p> <p>記録される範囲</p>
 4K 連写 (S/S) S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	①シャッターボタンを全押しする ・撮影を開始します。 ②もう一度、シャッターボタンを全押しする ・撮影を終了します。	 <p>開始 (1 回目) 終了 (2 回目)</p> <p>記録される範囲</p> <p>🔦 撮影中に [Fn1] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。(1 回の記録につき最大 40 個まで) 4K 連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。</p>
 4K プリ連写	①シャッターボタンを全押しする ・オートフォーカス時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。 ・通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。	 <p>約 1 秒 約 1 秒</p> <p>記録される範囲</p> <p>🔦 被写体が中央にないときなどで、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AE ロックをお使いください。(P.95)</p>

- ・連写した画像は、1 つの 4K 連写ファイルとして MP4 形式で保存されます。
- ・オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- ・4K 連写ファイルから写真を選び保存する方法は、105 ページをお読みください。

■プリ記録を設定する (4K 連写、4K 連写 (S/S))

シャッターボタンを全押しする約 1 秒前から記録し、シャッターチャンスを逃すことを防ぎます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【4K フォト】** → **【プリ記録】**

設定：[ON] / [OFF]

- 設定時は撮影画面に [PRE] が表示されます。
- 使用時のオートフォーカスの動作や設定できないメニューは、[4K プリ連写] と同じになります。

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する


■ループ記録を設定する (4K 連写 (S/S))

古いデータを消去しながら記録するので、カードを交換せずにシャッターチャンス待ちながら撮影できます。

- 撮影を開始すると、4K 連写ファイルが約 2 分ごとに分割して記録されます。最新の約 10 分間 (最大約 12 分間) が記録されます。それ以前の部分は消去されます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【4K フォト】** → **【ループ記録 (4K フォト)】**



設定：[ON] / [OFF]

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプター (別売：DMW-AC10) および DC カプラー (別売：DMW-DCC11) の使用をお勧めします。
- 連続して撮影できるのは、12 時間までです。
- 設定時は撮影画面に  が表示されます。
- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録をすることができません。

■4K フォトを解除する

手順 **2** で  (単写) または  を選ぶ。

 **本機の温度やバッテリーの消耗について**

- 周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
-  (4K プリ連写) や **【プリ記録】** に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ設定してください。

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

1 再生画面で [△/4K] が付いた画像を選び、▲ を押す

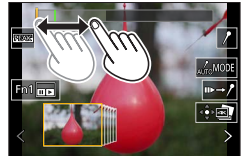
- [△/4K] をタッチしても操作できます。
- [連写] (4K プリ連写) で撮影した場合は、手順 3 へ進んでください。



2 スライダーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、106 ページをお読みください。
- [再生] をタッチする (または [Fn1] ボタンを押す) と 4K 連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(P.107)

スライドフォトセレクト画面



3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀▶ でも操作できます。



4 [保存] をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、4K 連写ファイルとは別に JPEG 形式で新規保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

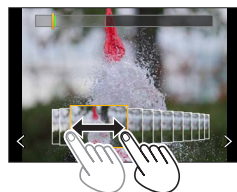
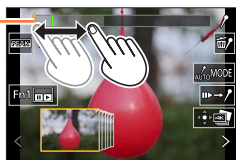


[再生] メニューの [4K フォト一括保存] を使うと、5 秒分の写真を一括保存することができます。(P.205)

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

<スライドフォトセレクト画面>

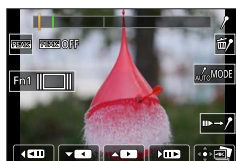
表示中のコマの位置



操作	タッチ操作	操作内容
—	タッチ / ドラッグ	表示するシーンの選択 • 選んだシーンの前後のコマをスライドフォトで表示します。
	ドラッグ	コマの選択 • スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[<] または [>] をタッチしてください。
長押し	長押し	シーンまたはコマを連続して戻す / 送る
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小
	—	拡大したままコマを選択 (拡大表示中)
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
—		表示するマーカーの切り換え (P.108)
—		マーカー操作への切り換え (P.108)
[Fn1]		4K 連写再生画面を表示
—		マーカーの追加 / 削除
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示 (ピーキング) • [PEAK OFF] → [PEAK L] (低) → [PEAK H] (高) の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

< 4K 連写再生画面 >



一時停止中



連続再生中

操作	タッチ操作	操作内容
—		表示するシーンの選択 (一時停止中)
▲		連続再生 / 一時停止 (連続再生中)
▼		連続戻し再生 / 一時停止 (連続戻し再生中)
▶		早送り再生 / コマ送り (一時停止中)
◀		早戻し再生 / コマ戻し (一時停止中)
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小 (一時停止中)
	—	拡大したままコマを選択 (拡大表示中)
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
—		表示するマーカーの切り換え (P.108)
—		マーカー操作への切り換え (P.108)
[Fn1]		スライドフォトセレクト画面を表示 (一時停止中)
—		マーカーの追加 / 削除
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示 (ピーキング) ・ [PEAK OFF] → [PEAK L] (低) → [PEAK H] (高) の順に 切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存 (一時停止中)

- 画面を 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。(拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります)

■ テレビの画面で写真を選び保存する

- ・ [HDMI 出力解像度 (再生時)] を [AUTO] または [4K/30p] に設定してください。4K 動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定してください。
- ・ テレビに接続して表示する場合、4K 連写再生画面のみが表示されます。
- ・ 4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生できるのは、[画像横縦比] が [16:9] で撮影した 4K 連写ファイルのみです。(2018 年 2 月現在)

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

マーカー

4K 連写ファイルから写真を選んで保存するときに、マーカーの位置へスキップすると、写真を選びやすくなります。

■マーカーの位置へスキップする

スライドフォトセレクト画面、または 4K 連写再生画面で [Fn] をタッチするとマーカー操作画面に切り換わり、マーカーの位置へスキップすることができます。
[Fn] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	◀▶	前 / 次のマーカーの位置へスキップする

マーカーには 2 種類あります。

白色：撮影時や再生時に手動で設定したマーカー

緑色：撮影時にカメラが自動で設定したマーカー
(オートマーキング機能)

手動で設定したマーカー (白色)
オートマーキング機能によるマーカー (緑色)



オートマーキング機能

カメラが被写体の動きや顔を検出したシーンに、自動でマーカーを設定します。

(例：乗り物が横切るシーン、風船が割れるシーン、人が振り向くシーン)

- 1 ファイルにつき最大 10 個まで表示されます。
- 次のような場合、撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されないことがあります。
 - 流し撮りや手ブレなどでカメラが動いている
 - 被写体の動きが遅い / 小さい、被写体が小さい
 - 顔が正面を向いていない

■表示するマーカーを切り換える

スライドフォトセレクト画面、4K 連写再生画面、またはマーカー操作画面で [AUTO MODE] をタッチする

オート	顔を検出したシーンや、動きを検出したシーンのマーカーを表示します。
顔優先	顔を検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
動き優先	動きを検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
OFF	手動で設定したマーカーのみ表示します。

- オートマーキング機能によるマーカーは削除できません。
- 4K 連写ファイルを本機以外で動画分割して再び本機で再生すると、オートマーキング機能によるマーカーは、正しく表示されない場合があります。
- 次の場合、オートマーキング機能によるマーカーは表示されません。
 - [4K プリ連写] で撮影した 4K 連写ファイル



4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4K フォトのお知らせ

■横縦比を変更する

[撮影] メニューの [画像横縦比] を設定することで、4K フォトの横縦比を設定できます。

■被写体ブレを抑えて撮る




シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

- ①モードダイヤルを [S] に合わせる
- ②後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する
 - ・晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000 秒以上
 - ・シャッタースピードを速くすると、ISO 感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■手ブレを抑えて撮る

[比較明合成] や [軌跡合成] を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。(P.224)

■4K フォト撮影時のシャッター音

- ・ (4K 連写) や  (4K プリ連写) で撮影時、[電子シャッター音音量] と [電子シャッター音音色] で、電子シャッター音の設定ができます。(P.190)
- ・ (4K 連写 (S/S)) で撮影時、開始音 / 終了音は、[電子音音量] で音量を設定できます。
- ・サイレントモードと組み合わせて 4K フォト撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。(P.169)

■4K フォトが苦手な撮影シーン

室内での撮影

蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P.173)

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体がゆがんで撮影される場合があります。

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

■4K フォトでのカメラの設定

4K フォトの撮影に最適な設定に自動で切り換わります。

- 次の設定が固定されます。

記録画素数	[4K] (8M) [4:3] : 3328 × 2496 [3:2] : 3504 × 2336 [16:9] : 3840 × 2160 [1:1] : 2880 × 2880
クオリティ	
シャッター方式	[電子シャッター]
記録方式*	[MP4]
画質設定*	[4K/100M/30p]
AF 連続動作*	[ON]

* [動画] メニューでの設定は、4K フォトで撮影する 4K 連写ファイルに反映されません。

- 次の撮影機能が制限されます。

	(4K 連写 (S/S))	(4K プリ連写)
プログラムシフト	×	
露出補正	- 3 EV ~ + 3 EV	
シャッタースピード	1/30 ~ 1/16000	
下限シャッター速度	1/1000 ~ 1/30	
フォーカスモード (AFF)	×	
オートフォーカスモード ([+])	×	
MF アシスト	○	×
ホワイトバランス ([])	×	
ISO 感度	[AUTO]、200 ~ 6400 ([拡張 ISO 感度] を [ON] に設定時は L.100 ~ 6400)	
フラッシュ	×	
ブラケット撮影	×	

- 以下のメニューは設定できません。

インテリジェントオート	[i 手持ち夜景] / [iHDR]
クリエイティブコントロール	[フィルターなし同時記録]
撮影	[記録画素数] / [クオリティ] / [AFS/AFF] / [色空間] / [フラッシュ設定] / [長秒ノイズ除去] / [シェーディング補正] / [EX テレコン (写真)] / [シャッター方式] / [シャッターディレイ] / [ブラケット] / [HDR]
カスタム	[記録枠表示] / [個人認証] / [プロフィール設定]
セットアップ	[エコモード] ([] (4K プリ連写) のみ)

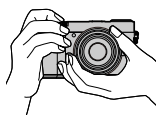
4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

- 以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
 - SDHC メモリーカード使用時：ファイルサイズが 4 GB を超える場合
 - SDXC メモリーカード使用時：連続記録時間が 3 時間 4 分を超える場合、ファイルサイズが 96 GB を超える場合
- 撮影時、画角が狭くなります。
- 4K フォト撮影時、次のようになります。
 - ・ [トラベル日付] の [旅行先] は記録できません。
 - ・ [フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] は設定できません。
 - ・ HDMI 出力することはできません。
- [📷] (4K プリ連写) で撮影時、[パワースームレンズ] の [ステップズーム] は動きません。
- インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じシーン判別になります。
- ドライブモードを 4K フォトに設定時、動画撮影中に写真を撮影することはできません。
([📷] (写真優先) 設定時のみ)
- 次の場合、4K フォトは無効になります。
 - ・ シーンガイドモード ([逆光でしっかり撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をアーティストックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - ・ 動画撮影時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時
- パソコンで 4K 連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」で 4K 連写ファイルを動画として編集することはできません。

撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト/フォーカス合成)

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

4K 連写でピント位置を変化させながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをずらしながら 4K フォト連写

合わせたいピント位置をタッチ

お好みのピント位置での写真が完成

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- フォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

フォーカスセレクト撮影をする

1 ボタンを押す

2 ◀▶ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ボタン (▼) を押して、◀▶ でフォーカスセレクトアイコン () を選んでも [ON] に設定できます。

3 構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが動き、画面内のピント位置を検出します。
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 (●) が点滅し、撮影できません。

シャッターボタン半押し後から撮影終了までは
被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

フォーカスセレクトアイコン



4 シャッターボタンを全押しして撮影を開始する

- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。撮影進捗バーが消えると、撮影が自動で終了します。
- 1 つのファイルとして MP4 形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が自動で表示されます。(P.113)

撮影進捗バー




■フォーカスセレクトを解除する

手順 2 で [OFF] を選ぶ。

- ボタン (▼) を押して、[] (単写) または を選んでも解除できます。


撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト/フォーカス合成）

 本機の温度について

周囲の温度が高かったり、連続でフォーカスセレクト撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）

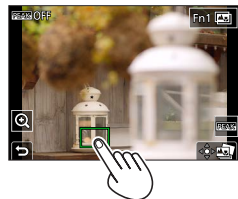
1 再生画面で  が付いた画像を選び、▲を押す









- アイコン () をタッチしても操作できます。





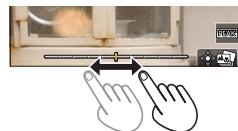
2 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合、赤い枠が表示され、写真を保存できません。
- 画面の端は選べません。



操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	ピント位置の選択 • 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大
		表示の縮小（拡大表示中）
[Fn1]		フォーカス合成操作への切り換え (P.114)
—		ピントが合った部分に色を付けて表示（ピーキング） • [PEAK OFF] → [PEAK L]（低）→ [PEAK H]（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

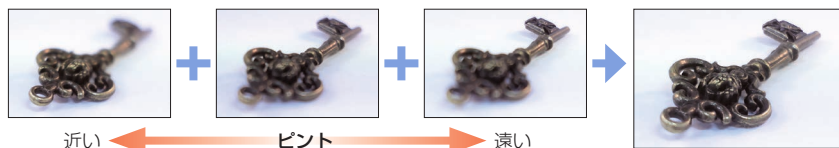
- 拡大表示中は、スライダーをドラッグし、ピントを微調整することができます。（  でも操作できます。）

3  をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、別ファイルとして JPEG 形式で新規保存されます。

撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト/フォーカス合成）

ピントが合う範囲を選び、1 枚の写真に合成する（フォーカス合成）



1 「ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）」（P.113）の手順 2 で、画面の [Fn] をタッチする

- [Fn] ボタンを押しても操作できます。

2 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1 枚の写真に合成します。 <ul style="list-style-type: none"> • 近距離側の写真を優先して選びます。 • 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を 1 枚の写真に合成します。

〔指定範囲合成〕選択時

3 ピントを合わせる位置をタッチする

- 2 点以上の位置を選んでください。
- 選択した 2 点の間にピントが合っている位置があれば、その位置も選択されます。
- 選択できない位置や、選択すると不自然な写真になる可能性がある位置はグレーで表示されます。

- もう一度、タッチすると選択が解除されます。
- 画面をドラッグすると、位置を続けて選択できます。



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼▲▶	タッチ	位置の選択
[Fn1]	[設定 / 解除]	位置の設定 / 解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択 (位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除 (位置の選択後)
[MENU/SET]		写真の合成・保存

4 [MENU/SET] をタッチし、写真を合成し保存する

- 写真は JPEG 形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト/フォーカス合成）

フォーカスセレクト/フォーカス合成のお知らせ

■フォーカスセレクト撮影時のカメラの設定

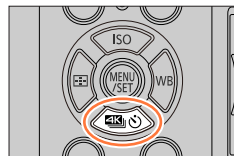
- 4K フォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。詳しくは、[110 ページ](#)の「4K フォトでのカメラの設定」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影時は、4K フォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
 - オートフォーカスモードは設定できません。
 - マニュアルフォーカス操作はできません。
 - 次の〔カスタム〕メニューは設定できません。
〔シャッター半押し AF〕
 - 動画撮影はできません。
 - デジタルズームは使えません。
- 撮影時、画角が狭くなります。
- 次の場合、フォーカスセレクト撮影は無効になります。
 - シーンガイドモード（〔逆光でしっかり撮る〕〔水面をキラキラ撮る〕
〔夜景をアーティストティックに撮る〕〔イルミネーションをキラキラ撮る〕
〔夜景を手持ちで撮る〕〔夜景をバックに人物をきれいに撮る〕〔花をふんわり撮る〕〕
 - クリエイティブコントロールモード（〔ラフモノクローム〕〔シルキーモノクローム〕
〔ジオラマ〕〔ソフトフォーカス〕〔クロスフィルター〕〔サンシャイン〕）
 - 〔多重露出〕設定時
 - インターバル撮影時
 - 〔コマ撮りアニメ〕時
- ピントを選んで保存する場合、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続して、テレビの画面で写真を選んで保存することはできません。
- 次の場合、不自然な写真に合成されることがあります。
 - 被写体が動いた場合
 - 被写体までの距離の差が大きい場合
 - ボケ具合が大きい場合（絞り値を大きくして撮影すると不自然さが軽減することがあります）
- フォーカス合成時は、手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角がわずかに狭くなります。
- フォーカス合成できるのは本機でフォーカスセレクト撮影した画像のみです。

ドライブモードを選ぶ

撮影モード：

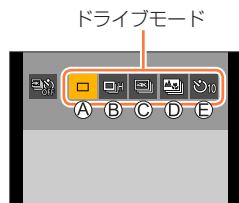
シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 ボタン (▼) を押す



2 ◀▶ でドライブモードを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

① 単写	シャッターボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
② 連写 (P.117)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
③ 4K フォト (P.102)	シャッターボタンを押すと 4K フォトで撮影します。
④ フォーカスセレクト (P.112)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクト撮影をします。
⑤ セルフタイマー (P.119)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



■ ドライブモードを解除する

手順 2 で (単写) または を選ぶ。

- セルフタイマーは電源を切っても解除されます。([セルフタイマー自動解除] を [ON] に設定時)

連写する

■ [連写速度] を設定する

- ① 116 ページの手順 2 で連写を選んで ▲ を押す
- ② ◀▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	メカシャッター	9 コマ / 秒*1 6 コマ / 秒*2	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	電子シャッター	9 コマ / 秒*1 6 コマ / 秒*2	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写中のライブビュー		なし*1 / あり*2	あり	あり
連写コマ数*3	RAW ファイルあり	30 コマ以上		
	RAW ファイルなし	100 コマ以上		

*1 フォーカスモードを [AFS] または [MF] に設定時

*2 フォーカスモードを [AFF] または [AFC] に設定時

*3 当社測定条件による撮影時。

カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。
撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。撮影速度を維持しながら撮影できる枚数の目安が確認できます。

例) 20 枚のとき: [r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
[r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100 枚以上の連続撮影ができます。



連写時のピントについて

ピント合わせはフォーカスの設定と [カスタム] メニュー (フォーカス / リリース) の [フォーカス / リリース優先] の設定によって異なります。

フォーカスの設定	フォーカス / リリース優先	[H]	[M]、[L]
AFS	フォーカス / バランス / リリース	1 コマ目	
AFF/AFC※1	フォーカス	予測ピント※2	常時ピント※3
	バランス / リリース	予測ピント※2	
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス	

※1 被写体が暗い場合は、ピントは 1 コマ目に固定されます。

※2 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

※3 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。




- 連写速度は、次の設定によって低下することがあります。
[ISO 感度] / [記録画素数] / [クオリティ] / フォーカスモード / [フォーカス / リリース優先]
- [H] (フォーカスモードが [AFS] または [MF] の場合) 設定時、1 コマ目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
[H] (フォーカスモードが [AFF] または [AFC] の場合)、[M] または [L] 設定時、1 コマごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、連写コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- 次の場合、連写は無効になります。
 - ・ シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - ・ フラッシュ撮影時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)




セルフタイマーで撮る

■ [セルフタイマー] の動作を設定する

- ① 116 ページの手順 2 でセルフタイマーを選んで ▲ を押す
- ② ◀▶ で動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	10 秒後に撮影します。
	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
	2 秒後に撮影します。シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。
- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- 三脚の使用をお勧めします。
- 次の場合、[] に設定できません。
 - ・ブラケット撮影時
 - ・[多重露出] 設定時
 - ・[フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
- 次の場合、セルフタイマーは無効になります。
 - ・動画撮影時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影)

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

 (露出ブラケット)	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。 (P.121)
 (絞りブラケット)	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。 (P.122) • 絞り優先 AE モード時、またはマニュアル露出モードで ISO 感度を [AUTO] に設定時に選択できます。
FOCUS (フォーカスブラケット)	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。 (P.122)
WB (ホワイトバランスブラケット)	1 回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に 3 枚撮影します。 (P.101)

2 ▼ で [詳細設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [詳細設定] については、各機能のページをお読みください。
- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分がすべて撮影されるまでにブラケットの設定を変更したり、電源を切ったりした場合は、1 枚目からの撮影になります。

■ ブラケットを解除する

手順 **1** で [OFF] を選ぶ。





設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影)

- 次の場合、ブラケット撮影は無効になります。
 - ・ シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - ・ フラッシュ撮影時 (ホワイトバランスブラケットを除く)
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

露出ブラケット

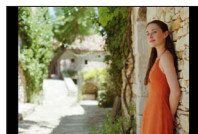
■ 詳細設定 (120 ページの手順 2)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3] (3 枚撮影・1/3 EV 幅) ~ [7・1] (7 枚撮影・1 EV 幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法*	[]: シャッターボタンを押すごとに 1 枚撮影。 []: 1 回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

* 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

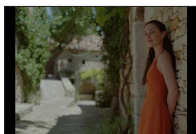
補正幅: [3・1/3]、ブラケット順序: [0/-/+] 設定時の例

1 枚目



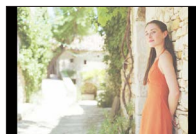
± 0 EV

2 枚目



- 1/3 EV

3 枚目



+ 1/3 EV

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影)

絞りブラケット

撮影モード： **A** **M**

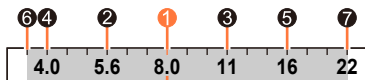
■ 詳細設定 (120 ページの手順 2)

撮影枚数	[3]、[5]：開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]：すべての絞り値で撮影。
------	--

- ・ 連写設定時は、シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

絞り値は使用するレンズによって変わります。

交換レンズ (H-FS12032) 装着時の例



開始位置を F8.0 に設定時

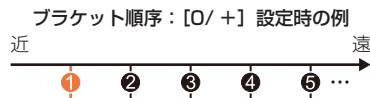
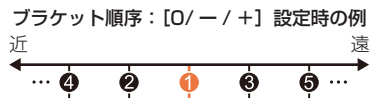
- ① 1 枚目、② 2 枚目、③ 3 枚目・・・⑦ 7 枚目

フォーカスブラケット

■ 詳細設定 (120 ページの手順 2)

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。
撮影枚数*	撮影枚数を設定します。
ブラケット順序	[0/ - / +]：開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/ +]：開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

* 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。



- ① 1 枚目、② 2 枚目・・・⑤ 5 枚目・・・

- フォーカスブラケット撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。

一定の間隔で自動的に撮影する (インターバル撮影)

撮影モード：

撮影開始時刻や撮影間隔などをあらかじめ設定しておく、自動的に写真を撮影します。動物の経過観察や風景などの定点撮影に便利です。ひとつのグループ画像として記録されます。

・あらかじめ時計を設定してください。(P.33)

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [インターバル撮影]

撮影間隔設定	ON：撮影開始から次の撮影開始までの時間を設定します。 OFF：撮影終了後、間隔を空けずに次の撮影を開始します。
開始時刻	即時開始 シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。 開始時刻設定 最大 23 時間 59 分後まで設定可能です。 ① ◀▶ で項目 (時・分) を選び、▲▼ で開始時刻を設定し、 [MENU/SET] ボタンを押す
撮影枚数 撮影間隔*1	◀▶：項目 (桁) 選択 ▲▼：設定 [MENU/SET] ボタン：決定

*1 [撮影間隔設定] が [ON] の場合のみ設定できます。

- ・設定画面に、撮影の終了予定時刻が表示されます。([撮影間隔設定] を [OFF] に設定している場合は、シャッター優先 AE モード時またはマニュアル露出モードで、フォーカスモードを [MF] に設定時のみ表示されます)
- ・撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できなかつたり、終了予定時刻に終了しなかつたりする場合があります。

2 ▲ で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

4 シャッターボタンを全押しする

- ・自動的に撮影が開始されます。
- ・撮影待機中、一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- ・撮影待機中の操作 (電源が入った状態)

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[Fn1]**2	*3	一時停止または終了の選択画面を表示
		再開または終了の選択画面を表示 (一時停止中)

*2 [撮影間隔設定] を [OFF] に設定して撮影時は、撮影中でも [Fn1] を押すことができます。[Fn1] を押したときの画像の撮影 (露光) が終了してから、選択画面を表示します。

*3 [撮影間隔設定] を [OFF] に設定して撮影時は、タッチ操作はできません。

一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

5 動画の作成方法を選ぶ

- [記録方式]：[MP4]

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。
動画化順番	[撮影順]：撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]：撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

6 ▲で[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生] メニューの [インターバル動画作成] から動画化できます。

- システム用途（監視カメラ）の機能ではありません。
- 次の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源を切ったとき
 設定した枚数まで撮り終わっていない場合は、一時停止中に電源を切りバッテリー、カードを交換し、電源を入れて再開することができます。（ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます）
- [撮影間隔] を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、オートフォーカスでインターバル撮影することをお勧めします。
- 画質設定のサイズを [4K] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。
SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は動画作成できません。SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを [FHD] または [HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 次の場合、[インターバル撮影] は使えません。
 - シーンガイドモード（[夜景を手持ちで撮る]）
 - [多重露出] 設定時
 - [コマ撮りアニメ] 時

ストップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**    

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。ひとつのグループ画像として記録されます。

- あらかじめ時計を設定してください。(P.33)

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [コマ撮りアニメ]

自動撮影	[ON]：設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。 [OFF]：1 コマずつ手で写真を撮影します。
------	--

撮影間隔	([自動撮影] を [ON] に設定時のみ) 自動撮影の間隔を設定します。
------	--

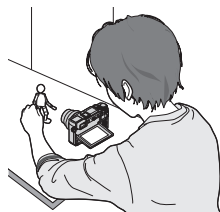
2 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲で [新しく撮る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

5 シャッターボタンを全押しする
• 最大 9999 コマまで撮影できます。

6 被写体を動かし、構図を決める
• 同様に撮影を繰り返してください。
• 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。



素材を上手に撮影するために

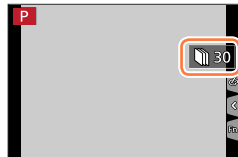
- 撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- [再生] ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は [削除] ボタンを押して消去することができます。もう一度 [再生] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



ストップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)

7 [] をタッチして撮影を終了する

- [撮影] メニューから [コマ撮りアニメ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影] を [ON] に設定時は、確認画面で [終了] を選んでください。([一時停止] を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)



8 動画の作成方法を選ぶ

- [記録方式] : [MP4]

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。
動画化順番	[撮影順] : 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順] : 撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

9 ▲ で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生] メニューの [コマ撮りアニメ作成] から動画化できます。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順 3 で [続きから撮る] を選ぶと、[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、確認画面で [はい] を選んでください。

- フラッシュ撮影時など、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 画質設定のサイズを [4K] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。
- SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は動画作成できません。SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを [FHD] または [HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 1 枚だけ撮影された画像を [続きから撮る] で選ぶことはできません。
- 次の場合、[コマ撮りアニメ] は使えません。
 - [多重露出] 設定時
 - インターバル撮影時
- 次の場合、[コマ撮りアニメ] の [自動撮影] は使えません。
 - シーンガイドモード ([夜景を手持ちで撮る])



手ブレを補正する

本機では、レンズ内手ブレ補正と、ボディ内手ブレ補正が使えます。また、両方を組み合わせてより効果的にブレを抑えることもできます。(Dual I.S. 方式) 動画撮影時は、レンズ、ボディ、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使えます。

- お使いのレンズによって、使える手ブレ補正の種類が異なります。撮影画面のアイコンで、現在働いている手ブレ補正の種類を確認できます。

	写真撮影時	動画撮影時
Dual I.S. に対応した当社製レンズ (マイクロフォーサーズ規格準拠) <ul style="list-style-type: none"> 対応レンズの最新情報は、ホームページをご覧ください。(P.19) 対応レンズを使用しても [DUAL]、[DUAL] や [DUAL] が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。(P.19) 	レンズ+ボディ (Dual I.S.) (DUAL / DUAL)	レンズ+ボディ (Dual I.S.) (DUAL)、 5軸ハイブリッド (DUAL)*
手ブレ補正機能に対応したレンズ (マイクロフォーサーズ規格 / フォーサーズ規格準拠)	レンズまたはボディ ((DUAL) / (DUAL))	レンズまたはボディ ((DUAL))、 5軸ハイブリッド (DUAL)*
手ブレ補正機能に非対応のレンズ (マイクロフォーサーズ規格 / フォーサーズ規格準拠)	ボディ ((DUAL) / (DUAL))	ボディ ((DUAL))、 5軸ハイブリッド (DUAL)*
ライカレンズ用マウントアダプター (別売) か、 他社製マウントアダプターを使用したとき		

* [電子補正 (動画)] を [ON] に設定時

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマーなどをお使いください。

- シャッタースピードが遅くするとブレやすくなります。特に、次の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
 - スローシンクロ
 - 赤目軽減スローシンクロ
 - シーンガイドモード ([夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティストチックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る])



手ブレを補正する

撮影モード：

- O.I.S. スイッチがある交換レンズの場合、レンズの O.I.S. スイッチを [ON] にすると手ブレ補正機能が働きます。(お買い上げ時は に設定されています)

MENU ボタン → 【撮影】 / 【動画】 → 【手ブレ補正】

動作設定	(通常)	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。
	(流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を動かしながら撮影する方法）するときに適しています。
	OFF	手ブレ補正は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> • O.I.S. スイッチがあるレンズをご使用の場合は、レンズの O.I.S. スイッチを [OFF] にしてください。
電子補正 (動画)	動画撮影時の上下方向、左右方向、回転軸、縦回転、水平回転の 5 つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5 軸ハイブリッド手ブレ補正) [ON] / [OFF] <ul style="list-style-type: none"> • [ON] に設定時は、撮影した動画の画角が狭くなる場合があります。 	
手ブレロック (動画)	動画撮影中の手ブレ補正の効果を強めることができます。固定したアングルで撮りたい場合、安定した構図を保つことができます。 [ON] / [OFF] <ul style="list-style-type: none"> • 撮影中だけ働きます。撮影画面に が表示されます。 • 撮影中に構図を変える場合は、[OFF] に設定後に本機を動かしてください。撮影中に [OFF] に切り換えるには、ファンクションボタンをお使いください。(P.51) • 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きくなるほど、補正効果が弱くなります。 • 使用するレンズによっては、補正効果が弱くなる場合があります。 • 当社製以外の手ブレ補正機能に対応したレンズを使用時、[手ブレロック (動画)] は使用できません。 	
焦点距離設定	レンズの焦点距離が自動設定されない場合に手動で設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • 焦点距離を手動で設定時は、電源スイッチを [ON] にすると焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。[はい] を選ぶと、[手ブレ補正] の [焦点距離設定] が設定できます。 	



レンズの焦点距離を設定する

MENU ボタン →  [撮影] /  [動画] → [手ブレ補正] → [焦点距離設定]

1 焦点距離を入力する

◀▶: 項目 (桁) 選択、▲▼: 設定

- 焦点距離は 0.1 mm ~ 1000 mm まで設定できます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す



■ 焦点距離を登録する

① 手順 1 を行う

② ▶ で上書き登録する焦点距離を選び、[DISP.] ボタンを押す

- 焦点距離の設定は 3 つまで登録できます。



■ 登録済みの焦点距離から設定する

① 手順 1 の画面で、◀▶ で登録済みの焦点距離を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 手ブレ補正が働いているときに、動作音や振動がする場合がありますが故障ではありません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正を [OFF] に設定することをお勧めします。
- パノラマモードでは、[[👉]] (通常) での手ブレ補正は使えません。
- 次の場合、[[👉]] (流し撮り) にしていても、[[👉]] (通常) に切り換わります。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
- 次の場合、補正が効きにくくなる場合があります。
 - 手ブレが大きいとき
 - ズーム倍率が高いとき (デジタルズーム領域を含む)
 - 動きのある被写体を追いつながら撮影するとき
 - 室内や薄暗い場所で撮る (シャッタースピードが遅い) とき
- 次の場合、[[👉]] での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - 夏の日中など、明るいところ
 - シャッタースピードが 1/100 秒より速い場合
 - 被写体の動きが遅く、本機を動かす速度があまりにも遅い場合 (背景が流れません)
 - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合
- 次の場合、[電子補正 (動画)] は使えません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4K ライブクロップ設定時

ズームを使って撮る

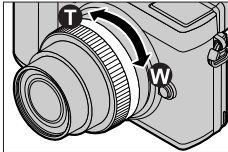
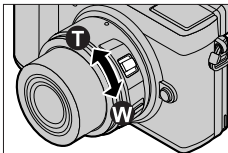
光学ズーム

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

人や物を大きく撮ったり風景などを広く撮ることができます。

T 側：望遠、大きく撮る

W 側：広角、広く撮る

ズームリングのある 交換レンズ (H-FS12032)	ズームリングを回す。	
パワーズーム (電動式ズーム) に対応した 交換レンズ	ズームレバーを動かす。 (動かす幅によって、ズームスピードが 変わります) • ファンクションボタンに [ズーム操作] を設定すると、◀▶ でゆっくり、 ▲▼ で速く、光学ズーム操作ができ ます。 操作方法について (P.131)	
ズームに対応していない 交換レンズ (H-X015)	光学ズームはできません。	

望遠効果を上げる

EX テレコン

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

EX テレコンを使うと、画質を劣化させずに、さらに次の倍率まで拡大することができます。

[EX テレコン (写真)]*1	1.3 倍 ([記録画素数] を [EX M] ([16:9]) に設定時) 1.4 倍 ([記録画素数] を [EX M] ([4:3]、[3:2]、[1:1]) に設定時) 2.0 倍 ([記録画素数] を [EX S] に設定時)
[EX テレコン (動画)]*2	2.7 倍 ([画質設定] のサイズが [FHD] の動画) 4.0 倍 ([画質設定] のサイズが [HD] の動画)

*1 [記録画素数] を [M] または [S] (**[EX]** 付きの記録画素数) に設定時に働きます。

*2 [画質設定] のサイズを [FHD] または [HD] に設定時に働きます。

ズームを使って撮る

■ズーム倍率を段階的に拡大する

- 写真撮影時のみ使えます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【EX テレコン (写真)】** → **【ZOOM】**

- ① ファンクションボタンに [ズーム操作] を設定する (P.51)
- ② ファンクションボタンを押す
- ③ ◀▶ または ▲▼ を押す
 - ▲▶ : T 側 (望遠、大きく撮る)
 - ▼◀ : W 側 (広角、広く撮る)
 • もう一度ファンクションボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。



光学ズーム領域 (焦点距離)* 写真時の EX テレコン領域 (ズーム倍率)

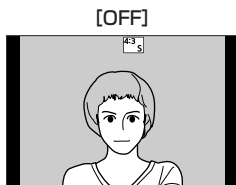
* パワースームに対応した交換レンズをお使いの場合のみ表示されます。

- ズームスピードは一定になります。
- ズーム倍率は目安です。

■ズーム倍率を最大に固定する

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【EX テレコン (写真)】** → **【TELE CONV.】**

MENU ボタン →  **【動画】** → **【EX テレコン (動画)】** → **【ON】**



ズームを使って撮る

- [カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] に [EX テレコン] を設定すると、設定したファンクションボタンを押して写真と動画の EX テレコンの設定画面を表示できます。画面表示中に [DISP.] ボタンを押すと [記録画素数] の設定を変更できます。
- 次の場合、EX テレコンは使えません。
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([トイフォト] [トイポップ])
 - ・ [クオリティ] を [RAW] に設定時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ 4K ライブクロップ設定時
- 次の場合、[EX テレコン (写真)] は使えません。
 - ・ シーンガイドモード ([夜景を手持ちで撮る])
- 次の場合、[EX テレコン (動画)] は使えません。
 - ・ 撮影時での HDMI 出力中 (クリエイティブ動画モード時を除く)

デジタルズーム

撮影モード： □ SCN

元のズーム倍率の最大 4 倍まで拡大できます。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [デジタルズーム]

設定：[4x] / [2x] / [OFF]

- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P.119) を使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AF エリアは中央で大きく表示されます。
- 次の場合、デジタルズームは使えません。
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ])
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [多重露出] 設定時
 - ・ [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時



パワースームレンズの設定を変更する

撮影モード：

パワースーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面表示や動作を設定します。

- ・パワースーム（電動式ズーム）対応交換レンズをお使いの場合のみ選択できます。

MENU ボタン → [カスタム] → [レンズ/その他] → [パワースームレンズ]

焦点距離表示	ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム位置を確認することができます。	焦点距離表示  現在の焦点距離
ステップズーム	[ON] に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 ・動画撮影時、4K フォトの （4K プリ連写）で撮影時は動きません。	ステップズーム表示 
ズーム速度	ズーム操作時のズーム速度を設定することができます。 ・[ステップズーム] を [ON] に設定すると、ズーム速度は変わりません。 [写真]： [H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速） [動画]： [H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）	
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワースーム対応交換レンズを装着しているときのみ選択できます。[OFF] に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングでの操作を無効にできます。	

タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）

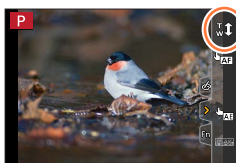
（光学ズーム、写真時の EX テレコンのみ操作できます）

- パワーズームに対応していない交換レンズ（H-FS12032、H-X015）をお使いの場合は、[EX テレコン（写真）]（P.130）を[ZOOM]に設定すると、写真時の EX テレコンのみ操作できます。

1 [◀] をタッチする

2 [T/W⇕] をタッチする

- スライドバーが表示されます。



3 スライドバーをドラッグして、ズームする

- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

[▼] / [▲]	ゆっくりズームする
[⇩] / [⇧]	速くズームする

- もう一度 [T/W⇕] をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。




フラッシュを使って撮る

撮影モード：

■内蔵フラッシュを開く / 閉じる


A 開くとき

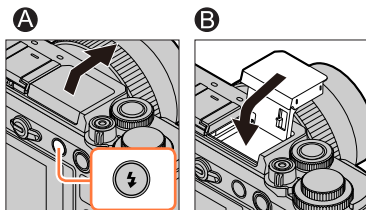
 ボタンを押す

- ・フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。

B 閉じるとき

フラッシュを「カチッ」と音がするまで押す

- ・指などを挟まないようにお気をつけください。
- ・無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- ・使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じてください。
- ・フラッシュを閉じているときは、発光禁止 () に固定されます。



■フラッシュ撮影可能範囲

使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をかばりできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。

フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

交換レンズ (H-FS12032) 装着時		交換レンズ (H-X015) 装着時
W 端時	T 端時	
約 0.4 m ~ 約 4.8 m	約 0.3 m ~ 約 3.0 m	約 0.5 m ~ 約 9.8 m

- ・ISO 感度を [AUTO]、[ISO オート上限設定 (写真)] を [AUTO] に設定時の範囲です。



フラッシュを上手に使うには

フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。


- 熱や光で変形、変色する場合がありますので、次のことはしないでください。
 - ・フラッシュに物を近づける
 - ・発光中にフラッシュを手で塞ぐ
 - ・発光中にフラッシュを閉じる
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、[262 ページ](#)をお読みください。

フラッシュの機能を設定する

発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）


撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。
内蔵フラッシュ使用時のみ設定できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【発光モード】**

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL] では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。フラッシュアイコンに光量比（[1/1] など）が表示されます。

■ 光量比を設定する（[マニュアル] 選択時）

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【マニュアル発光量設定】**

- ① ◀▶ で発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
 ・ [1/1]（フル発光）～ [1/128] まで、1/3 段ごとに設定できます。

フラッシュの機能を設定する

フラッシュモードを切り換える

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[フラッシュ設定]** → **[フラッシュモード]**

: 強制発光	フラッシュを強制的に発光させます。
: 赤目軽減強制発光 ^{*1}	<ul style="list-style-type: none"> 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
: スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。
: 赤目軽減スローシンクロ ^{*1}	<ul style="list-style-type: none"> 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
: 発光禁止	<ul style="list-style-type: none"> どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。 外部フラッシュ使用時のみ設定できます。

^{*1} [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] に、[発光モード] を [TTL] に設定時のみ設定できます。

- 外部フラッシュの設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できない場合があります。

フラッシュは2回発光します。特に []、[] に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見えないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
	1/60 秒 ^{*2} ~ 1/200 秒		1 秒 ~ 1/200 秒

^{*2} シャッター優先 AE モード時は 60 秒になります。マニュアル露出モード時は T (タイム) になります。

- インテリジェントオート ([] または []) モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

フラッシュの機能を設定する

■撮影モード別フラッシュ設定 (○：設定可、×：設定不可)

撮影モード*3					
P	プログラム AE モード	○	○	○	○
A	絞り優先 AE モード	○	○	○	○
S	シャッター優先 AE モード	○	○	×	×
M	マニュアル露出モード	○	○	×	×
SCN シーンガイド モード (◎：初期設定)	人物をきれいに撮る	○	◎	×	×
	人物の肌をきれいに撮る	○	◎	×	×
	逆光でしっかり撮る	◎	×	×	×
	子どもをかわいく撮る	○	◎	×	×
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	×	◎
	花をふんわり撮る	◎	×	×	×
	料理をおいしそうに撮る	◎	×	×	×
	スイーツをかわいく撮る	◎	×	×	×
	動くペットをきちんと撮る	◎	×	×	×
	スポーツをきれいに撮る	◎	×	×	×
モノクロで撮る	◎	○	○	○	

*3 インテリジェントオート ([iA]) または ([iA+]) モード時のフラッシュ設定については、[56 ページ](#)をお読みください。

- 次の場合、 (発光禁止) に固定されます。
 - シーンガイドモード ([逆光でふんわり撮る] [ほのぼのした雰囲気撮る] [風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜景をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る])
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 電子シャッター使用時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時
 - [フィルター設定] の [フィルター効果] で画像効果設定時
- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。



フラッシュの機能を設定する

後幕シンクロに設定する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

MENU ボタン → **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【フラッシュシンクロ】**

さきまく 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
あとまく 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- [後幕] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
- [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] に設定時のみ設定できます。
- [フラッシュシンクロ] の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕] 設定時は、、 に設定できません。



フラッシュの機能を設定する

フラッシュの発光量を調整する

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【フラッシュ光量調整】**

1 ◀▶ でフラッシュの発光量を設定し、**【MENU/SET】** ボタンを押す

設定：-3EV ~ +3EV (1/3EV 単位)


フラッシュ発光量を調整しない場合は、[±0EV] を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、フラッシュのアイコンに [+] または [-] が表示されます。
- **【フラッシュ設定】** の **【ワイヤレスモード】** を **【OFF】** に、**【発光モード】** を **【TTL】** に設定時のみ設定できます。
- **【フラッシュ光量調整】** の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。

露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フラッシュ設定】** → **【露出補正連動】**

設定：[ON] / [OFF]

- 露出補正については、96 ページをお読みください。
- **【露出補正連動】** の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.262)

ワイヤレスでフラッシュ撮影する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

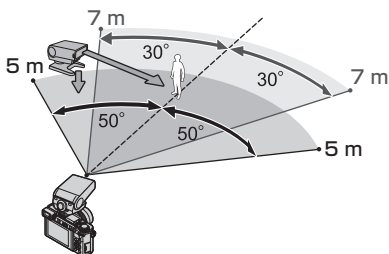
ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト（別売：DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L）を使うと、3つのグループのフラッシュと、本機のホットシューに装着したフラッシュライトを別々に発光制御できます。

- ・内蔵フラッシュでは、ワイヤレスフラッシュの発光制御はできません。

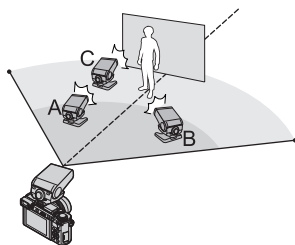
■ワイヤレスフラッシュの設置について

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

設置範囲



設置例



- ・設置例は、発光グループフラッシュ A、B でできる被写体の背景の影を消すために C を設置した場合です。
- ・ワイヤレスフラッシュの設置数は 1 グループ最大 3 台をお勧めします。
- ・被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。
[ワイヤレス通信光量] を [弱] に設定したり、ディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

準備

本機にフラッシュライト（別売）を取り付ける。

1 ワイヤレスフラッシュの設定を RC モードにして、配置する

- ・ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

2 メニューを設定する

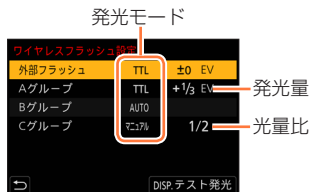
MENU ボタン → **【撮影】** → **【フラッシュ設定】**

ワイヤレスモード	[ON] に設定してください。撮影画面のフラッシュアイコンに [WL] が表示されます。
ワイヤレスチャンネル	手順 1 で設定したワイヤレスフラッシュと同じチャンネルを選んでください。
ワイヤレス設定	手順 3 へ進んでください。

ワイヤレスでフラッシュ撮影する

3 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.] ボタンを押すと、テスト発光を行います。



外部フラッシュ※1	発光モード	TTL：カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※2：外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル：外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF：本機側のフラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定時の本機側フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 • [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3 段ごとに設定できます。
A グループ / B グループ / C グループ	発光モード	TTL：カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※1：ワイヤレスフラッシュ側で自動的にフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル：ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF：設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定時のワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定時のワイヤレスフラッシュ光量比を設定します。 • [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3 段ごとに設定できます。

※1 [ワイヤレス FP] を [ON] に設定時は設定できません。

※2 本機にフラッシュライト (別売：DMW-FL200L) を装着時は設定できません。

■ワイヤレスフラッシュを FP 発光させる

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュが FP 発光 (フラッシュが高速で発光を繰り返すこと) します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス FP]

設定：[ON] / [OFF]

■ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス通信光量]

設定：[強] / [中] / [弱]

動画・4K動画を撮る

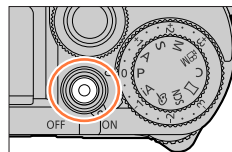
撮影モード：  **P** **A** **S** **M**  

AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画も撮影できます。(P.145)

音声はステレオで記録されます。

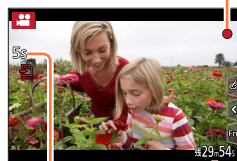
1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。



2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

記録動作表示



記録経過時間

残り記録可能時間



撮影終了時の操作音

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。



- 3秒ほど長めに撮影し、[再生]メニューの[動画分割](P.211)で動画の終わりの部分を分割してください。

■クリエイティブ動画モードで撮影する

絞りやシャッタースピード、ISO感度をタッチ操作で設定して動画を撮影できます。(P.76)



動画・4K動画を撮る

- 周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 使用するレンズにより、動画撮影中に動く機能に差があります。また、レンズの動作音などが記録される場合があります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[記録枠表示]をに設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中、ISO感度は[AUTO]（動画用）の動作になります。クリエイティブ動画モードでは、ISO感度を設定して動画を撮影できます。
- 次の場合、以下の動画撮影モードになります。

選択されているシーンガイドモード	動画撮影時の撮影モード
[逆光でしっかり撮る]	人物モード
[夜景をきれいに撮る] / [夜景をアーティスティックに撮る] / [夜景を手持ちで撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード

- 次の場合、動画撮影できません。
 - ・ シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る]）
 - ・ クリエイティブコントロールモード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ フォーカスセレクト設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ]時

フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **[動画]** → **[記録方式]**

[AVCHD] ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。

[MP4] パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

2 ▲▼で [画質設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[AVCHD] を選んだ場合

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
[FHD/28M/60p]※1	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	28 Mbps
[FHD/17M/60i]	1920 × 1080	60i	60 コマ / 秒	17 Mbps
[FHD/24M/30p]	1920 × 1080	60i	30 コマ / 秒	24 Mbps
[FHD/24M/24p]	1920 × 1080	24p	24 コマ / 秒	24 Mbps

[MP4] を選んだ場合

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
[4K/100M/30p]※2	3840 × 2160	30p	30 コマ / 秒	100 Mbps
[4K/100M/24p]※2	3840 × 2160	24p	24 コマ / 秒	100 Mbps
[FHD/28M/60p]	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	28 Mbps
[FHD/20M/30p]	1920 × 1080	30p	30 コマ / 秒	20 Mbps
[HD/10M/30p]	1280 × 720	30p	30 コマ / 秒	10 Mbps

※1 AVCHD Progressive

※2 4K 動画

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機は VBR 記録方式を採用しており、撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、4K 動画に設定できません。
- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K 動画は高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。異常ではありません。
- 連続記録の制限について (P.30)

■撮影した動画の互換性

[AVCHD] および [MP4] で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

- [AVCHD] の [FHD/28M/60p]、[FHD/24M/30p]、[FHD/24M/24p] で記録した動画を本機以外で再生したり取り込んだりする場合は、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたはソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしたパソコンが必要です。
- [MP4] の [4K/100M/30p] または [4K/100M/24p] で記録した動画については、[251 ページ](#)の「4K 動画を楽しむ」をお読みください。

■動画撮影時のピントの合わせ方（AF 連続動作）

撮影モード：        

ピント合わせはフォーカスの設定と [動画] メニューの [AF 連続動作] の設定によって異なります。

MENU ボタン →  [動画] → [AF 連続動作]

フォーカスの設定	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	動画撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	動画撮影開始時のピント位置で固定します。
MF	ON/OFF	手でピントを合わせます。

- フォーカスの設定を [AFS]、[AFF] または [AFC] に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境によっては、動画撮影時にオートフォーカスが動くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、[AF 連続動作] を [OFF] に設定して撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズームすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 次の場合、[AF 連続動作] は動きません。
 - [スナップムービー] の [ピント送り] の動作中

動画撮影中に写真を撮影する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能を使って撮影することもできます。



■ 動画優先、写真優先を設定する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

MENU ボタン → **[動画]** → **[動画撮影中の写真撮影]**

 (動画優先)	<ul style="list-style-type: none"> • 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。 • クオリティを [RAW]、[RAW] または [RAW] に設定時は JPEG 画像のみ記録されます。([RAW] 設定時はクオリティは で記録されます) • 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大 40 枚までです。 ([画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合：最大 10 枚まで)
 (写真優先)	<ul style="list-style-type: none"> • 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 • 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が続切れます。 • 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大 10 枚までです。 ([画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合：最大 5 枚まで)


- 写真の画像横縦比は [16:9] に固定されます。
- 次の場合、同時記録はできません。
 - [画質設定] をフレームレートが [24p] の動画に設定時 () (写真優先) 設定時のみ)
 - 4K フォト設定時 () (写真優先) 設定時のみ)
 - [EX テレコン (動画)] 設定時 () (写真優先) 設定時のみ)
 - [スナップムービー] を [ON] に設定時

スナップムービーを撮る

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- [MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。
- 本機で撮影した動画を、スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることなどができます。つなぎ合わせた動画を Web サービスへ送ることもできます。(P.229)

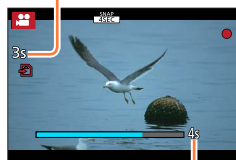
MENU ボタン →  **【動画】** → **【スナップムービー】** → **【ON】**

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。

記録経過時間




設定した撮影時間

■スナップムービーを解除する

[スナップムービー] で [OFF] を選ぶ。

■設定を変更する

MENU ボタン →  **【動画】** → **【スナップムービー】** → **【設定】**

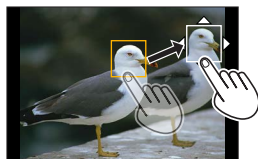
撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。(P.149)
フェード	映像と音声が始動するとフェードイン（ゆっくりと現れる）または、撮影の終了にかけてフェードアウト（ゆっくりと消える）する効果です。 【WHITE-IN】 / 【WHITE-OUT】 ： 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 【BLACK-IN】 / 【BLACK-OUT】 ： 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 【COLOR-IN】 / 【COLOR-OUT】 ： 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。 音声は通常どおりに記録されます。 【OFF】

スナップムービーを撮る

- [WHITE-IN]、[BLACK-IN] で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白または黒になります。
- [カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] (P.51) に [スナップムービー] を設定すると、設定したファンクションボタンを押して [スナップムービー] の [ON] / [OFF] の切り換え画面を表示できます。画面表示中に [DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- [スマートフォンとつないで使う] で Wi-Fi 接続すると、[スナップムービー] は [OFF] に切り換わります。
- 次の場合、[スナップムービー] は使えません。
 - ・クリエイティブコントロールモード ([ジオラマ])
 - ・4K フォト設定時
 - ・フォーカスセレクト設定時
 - ・4K ライブクロップ設定時

【ピント送り】の設定をする

ピント送りの開始位置 (1 点目) と終了位置 (2 点目) の枠を設定します。



タッチ操作

被写体をタッチし (1 点目)、ドラッグして指を離す (2 点目)

- ・ [AF] をタッチすると、枠の設定が解除されます。

ボタン操作

- ① ◀ を押す
- ② ▲▼◀▶ で枠を移動し、[MENU/SET] ボタンを押す (1 点目)
 - ・ [MENU/SET] ボタンを押す前に [DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。
- ③ 手順 ② を繰り返す (2 点目)
 - ・ [MENU/SET] ボタンを押すと、枠の設定が解除されます。

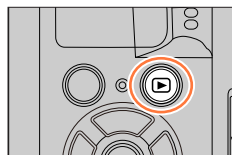


- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。

- 枠の設定に失敗したときは、枠が 1 点目に戻ります。
- [ピント送り] を [ON] に設定時は
 - ・ オートフォーカスモードは [ピント送り] 専用の [AF] に変わります。
 - ・ 写真撮影時は、1 点目の枠で [AF] のオートフォーカス動作を行います。
- [測光モード] が [SPOT] (スポット) のときは、測光ターゲットは 1 点目の枠に設定されます。
- 次の場合、[ピント送り] は使えません。
 - ・ マニュアルフォーカス時
 - ・ デジタルズーム使用時

写真を見る

1 [▶] (再生) ボタンを押す



2 ◀▶ で表示する画像を選ぶ

- ◀▶ を押したままにすると、連続して画像を送ることができます。
- 前ダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。
- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。(画像は縮小して表示されます)



Web サービスへ送信する

画像を 1 枚ずつ表示中、▼ を押すと手軽に Web サービスへ送ることができます。(P.240)

■再生を終了する

再度、[▶] (再生) ボタンを押してください。またはシャッターボタンを半押ししてください。

- [▶] (再生) ボタンを押しながら電源スイッチを [ON] にすると、再生画面が表示されます。
- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。



動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

- 動画には動画アイコン ([🎥]) が表示されます。

1 ▲ を押して再生する

- 画面中央の [▶] をタッチしても動画を再生できます。
- [スナップムービー] で撮影した動画は自動再生されます。
- [AVCHD] で撮影した動画は、一部の情報が表示されません。



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲	[▶/⏸]	再生 / 一時停止
◀	[◀◀]	早戻し*1
	[◀⏸]	(一時停止中) コマ戻し*2
▶	[▶▶]	早送り*1
	[⏸▶]	(一時停止中) コマ送り
▼	[■]	停止
	[+]	音量を上げる
	[-]	音量を下げる

*1 もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。

*2 [AVCHD] で撮影した動画は、約 0.5 秒ごとのコマ戻しになります。

■ スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像に戻す
▶	次の画像へ送る

- 画面をタッチすると自動再生が停止します。

● パソコンで見る場合は、「PHOTOfunSTUDIO」で再生できます。

動画から写真を切り出す

1 動画再生中に ▲ を押して一時停止にし、写真にしたい画像を表示する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、位置の細かい調整をすることができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [📷] をタッチしても操作できます。
- 画像横縦比は [16:9] で、[クオリティ] は [📶] で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。

【画質設定】	【記録画素数】
[4K]	[M] (8M)
[FHD]、[HD]	[S] (2M)

- 元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
- 動画から作成された写真には、再生時に [📷] が表示されます。






再生方法を切り換える

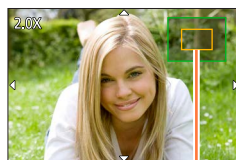
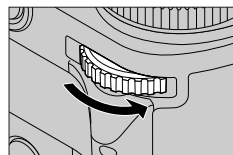
拡大して見る（再生ズーム）

1 後ダイヤルを右側に回す

- 後ダイヤルを右側に回すごとに、1/2/4/8/16 倍に拡大します。

操作	タッチ操作	操作内容
	—	画像を拡大 / 縮小
—	ピンチアウト / ピンチイン	画像を細かく拡大 / 縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
	—	ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送る（再生ズーム中）

- 画像を 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）

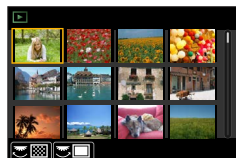
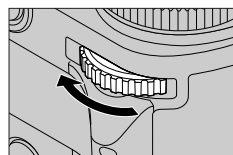


ズーム位置表示

画像を一覧で見ると見る（マルチ再生）

1 後ダイヤルを左側に回す

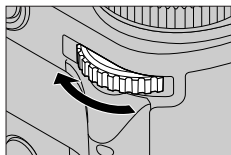
- 後ダイヤルを左側に回すと、1 画面表示→12 画面表示→30 画面表示→カレンダー画面に切り換わります。（右側に回すと戻ります）
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
 - [] : 1 画面
 - [] : 12 画面
 - [] : 30 画面
 - [CAL] : カレンダー再生 (P.154)
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- 12 画面または 30 画面で、カーソルボタンで画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、1 画面表示されます。（動画選択時は、動画が自動で再生されます）



- [!] と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

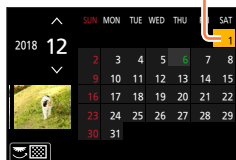
1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面を表示する



2 ▲▼◀▶ で撮影日を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 12 画面表示に切り換わります。
- カレンダー画面表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回してください。

選択日




- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- 時計設定を行わずに撮影した画像は、2018年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。




グループ画像を見る

複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1枚ずつ再生します。

[] : [4K フォト一括保存] で保存したグループ画像

[] : フォーカスブラケット撮影したグループ画像

[] : インターバル撮影で撮影したグループ画像

[] : コマ撮りアニメで撮影したグループ画像



- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

● 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

グループ画像を連続再生する

1 ▲ を押す

- グループ画像アイコン ([]), []), []) をタッチしても操作できます。







- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。

[連写再生] (または [連続再生]) を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。

[最初の画像から見る] : グループの先頭画像から連続再生されます。

[この画像から見る] : 再生中の画像から連続再生されます。

■ 連続再生中の操作

操作	タッチ操作	操作内容	操作	タッチ操作	操作内容
▲		連続再生 / 一時停止	▼		停止
◀		早戻し再生	▶		早送り再生
		(一時停止中) 前の画像に戻す			(一時停止中) 次の画像へ送る


グループ画像を1枚ずつ再生する

1 ▼ を押す

- [], [], [], [] をタッチしても操作できます。

2 ◀▶ を押して画像を送る



- もう一度 ▼ を押す、または、[] をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)

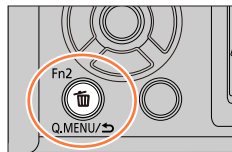
写真や動画を消す (消去)

一度消した画像は元に戻せません。

1 枚消去

1 消去する画像を表示中に [🗑️] ボタンを押す

- [🗑️] をタッチしても操作できます。



2 ▲ で [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数消去 (100 枚*まで) / 全画像消去

*グループ画像は 1 枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 画像を表示中に [🗑️] ボタンを押す

2 ▲▼ で [複数消去] / [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

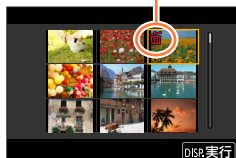
- [レーティング] を設定した画像があるときは、[全画像消去] を選択すると [レーティング以外全消去] が選べます。

([複数消去] 選択時)

3 ▲▼◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)

- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す

🗑️ 選んだ画像



4 [DISP.] ボタンを押して実行する

- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニュー一覧

各撮影モードでのみ表示されるメニュー

[インテリジェントオート]

- [インテリジェントオートモード] (P.55)
- [i 手持ち夜景] (P.57)
- [iHDR] (P.58)

M [クリエイティブ動画]

- [動画露出設定] (P.76)
- [4K ライブクロップ] (P.77)

C [カスタムモード]

[SET1]、[SET2]、[SET3] から使いたいカスタムセットを選べます。(P.79)

[パノラマ]

- [撮影方向] (P.66)
- [画像サイズ] (P.66)

SCN [シーンガイド]

- [シーン切換] (P.68)

[クリエイティブコントロール]

- [フィルター効果] (P.71)
- [フィルターなし同時記録] (P.71)

[撮影]	P.158
------	-------

[動画]	P.173
------	-------

[カスタム]	P.175
--------	-------

[セットアップ]	P.188
----------	-------

[マイメニュー]	P.198
----------	-------

[再生]	P.199
------	-------



【撮影】

- [AFS/AFF]、[フォトスタイル]、[フィルター設定]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[手ブレ補正]、[デジタルズーム] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。
- [画像横縦比] (P.158)
- [記録画素数] (P.159)
- [クオリティ] (P.159)
- [AFS/AFF] (P.81)
- [フォトスタイル] (P.160)
- [フィルター設定] (P.162)
- [色空間] (P.163)
- [測光モード] (P.164)
- [ハイライトシャドウ] (P.165)
- [iD レンジコントロール] (P.166)
- [超解像] (P.166)
- [フラッシュ設定] (P.136 ~ 142)
- [デジタル赤目補正] (P.166)
- [ISO オート上限設定 (写真)] (P.167)
- [下限シャッター速度] (P.167)
- [長秒ノイズ除去] (P.168)
- [シェーディング補正] (P.168)
- [回折補正] (P.169)
- [手ブレ補正] (P.128)
- [EX テレコン (写真)] (P.130)
- [デジタルズーム] (P.132)
- [連写速度] (P.117)
- [4K フォト] (P.102)
- [セルフタイマー] (P.119)
- [インターバル撮影] (P.123)
- [コマ撮りアニメ] (P.125)
- [サイレントモード] (P.169)
- [シャッター方式] (P.170)
- [シャッターディレイ] (P.170)
- [ブラケット] (P.120)
- [HDR] (P.171)
- [多重露出] (P.172)

【画像横縦比】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【画像横縦比】**

[4:3]	4:3 テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

【記録画素数】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン → 【撮影】 → 【記録画素数】

画像横縦比	4:3	3:2	16:9	1:1
記録画素数	[L] 20M 5184 × 3888	[L] 17M 5184 × 3456	[L] 14.5M 5184 × 2920	[L] 14.5M 3888 × 3888
	[EX M] 10M 3712 × 2784	[EX M] 9M 3712 × 2480	[EX M] 8M 3840 × 2160	[EX M] 7.5M 2784 × 2784
	[EX S] 5M 2624 × 1968	[EX S] 4.5M 2624 × 1752	[EX S] 2M 1920 × 1080	[EX S] 3.5M 1968 × 1968

- [EX テレコン (写真)] を設定時は、各画像横縦比の [L] 以外の記録画素数に [EX] が表示されます。
- 4K フォト撮影時、またはフォーカスセレクト撮影時は、記録画素数は [4K] に固定されます。

【クオリティ】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン → 【撮影】 → 【クオリティ】

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先して、JPEG 形式で記録します。
		標準画質で、JPEG 形式で記録します。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
	RAW + JPEG	RAW 画像と JPEG 画像 (または) を同時に記録できます。
	RAW	RAW 形式で記録します。



RAW 形式

RAW 形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW 画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

- [再生] メニューの [RAW 現像] で RAW 画像を現像することができます。(P.203)
- パソコンでの RAW ファイルの現像や編集には、ソフトウェア (市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」) をお使いください。ソフトウェアは Web サイト (P.256) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

- RAW 画像は常に画像横縦比 [4:3] (5184 × 3888) で記録されます。
- [RAW]、[RAW] で撮影した画像を本機で消去すると、RAW 画像と JPEG 画像が同時に消去されます。
- [RAW] で撮影した画像を再生時は、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[] に固定されます。
- 次の場合、[RAW] [RAW] [RAW] に設定できません。
 - パノラマモード
 - シーンガイドモード ([夜景を手持で撮る])

[フォトスタイル]

撮影モード：

撮りたいイメージに合わせて、色や画質を調整できます。

MENU ボタン → [撮影] → [フォトスタイル]

STD	[スタンダード]	標準的な設定です。
VIVID	[ヴィヴィッド]*	彩度やコントラストが高めの設定です。
NAT	[ナチュラル]*	コントラストが低めの設定です。
MONO	[モノクローム]	白黒など、単色の階調のみで表現する設定です。
L.MONO	[L.モノクローム]*	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ画像にする設定です。
L.MONO D	[L.モノクローム D]*	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ画像にする設定です。
SCNY	[風景]*	青空や緑を鮮やかにする設定です。
PORT	[人物]*	肌色を健康的に見せる設定です。
CUST	[カスタム]*	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。

*インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

- インテリジェントオートプラスモード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源を入れ直したりした場合は、[スタンダード] にリセットされます。
- シーンガイドモード時は画質調整のみ設定できます。(P.161)



■画質を調整する

- インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

① ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ

② ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する



① コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
② シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
🌈 彩度*1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
🌈 色調*1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
🎯 フィルター効果*2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果：弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果：中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果：強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—
🎨 粒状*2	弱 / 中 / 強	粒状感の強弱を設定します。
	OFF	—

*1 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクローム D] 選択時のみ [色調] が表示されます。それ以外では [彩度] が表示されます。

*2 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクローム D] 選択時のみ表示されます。
 ・画質を調整すると、フォトスタイルアイコンに [+] が表示されます。

③ [MENU/SET] ボタンを押す

■調整した画質の設定を [カスタム] に登録する

①「画質を調整する」の手順 ② で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

- [粒状] の設定は、撮影画面に反映されません。
- 次の場合、[粒状] は使えません。
 - ・ パノラマモード
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時

【フィルター設定】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

絞り優先 AE モードやパノラマモードなどで、クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果（フィルター）を加えることができます。（P.71）

MENU ボタン → 【撮影】 → 【フィルター設定】 → 【フィルター効果】

設定： [ON] / [OFF] / [設定]

■ タッチパネルで設定を変える

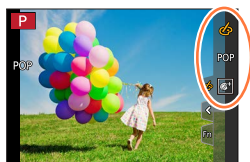
① をタッチする

② 設定する項目をタッチする

：画像効果の入/切

[POP]：画像効果（フィルター）

：画像効果の調整



- 次の場合、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン] は使えません。
 - ・ クリエイティブ動画モード
 - ・ 動画撮影時
- パノラマモード時は、[トイフォト] / [トイポップ] / [ジオラマ] / [サンシャイン] は使えません。
- パノラマ写真の撮影中、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] の画像効果は画面に反映されません。
- パノラマモードで [ハイキー] に設定時は、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。
- ISO 感度は 3200 までの設定になります。
- [ハイダイナミック] 設定時は、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- [フィルター効果] 使用時は、クリエイティブコントロールモードで設定できない機能も設定できなくなります。
- 次の場合、【フィルター設定】 は使えません。
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時




■ 画像効果の適用前と適用後の写真を撮る（フィルターなし同時記録）

1 回シャッターボタンを押すと、効果適用前と適用後の写真を同時に撮影できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フィルター設定】** → **【フィルターなし同時記録】**

設定：[ON] / [OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- 撮影後、[オートレビュー] で表示される写真は、効果適用後の写真のみになります。

- 次の場合、[フィルターなし同時記録] は動きません。
 - パノラマモード
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 動画撮影中の写真撮影（）（動画優先）設定時のみ
 - [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - ブラケット撮影時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時

【色空間】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【色空間】**

[sRGB]	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いので、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、[sRGB] に設定してください。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[sRGB] に固定されます。

【測光モード】

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン → 【撮影】 → 【測光モード】

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
マルチ測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット	[+] (スポット測光ターゲット) の中心 	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

- スポット測光ターゲットを画面の端に設定したときは、周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

【ハイライトシャドウ】

撮影モード： 

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

1 メニューを設定する

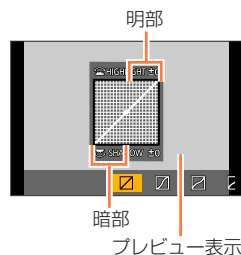
MENU ボタン →  【撮影】 → 【ハイライトシャドウ】

<input type="checkbox"/> (スタンダード)	調整なしの状態になります。
<input checked="" type="checkbox"/> (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
<input checked="" type="checkbox"/> (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
<input checked="" type="checkbox"/> (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
<input checked="" type="checkbox"/> 1 / <input checked="" type="checkbox"/> 2 / <input checked="" type="checkbox"/> 3 (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

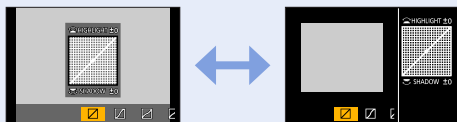
2 前ダイヤルを回して明部の明るさを調整し、
後ダイヤルを回して暗部の明るさを調整する

- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ を押して、カスタム登録先 (カスタム 1 / カスタム 2 / カスタム 3) を選んでください。

3 【MENU/SET】 ボタンを押す



- 明るさ調整の画面で 【DISP.】 ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます



- / / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

[iD レンジコントロール]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

MENU ボタン → **【撮影】** → **[iD レンジコントロール]**

設定：**[AUTO]** / **[強]** / **[中]** / **[弱]** / **[OFF]**

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 次の場合、[iD レンジコントロール] は動きません。
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時

[超解像]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。

MENU ボタン → **【撮影】** → **[超解像]**

設定：**[強]** / **[中]** / **[弱]** / **[OFF]**

[デジタル赤目補正]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

フラッシュの赤目軽減 (または) で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

MENU ボタン → **【撮影】** → **[デジタル赤目補正]**

設定：**[ON]** / **[OFF]**

- [ON] に設定すると、アイコンが または に変わります。
- 赤目の状態によっては、補正できない場合があります。

【ISO オート上限設定 (写真)】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

ISO 感度を [AUTO] または [**B**iso] に設定したときの ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン → **【撮影】** → **【ISO オート上限設定 (写真)】**

設定：[AUTO] / [400] / [800] / [1600] / [3200] / [6400] / [12800] / [25600]

- 次の場合、[ISO オート上限設定 (写真)] は動きません。
 - ・ シーンガイドモード ([夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景を手持ちで撮る])

【下限シャッター速度】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

ISO 感度を [AUTO] または [**B**iso] に設定時のシャッタースピードの最低速度を設定します。

MENU ボタン → **【撮影】** → **【下限シャッター速度】**

設定：[AUTO] / [1/16000] ~ [1/1]

- 適正露出にならない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。



[長秒ノイズ除去]

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影することで発生するノイズを、カメラが自動的に取り除きます。

MENU ボタン →  [撮影] → [長秒ノイズ除去]

設定：[ON] / [OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のためにシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。
- 次の場合、[長秒ノイズ除去] は働きません。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ 電子シャッター使用時


[シェーディング補正]

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シェーディング補正]

設定：[ON] / [OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO 感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。
- 次の場合、[シェーディング補正] は働きません。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 動画撮影中の写真記録（ [動画優先] 設定時のみ）
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ [EX テレコン（写真）] 設定時
 - ・ デジタルズーム使用時



【回折補正】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   **SCN** 

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【回折補正】**

設定：[AUTO] / [OFF]

- 高いISO 感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。




【サイレントモード】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   **SCN** 

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【サイレントモード】**

設定：[ON] / [OFF]

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。次の機能は固定されます。
 - [フラッシュモード]：[]（発光禁止）
 - [シャッター方式]：[電子シャッター]
 - [AF 補助光]：[OFF]
 - [電子音音量]：[]（OFF）
 - [電子シャッター音音量]：[]（OFF）
- [ON] に設定していても、次の機能は点灯 / 点滅します。
 - ・セルフタイマーランプ
 - ・WIRELESS 接続ランプ
- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。



[シャッター方式]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	T (タイム)*1、 60秒～1/4000秒	1秒*2～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音*3

*1 マニュアル露出モード時のみ設定できます。

*2 ISO感度が3200より高いときは、1秒より速くなります。

*3 [電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。
(P.190)

MENU ボタン → [撮影] → [シャッター方式]

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 • フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

- 画面に が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しみが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。

[シャッターディレイ]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

MENU ボタン → [撮影] → [シャッターディレイ]

設定：[8秒] / [4秒] / [2秒] / [1秒] / [OFF]

- 次の場合、[シャッターディレイ] は使えません。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [HDR] を [ON] に設定時

[HDR]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。HDR 合成した画像は JPEG で記録されます。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[HDR]**

設定：[ON] / [OFF] / [設定]

■設定を変更する

[D レンジ設定]	[AUTO]：被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV] / [±2EV] / [±3EV]：設定した露出の調整幅で撮影します。
[自動位置調整]	[ON]：手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時に設定をお勧めします。 [OFF]：画像のずれ調整を行いません。三脚使用時に設定をお勧めします。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [自動位置調整] を [ON] に設定時は、画角がわずかに狭くなります。
- フラッシュは (発光禁止) に固定されます。
- 動画撮影中の写真撮影では動きません。
- 次の場合、[HDR] は使えません。
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

[多重露出]

撮影モード： **P** **A** **S** **M** SCN

1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[多重露出]**

1 ▲で **[開始]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

2 構図を決めて、1 枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲▼ で項目を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - **[次の撮影]**：次の撮影に進みます。
 - **[撮り直し]**：直前の撮影結果を破棄し、撮り直します。
 - **[完了]**：多重露出を終了し、撮影した画像を記録します。



3 2 枚目、3 枚目、4 枚目を撮影する

- 撮影時に **[Fn2]** ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。



4 ▼で **[完了]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■設定を変更する

[自動ゲイン補正]	[OFF] に設定すると、すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。
[再生画像と多重]	[ON] に設定すると、すでに撮影した画像に多重露出を行えます。 [開始] 後にカード内の画像が表示されるので、RAW 画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 本機で撮影された RAW 画像にのみ **[再生画像と多重]** を行えます。
- 次の場合、**[多重露出]** は使えません。
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時

【動画】

- [AFS/AFF]、[フォトスタイル]、[フィルター設定]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[手ブレ補正]、[デジタルズーム] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。詳しくは、[撮影] メニューの同じ項目をお読みください。
- [記録方式] (P.145)
- [画質設定] (P.145)
- [スナップムービー] (P.148)
- [AF 連続動作] (P.146)
- [ISO オート上限設定 (動画)] (P.76)
- [フリッカー軽減] (P.173)
- [EX テレコン (動画)] (P.130)
- [動画撮影中の写真撮影] (P.147)
- [録音レベル表示] (P.173)
- [録音レベル設定] (P.174)
- [風音キャンセラー] (P.174)

【フリッカー軽減】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

MENU ボタン →  [動画] → [フリッカー軽減]

設定：[1/50] / [1/60] / [1/100] / [1/120] / [OFF]

【録音レベル表示】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

録音レベルを撮影画面に表示します。

MENU ボタン →  [動画] → [録音レベル表示]

設定：[ON] / [OFF]



【録音レベル設定】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

音声入力のレベルを 4 段階（-12 dB ~ +6 dB）から調整できます。

MENU ボタン →  【動画】 → 【録音レベル設定】

- 表示される dB 値は目安です。

【風音キャンセラー】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン →  【動画】 → 【風音キャンセラー】

設定：【強】 / 【標準】 / 【OFF】

- 【強】 は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- 【標準】 は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。

- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。



【カスタム】

☑ 露出

- [ISO 感度ステップ] (P.176)
- [拡張 ISO 感度] (P.176)
- [露出補正リセット] (P.176)

FOCUS フォーカス / レリーズ

- [AF/AE ロック切替] (P.95)
- [AF/AE ロック維持] (P.176)
- [シャッター半押し AF] (P.176)
- [シャッター半押しレリーズ] (P.176)
- [クイック AF] (P.176)
- [アイセンサー AF] (P.176)
- [ピンポイント AF 設定] (P.177)
- [AF 補助光] (P.177)
- [ダイレクトフォーカス移動] (P.177)
- [フォーカス / レリーズ優先] (P.178)
- [縦 / 横位置フォーカス切替] (P.178)
- [フォーカス枠のループ移動] (P.178)
- [AF エリア表示] (P.178)
- [AF+MF] (P.178)
- [MF アシスト] (P.179)
- [MF アシスト表示] (P.179)

☀ 操作

- [Fn ボタン設定] (P.51)
- [Q.MENU] (P.50)
- [ダイヤル設定] (P.40)
- [操作ロック設定] (P.179)
- [動画ボタン] (P.179)
- [タッチ設定] (P.180)
- [ダイヤル操作ガイド] (P.180)



📺 モニター / 表示

- [オートレビュー] (P.180)
- [モノクロライブビュー] (P.180)
- [常時プレビュー (M モード)] (P.181)
- [ライブビューブースト] (P.181)
- [ピーキング] (P.181)
- [ヒストグラム表示] (P.182)
- [ガイドライン表示] (P.182)
- [センターマーカ表示] (P.182)
- [ハイライト表示] (P.182)
- [ゼブラパターン表示] (P.183)
- [露出メーター] (P.183)
- [MF ガイド] (P.183)
- [LVF / モニター表示設定] (P.41)
- [モニター撮影情報画面] (P.42)
- [記録枠表示] (P.184)
- [残枚数 / 残時間切替] (P.184)
- [メニューガイド] (P.184)

🔍 レンズ / その他

- [レンズ位置メモリー] (P.184)
- [パワーズームレンズ] (P.133)
- [レンズ Fn ボタン設定] (P.184)
- [セルフタイマー自動解除] (P.184)
- [個人認証] (P.185)
- [プロフィール設定] (P.187)



MENU ボタン →  [カスタム] →  [露出]

[ISO 感度ステップ]



ISO 感度を 1EV ごとに設定するか、1/3EV ごとに設定するかを変更します。

[拡張 ISO 感度]

設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。(P.97)

[露出補正リセット]

撮影モードを変更したとき、または本機の電源を切ったときに露出補正値をリセットします。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

[AF/AE ロック維持]

[AF/AE LOCK] ボタン (または [AF/AE LOCK] を登録したファンクションボタン) を押したあと、ボタンから指を離してもピントや露出が固定されます。もう一度押すとロックが解除されます。

[シャッター半押し AF]

シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるかを設定します。

[シャッター半押しリリース]

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

[クイック AF]

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。(バッテリーの消費は早くなります)



- 次の場合、[クイック AF] は動きません。
 - ・ プレビューモード時
 - ・ 低照度時

[アイセンサー AF]



アイセンサーが働くとカメラが自動的にピントを合わせます。

- 低照度時は、[アイセンサー AF] が動かない場合があります。



MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

【ピンポイント AF 設定】

ピンポイント AF 時間	オートフォーカスモードを  に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。
ピンポイント AF 表示	オートフォーカスモードを  に設定したときの拡大画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。







【AF 補助光】



暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。

- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
 - ・ 交換レンズ (H-FS12032) 装着、W 端時：約 1.0 m～約 3.0 m
 - ・ 交換レンズ (H-X015) 装着：約 1.0 m～約 5.0 m
- レンズフードは外してください。
- 交換レンズ (H-FS12032、H-X015) 装着時、AF 補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF 補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくくなる場合があります。
- 次の場合、[OFF] に固定されます。
 - ・ シーンガイドモード（[風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティストックに撮る] [夜景を手持ちで撮る]）
 - ・ [サイレントモード] を [ON] に設定時

【ダイレクトフォーカス移動】

撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。

- 、、、 選択時は AF エリアを、 選択時はロック開始位置を、 選択時はピントを合わせる位置を移動することができます。
- カーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー (P.49) やファンクションボタン (P.51) を使って設定してください。
- 次の場合、[ダイレクトフォーカス移動] は [OFF] に固定されます。
 - ・ シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る]）
 - ・ クリエイティブコントロールモード
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

【フォーカス/リリース優先】




オートフォーカス時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。

フォーカスモード（[AFS/AFF]、[AFC]）ごとに設定できます。

フォーカス	ピントが合っていないときは撮影できません。
バランス	ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。
リリース	ピントが合っていないなくても撮影できます。

【縦/横位置フォーカス切替】


カメラを縦に構えたときのフォーカス位置と、横に構えたときのフォーカス位置を別々に記憶します。最後に設定した以下の位置を記憶します。





- AF エリアの位置（、、 設定時）
- MF アシストで表示する位置

【フォーカス枠のループ移動】

AF エリアの位置や MF アシストの表示位置を設定時に、画面の端から逆の端にループ移動ができるようになります。

【AF エリア表示】



オートフォーカスモードを （49 点）またはカスタムマルチに設定時の、AF エリア表示の設定をします。

ON	撮影画面に AF エリアを表示します。 •  （49 点）やカスタムマルチの  [C1]、  [C2]、  [C3] で AF エリアが初期設定の場合、AF エリアを表示しません。
OFF	AF エリアの設定後の数秒間のみ、撮影画面に AF エリアを表示します。

- 次の場合、[ON] に設定していても、[OFF] と同じ動作になります。
 - 動画撮影時
 - クリエイティブ動画モード
 - 4K フォト撮影時

【AF+MF】

AF ロックしている間（フォーカスモードを [AFS] に設定時のシャッターボタン半押し、または [AF/AE LOCK] での AF ロック）に手動でピントを微調整することができます。




MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

【MFアシスト】

MFアシスト（拡大画面）の表示方法を設定します。


- ・設定項目は、使用するレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズ（H-XO15）装着時

	レンズでピント合わせをする、または [Fn] ボタン (◀) を押すと、拡大表示されます。
 FOCUS	レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。
	[Fn] ボタン (◀) を押すと拡大表示されます。
OFF	拡大表示されません。



フォーカスリングのない交換レンズ（H-FS12032）装着時

設定：[ON] / [OFF]

- 次の場合、MFアシストは表示されません。
 - ・動画撮影中
 - ・4K フォトの （4K プリ連写）で撮影時
 - ・デジタルズーム使用時

【MFアシスト表示】

MFアシスト（拡大画面）を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作]



【操作ロック設定】

[カスタム] メニュー（操作）の [Fn ボタン設定]（P.51）で [操作ロック] を設定時に、操作を無効にする対象を設定します。

カーソル	カーソルボタン、[MENU/SET] ボタンの操作を無効にします。
タッチパネル	タッチパネルを使ったタッチ操作を無効にします。


【動画ボタン】

動画ボタンの有効 / 無効を設定します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作]

【タッチ設定】

タッチ操作の有効 / 無効を設定します。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。
タッチタブ	画面右に表示される [ <] などのタブ操作。
タッチ AF	タッチした被写体にピント [AF]、またはピントと明るさ [AF+AE] を合わせる操作。
タッチパッド AF	ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動する操作。(P.90)

【ダイヤル操作ガイド】

撮影モードを切り換えたときに、ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。([露出補正ダイヤル] (P.40) を [OFF] に設定時のみ動きます)

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

【オートレビュー】



時間 (写真)	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
時間 (4K フォト)	4K フォト撮影後に、撮影画像を表示するかしないかを設定します。
時間 (フォーカスセレクト)	フォーカスセレクト撮影後に、撮影画像を表示するかしないかを設定します。
再生操作優先	オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間 (写真)] を [ホールド] に設定時、シャッターボタンを半押しするまで画像が表示されます。[再生操作優先] は [ON] に固定されます。
- [フォトスタイル] で [粒状] を設定した場合、[インターバル撮影] または [コマ撮りアニメ] 撮影時は、オートレビューが表示されません。

【モノクロライブビュー】

撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。

- 撮影時に HDMI 出力する映像は、白黒表示になりません。
- 撮影画像に影響はありません。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

【常時プレビュー (M モード)】

マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認できます。

- フラッシュ使用時は動きません。

【ライブビューブースト】

夜間など暗い環境で構図を確認できるように、画面を明るく表示します。


- [設定] で [ライブビューブースト] が有効になる撮影モードを設定します。
- 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。
- 次の場合、[ライブビューブースト] は無効になります。
 - 露出を合わせるとき (シャッターボタンを半押ししたときなど)
 - 動画、4K フォト撮影中
 - [フィルター設定] の [フィルター効果] で画像効果設定時
 - [常時プレビュー (M モード)] を使用時

【ピーキング】

手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分 (画面上で輪郭がはっきりした部分) に色を付けて表示します。

- [設定] で [検出レベル] を [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
- [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。

[検出レベル]	[高] ←	→ [低]
[表示色]	[] (水色)	[] (青)
	[] (黄色)	[] (オレンジ)
	[] (黄緑)	[] (緑)
	[] (ピンク)	[] (赤)
	[] (白)	[] (灰色)

- [] の [PEAK] をタッチするごとに [PEAK L] (検出レベル: 低) → [PEAK H] (検出レベル: 高) → [OFF] の順に切り換わります。
- [ライブビューブースト] 使用時、ピーキングは使えません。
- 次の場合、ピーキングは動きません。
 - クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム])

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

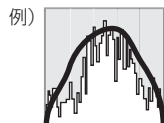
[ヒストグラム表示]

ヒストグラムを表示するかどうかを設定します。

[ON] 時に ▲▼◀▶ を押してヒストグラムの表示位置を移動することができます。

- 撮影画面でも直接ドラッグして位置を設定できます。

画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）です。露出補正などの参考にします。





暗い ← 適正 → 明るい

- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。

- 露出補正時
- フラッシュが発光するとき
- 低照度時など適正露出にならないとき

[ガイドライン表示]

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。

-  にすると、▲▼◀▶ を押してガイドラインの位置を移動することができます。
- 撮影画面でも、ガイドライン上の  を直接ドラッグして位置を設定できます。
- パノラマモード時、ガイドラインは表示されません。

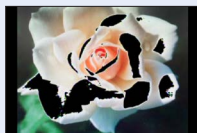
[センターマーカー表示]

撮影画面の中心を示す [+] を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するとき便利な表示です。

[ハイライト表示]

オートレビューまたは再生時に白飛び（明るすぎて、それ以上の階調が出ていない状態）している部分を点滅表示できます。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示などを参考に露出をマイナス補正して撮影してください。
- 4K フォト再生、フォーカスセレクト撮影した画像の再生、マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は動きません。
- 撮影画像に影響はありません。



MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

【ゼブラパターン表示】

白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。

ゼブラ 1 :



ゼブラ 2 :



[設定] から、縞模様で表示する明るさを設定できます。

- 選べる明るさの範囲は [50%] から [105%] までです。[ゼブラ 2] では [OFF] に設定することができます。[100%] または [105%] を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広がります。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示などを参考に露出をマイナス補正して撮影してください。
- 表示される縞模様は記録されません。
- [カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] (P.51) で [ゼブラパターン表示] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ゼブラ 1] → [ゼブラ 2] → [OFF] の順に切り換わります。[ゼブラ 2] を [OFF] に設定時は、[ゼブラ 1] → [OFF] の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

【露出メーター】

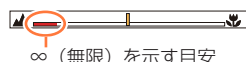
露出メーターを表示するかしないかを設定します。

- [ON] に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッター速度を設定時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約 4 秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。



【MF ガイド】


手でピントを合わせると画面に MF ガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。




MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

【記録枠表示】

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換えます。


	写真撮影時の画角で表示します。
	動画撮影時の画角で表示します。

- 記録枠表示は目安です。
- 4K フォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時は、 に固定されます。

【残枚数 / 残時間切替】

記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。

【メニューガイド】

モードダイヤルを [SCN] /  に切り換えたときに選択画面を表示するかしないかを設定します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ / その他]

【レンズ位置メモリー】

電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズームに対応した交換レンズを装着した場合、ズーム位置も記憶します。

【レンズ Fn ボタン設定】

交換レンズのフォーカスボタンに割り当てる機能を設定します。



- 対応交換レンズのフォーカスセットスイッチを [Fn] に設定し、交換レンズのフォーカスボタンを押すと、設定した機能を呼び出すことができます。

設定：[フォーカスストップ] / [AF/AE LOCK] / [AF-ON] / [手ブレ補正] / [フォーカスエリア選択] / [AF モード / MF] / [プレビュー] / [OFF] / [デフォルトに戻す]

- [フォーカスストップ] 設定時、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。

【セルフタイマー自動解除】

電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他]

【個人認証】

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

設定：[ON] / [OFF] / [登録]

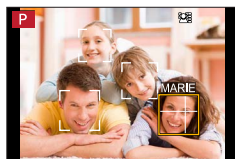
■ 個人認証機能の働き

撮影時

- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）

再生時

- 名前や月齢 / 年齢を表示



■ 顔画像を登録する

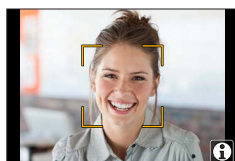
最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

- ① ▼ で [登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ で [新規登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



③ ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ▶ を押す、または [i] をタッチすると、説明が表示されます。



④ ▲ ▼ で編集項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

名前	名前を設定します。 • 文字の入力方法 (P.54)
月齢 / 年齢	誕生日を設定します。
追加登録	顔画像は3枚まで登録できます。 ① ◀ ▶ で [追加登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す • カートゥールボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。 [はい] を選ぶと、顔画像が消去されます。 ② 撮影する (手順 ③)

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他]**登録した人物の情報を編集 / 解除する**

- ① ▼ で [登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ で編集または解除する人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ▲ ▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。(「顔画像を登録する」の手順 ④)
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ① ▲ ▼ ◀ ▶ で登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。

顔画像登録時の撮影ポイント



- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

登録時の良い例

**撮影時に認証されにくいと感じたら**

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

- **【個人認証】は、オートフォーカスモードを [👤] に設定しているときのみ有効です。**
- 連写撮影時は、1 枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1 枚目の画像の名前が表示されます。
- 次の場合、【個人認証】を設定できません。
 - クリエイティブコントロールモード ([ジオリマ])
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - インターバル撮影時

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他]

【プロフィール設定】

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢 / 年齢を画像に記録することができます。

設定: ¹ (赤ちゃん 1) / ² (赤ちゃん 2) /  (ペット) / [OFF] / [設定]

■名前、月齢 / 年齢を設定する

- ①▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ②▲▼で [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③▲▼で [月齢 / 年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ④▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 [月齢 / 年齢] (誕生日) を入力する
 [名前] を入力する
 ・ 文字の入力方法 (P.54)

■月齢 / 年齢や名前の表示を解除する

[プロフィール設定] で [OFF] を選ぶ。

- [名前] や [月齢 / 年齢] は、Web サイトからダウンロードしたソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の [文字焼き込み] で写真に焼き込むことができます。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時、[プロフィール設定] は使えません。
- 次の場合、月齢 / 年齢や名前は記録されません。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 動画撮影中に撮影した写真

【セットアップ】

MENU ボタン →  【セットアップ】

- [取扱説明書の Web サイト] (P.188)
- [カスタムセット登録] (P.79)
- [時計設定] (P.33)
- [ワールドタイム] (P.188)
- [トラベル日付] (P.189)
- [Wi-Fi] (P.189)
- [Bluetooth] (P.190)
- [WIRELESS 接続ランプ] (P.190)
- [電子音] (P.190)
- [エコモード] (P.191)
- [モニター表示速度] (P.192)
- [モニター調整] / [LVF 調整] (P.192)
- [モニター輝度] (P.193)
- [アイセンサー] (P.193)
- [USB モード] (P.193)
- [テレビ接続設定] (P.194)
- [言語設定] (P.194)
- [バージョン表示] (P.194)
- [フォルダー / ファイル設定] (P.195)
- [番号リセット] (P.196)
- [設定リセット] (P.196)
- [ネットワーク設定リセット] (P.196)
- [ピクセルリフレッシュ] (P.197)
- [センサークリーニング] (P.197)
- [水準器調整] (P.197)
- [デモモード] (P.197)
- [フォーマット] (P.29)

【取扱説明書の Web サイト】

設定：[URL 表示] / [QR コード表示]

【ワールドタイム】

お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。

- [旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。

設定：[旅行先] / [ホーム]

1 ▲▼ で [旅行先] または [ホーム] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶ で地域を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す

選んだ都市・地域の現在時刻



【旅行先】の場合



【ホーム】の場合

MENU ボタン →  [セットアップ]

■ サマータイムを設定する

手順 **2** で ▲ を押す（再度、押すと解除）

- ・ サマータイム [☀️] を設定すると、現在時刻が 1 時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

■ 旅行先から戻ってきた場合

手順 **1** で [ホーム] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームとの時差を参考に設定してください。

[トラベル日付]

■ トラベル日付設定

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■ 旅行先

[トラベル日付設定] が設定されているときは、旅行先を設定できます。

- 文字の入力方法 (P.54)
- 経過日数や旅行先をプリントするときは、[文字焼き込み] (P.208) を行うか、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。[ワールドタイム] で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。
- [トラベル日付設定] を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に [トラベル日付設定] を [設定] にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、[トラベル日付設定] は自動的に解除されます。
- AVCHD 動画には、[トラベル日付] を記録できません。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時とフォーカスセレクト撮影時、[旅行先] は記録できません。

[Wi-Fi]

■ [Wi-Fi 機能] (P.245)

■ [Wi-Fi 設定] (P.250)

MENU ボタン →  [セットアップ]

[Bluetooth]

- [Bluetooth] (P.217)
- [リモート起動] (P.223)
- [スリープモードからの復帰動作] (P.226)
- [自動画像転送] (P.227)
- [位置情報記録] (P.228)
- [自動時刻合わせ] (P.228)
- [Wi-Fi ネットワーク設定]

Wi-Fi の無線アクセスポイントを登録します。(P.245)

- Wi-Fi 接続で使用した無線アクセスポイントは自動で登録されます。
- 登録できる無線アクセスポイントは 17 件までです。17 件を超えて登録すると、古いものから順番に消去されます。
- [ネットワーク設定リセット] を行うと、登録済みの無線アクセスポイントは消去されます。

[WIRELESS 接続ランプ]

WIRELESS 機能が動作中にランプを点灯します。

設定：[ON] / [OFF]

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。

- 電子音音量
- 電子シャッター音音量
- 電子シャッター音音色

- [サイレントモード] を [ON] に設定時は、[電子音] は設定できません。



MENU ボタン →  [セットアップ]

[エコモード]

■スリープモード

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。

- 再度使うときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を入れ直してください。

■スリープモード (Wi-Fi)

Wi-Fi 接続が切断されている間に約 15 分間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります。

- 再度使うときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を入れ直してください。

■LVF/ モニター自動 OFF

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター / ファインダーが消灯します。

- モニター / ファインダーを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押してください。

■省電力ファインダー撮影

ファインダー / モニター自動切換でモニターを表示しているとき、何も操作をしないと自動的に電源を切ります。

- 再度使うときは、シャッターボタンを半押しするか、電源を入れ直してください。

時間	自動的に電源を切るまでの時間を設定します。 • [省電力ファインダー撮影] を使用しないときは、[OFF] に設定してください。
画面	モニターにどの画面を表示しているときに、自動的に電源を切るのかを設定します。 [モニター撮影情報画面のみ] : [モニター撮影情報画面] (P.42) を表示しているときだけ、自動的に電源を切ります。 [ライブビュー画面すべて] : どの画面を表示していても、自動的に電源を切ります。

● 次の場合、働きません。

- 動画撮影 / 再生時
- 4K フォトの [連撮] (4K プリ連写) で撮影時
- [多重露出] 撮影時
- パソコン・プリンター接続時
- スライドショー中
- インターバル撮影時
- [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)
- 撮影時での HDMI 出力中
- AC アダプター (別売 : DMW-AC10) および DC カプラー (別売 : DMW-DCC11) 使用時は、[スリープモード]、[スリープモード (Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影] は働きません。

MENU ボタン →  [セットアップ]**[モニター表示速度]**






モニターの表示速度を設定します。

30fps	電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	動きを滑らかに表示できます。

- [モニター表示速度] の設定は、撮影画像に影響はありません。
- ファインダーは [60fps] に固定されます。

[モニター調整] / [LVF 調整]

モニター / ファインダーの明るさや色合いを調整します。

 明るさ	明るさを調整します。
 コントラスト	明暗差を調整します。
 彩度	色の鮮やかさを調整します。
 赤み	赤みを調整します。
 青み	青みを調整します。

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。

MENU ボタン →  [セットアップ]

[モニター輝度]

周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。

A* (AUTO)	周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
1* (MODE1)	モニターを明るくします。
2* (MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
3* (MODE3)	モニターを暗くします。




- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。
- 「MODE1」は、撮影時に30秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチすると再び明るくなります)
- 「AUTO」または「MODE1」を設定すると、使用時間が減少します。
- 再生時は、「AUTO」は選択できません。
- ACアダプター(別売:DMW-AC10)およびDCケーブル(別売:DMW-DCC11)使用時の初期設定は「MODE2」になります。

[アイセンサー]

感度	アイセンサーの感度を設定します。
LVF/モニター切替	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 [LVF/MON AUTO] (ファインダー / モニター自動切換) / [LVF] (ファインダー表示) / [MON] (モニター表示) • [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。

[USBモード]

USB接続ケーブル(付属)でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。

 接続時に選択	パソコンまたはPictBridge対応プリンターに接続したときに、接続方法を選ぶ場合に設定します。
 PC(Storage)	パソコンに接続するときに設定します。
 PictBridge(PTP)	PictBridge対応プリンターに接続するときに設定します。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【テレビ接続設定】

■HDMI 出力解像度（再生時）

出力する映像方式を設定します。

AUTO	接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。
4K/30p	有効走査線数 2160 本のプログレッシブ方式で、出力解像度 3840 × 2160 の出力をします。
1080p	有効走査線数 1080 本のプログレッシブ方式で出力します。
1080i	有効走査線数 1080 本のインターレース方式で出力します。
720p	有効走査線数 720 本のプログレッシブ方式で出力します。
480p	有効走査線数 480 本のプログレッシブ方式で出力します。

- [AUTO] に設定して映像がテレビに出ない場合は、お使いのテレビが表示できる「AUTO」以外の設定に切り換えてください。（テレビの取扱説明書もお読みください）

■HDMI 情報表示（撮影時）

HDMI マイクロケーブルで接続してテレビなどでモニターしながら撮影するときに、撮影情報を表示するかしないかを設定します。（P.253）

■ピエラリンク

[ON] に設定すると、本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したピエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ピエラリンク対応機器のリモコンで操作できるようになります。（P.254）

【言語設定】

画面表示の言語を設定します。

- 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの  を選び、言語を設定してください。

【バージョン表示】

本体とレンズのファームウェアのバージョンを確認できます。

- バージョン表示中に [MENU/SET] ボタンを押すと、ライセンスなど本機のソフトの情報が表示されます。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【フォルダー / ファイル設定】

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名	ファイル名
	
① フォルダー番号 (3桁、100～999) ② 任意の5桁	① 色空間 ([P] : sRGB、[] : AdobeRGB) ② 任意の3桁 ③ ファイル番号 (4桁、0001～9999) ④ 拡張子

フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> フォルダー名には記録可能なファイル数が表示されます。 	
新規フォルダー作成		フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。
	OK	フォルダー名の任意の5桁を現在と同じ設定のまま、新規フォルダーを作成します。
	フォルダー名変更	フォルダー名の任意の5桁を入力し、変更して新規フォルダーを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定可能な文字：英字 (大文字)、数字、[] 文字の入力方法：(P.54)
ファイル名設定	フォルダー番号連動	ファイル名の任意の3桁をフォルダー番号に合わせます。
	ユーザー設定	ファイル名の任意の3桁を入力し、設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定可能な文字：英字 (大文字)、数字、[] 文字の入力方法：(P.54)

- 1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、前のファイル番号の続きの番号で保存されます。
- 次の場合、以下のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - ・フォルダー内に1000ファイルあるとき
 - ・ファイル番号が「9999」のファイルがフォルダー内にあるとき
- フォルダー番号が100～999までのフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【番号リセット】

画像のファイル番号をリセットします。(新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001にリセットします)

- フォルダ番号を100にリセットするには：
まず、カードを本機でフォーマットし、[番号リセット]で[はい]を選びます。その後、フォルダ番号のリセット画面で[はい]を選びます。
- フォルダ番号は100～999まで作成されます。
フォルダ番号が999になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。(P.29)

【設定リセット】

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■撮影設定とドライブモード

■セットアップ設定 ([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth] の設定内容)

■カスタム設定 ([個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容)

■セットアップ / カスタム設定 ([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]、[個人認証]、[プロフィール設定] 以外)

- セットアップ / カスタム設定をリセットした場合、以下もリセットされます。
 - [ワールドタイム] の設定内容
 - [トラベル日付] の設定内容 (出発日、帰着日、旅行先)
 - [再生] メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダ番号、時計設定はリセットされません。

【ネットワーク設定リセット】

[Wi-Fi 設定] や [Bluetooth] で登録した機器情報など、ネットワークに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- PicMate のログイン ID はリセットされません。

MENU ボタン →  **[セットアップ]**

【ピクセルリフレッシュ】

撮像素子と画像処理の最適化を行います。

- 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体がない明るい点が記録され、気になるときは、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

【センサークリーニング】

撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。

- ダストリダクション機能は電源スイッチを [ON] にすると自動的に動きますが、特にごみが気になるときは、本機能をお使いください。

【水準器調整】

■調整

カメラを水平な状態にし、[MENU/SET] ボタンを押してください。水準器が調整されます。

■調整値リセット

水準器の調整値をお買い上げ時の状態に戻します。


【デモモード】

フォーカスセレクトのピント合わせやピーキングなどをイメージ画像にてお試しいただけます。

【マイメニュー】

【マイメニュー設定】

よく使うメニューを登録し、【マイメニュー】に表示します。23項目まで登録できます。

MENU ボタン →  【マイメニュー】 → 【マイメニュー設定】

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューに表示するときの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	マイメニューの表示から登録したメニューを消去します。 【項目消去】 ：表示させているメニューから選び、消去します。 【全消去】 ：表示させているメニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニュー画面を表示するときに、表示する画面を設定します。 【ON】 ：マイメニューを表示します。 【OFF】 ：最後に使ったメニューを表示します。



【再生】

- [スライドショー] (P.200)
- [再生モード] (P.201)
- [プロテクト] (P.201)
- [レーティング] (P.201)
- [タイトル入力] (P.202)
- [認証情報編集] (P.202)
- [RAW 現像] (P.203)
- [4K フォト一括保存] (P.205)
- [比較明合成] (P.205)
- [軌跡合成] (P.206)
- [クリアレタッチ] (P.207)
- [文字焼き込み] (P.208)
- [リサイズ (縮小)] (P.209)
- [トリミング (切抜き)] (P.210)
- [画像回転] (P.210)
- [動画分割] (P.211)
- [インターバル動画作成] (P.211)
- [コマ撮りアニメ作成] (P.211)
- [縦位置自動回転] (P.212)
- [画像表示順] (P.212)
- [消去確認画面] (P.212)

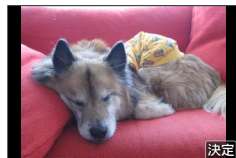
● 他機で撮影した画像は、設定や編集ができない場合があります。

■ [1 枚設定]、[複数設定] での画像の選び方

[1 枚設定] または [複数設定] が選べない場合は、[1 枚設定] と同じ選び方になります。

[1 枚設定]

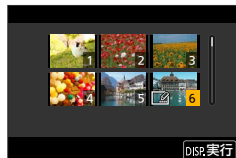
- ① ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 画面右下に [設定 / 解除] と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。



[複数設定]

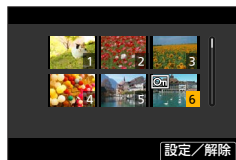
右のような画面の場合

- ① ▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- ② [DISP.] ボタンを押して実行する



右のような画面の場合

- ① ▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す



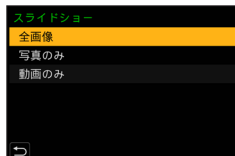
【スライドショー】

撮影した画像を自動で連続再生します。写真のみ、または動画のみを選んでスライドショーで再生することもできます。テレビで見るときにお勧めです。

MENU ボタン →  **[再生]** → **[スライドショー]**





1 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。
- フォーカスセレクト撮影した画像は、ピントが合っている代表画像のみが再生されます。



2 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■スライドショー中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲		再生 / 一時停止
◀		前の画像へ
▶		次の画像へ
▼		終了
		音量を上げる
		音量を下げる

■設定を変更する

[効果] や [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

効果	画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。
設定	再生間隔 [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ設定できます。
リPEAT	[ON] / [OFF]
音設定	[AUTO] : 写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 [音楽] : 効果の音楽を再生します。 [音声] : 動画の音声を再生します。 [OFF] : 音楽も音声も再生しません。

- 4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像またはグループ画像のスライドショー時は、[効果] を設定していても無効になります。
- 次の画像をスライドショー時、[再生間隔] の設定は無効になります。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - パノラマ写真
 - グループ画像

【再生モード】

再生する画像の種類を選ぶことができます。([通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ])

MENU ボタン →  [再生] → [再生モード]

1 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。

【プロテクト】

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

MENU ボタン →  [再生] → [プロテクト]

1 画像を選ぶ (P.199)**■全解除する**

[プロテクト] → [全解除] → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



カードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] にしておくと、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 本機以外では無効になることがあります。

【レーティング】

画像を 5 種類にレベル分け (レーティング) します。レーティングを設定しておくこと以下ことができます。

- レーティングを設定した画像以外をまとめて消去する。
- Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 などでファイルの詳細を表示して、レーティングのレベルを確認する。(JPEG 画像のみ)

MENU ボタン →  [再生] → [レーティング]


1 画像を選ぶ (P.199)**2 ◀▶でレーティングのレベル (1 ~ 5) を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す**
([複数設定] 時は手順 **1** と **2** を繰り返す)**■全解除する**

[レーティング] → [全解除] → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像に [レーティング] を行った場合は、グループ内の画像すべてにレーティングが設定され、先頭画像のレーティングアイコンに設定枚数が表示されます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。
- [再生モード] を [通常再生] 以外に設定しているときは、[全解除] を選択できません。
- AVCHD 動画は、レーティング [5] のみ設定可能です。

【タイトル入力】

撮影した画像に文字（タイトルなど）を入力します。入力後、[文字焼き込み] (P.208) で撮影画像に焼き込むことができます。



MENU ボタン →  [再生] → [タイトル入力]

1 写真を選ぶ (P.199)

- すでに文字が入力されている画像には  が表示されます。

2 文字を入力する

- 文字の入力方法 (P.54)
- 文字を消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字をプリントすることができます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 次の画像には設定できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ] が [RAW ] [RAW ] [RAW] の写真

【認証情報編集】

間違っ個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

MENU ボタン →  [再生] → [認証情報編集] → [入換え] または [解除]

1 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶ で人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [解除] の場合は手順 4 へ

3 ▲▼◀▶ で入れ換えたい人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す


4 ◀で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は 1 枚目の画像のみ編集できます。



[RAW 現像]

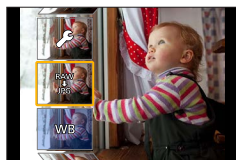
RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。

MENU ボタン →  [再生] → [RAW 現像]

1 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼ で項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[📷] の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
明るさ補正	- 2EV ~ + 2EV の範囲で明るさを補正できます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果を選べます。
iD レンジコントロール	iD レンジコントロールの設定を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル] で [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D] を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選べます。([フォトスタイル] で [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D] を選択している場合のみ)
粒状	粒状感の強弱を設定できます。([フォトスタイル] で [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D] を選択している場合のみ)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	<p>▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。</p> <p>[調整前に戻す]：撮影時の設定に戻すことができます。</p> <p>[色空間]：色空間を [sRGB] または [Adobe RGB] から選べます。</p> <p>[記録画素数]：保存時の JPEG 画像のサイズ ([L]、[M]、[S]) を選べます。</p>

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 手順 2 の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返してください。

4 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

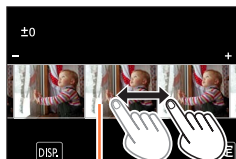
操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 ([ホワイトバランス] の [M]区 選択時のみ)
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示 ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面 に戻る



- ・ [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- ・ 画像を2回連続で素早くタッチすると、拡大表示できます。(拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります)

比較画面では以下の方法で調整ができます。

操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面 に戻る



現在の設定

- ・ 中央の写真タッチすると拡大表示できます。[↶] をタッチすると元の表示に戻ります。

- 本機で行う RAW 現像の結果と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で行う RAW 現像の結果は完全には一致しません。
- 本機で撮影した RAW 画像は常に [4:3] (5184 × 3888) で記録されますが、[再生] メニューの [RAW 現像] では撮影時の画像横縦比や [EX テレコン (写真)] の画角で現像されます。
- [EX テレコン (写真)] で拡大撮影した画像を現像時、[記録画素数] を撮影時より大きい設定で現像できません。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス] の項目が撮影時の設定に固定されます。
- グループ画像は1枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。
- HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW 現像] は使えません。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。

[4K フォト一括保存]

4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括保存することができます。

MENU ボタン → [再生] → [4K フォト一括保存]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

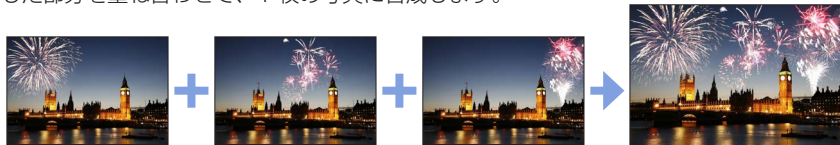
- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括で写真として保存する最初のコマを選ぶ (P.106、107)

- 写真は JPEG 形式で、ひとつの連写グループとして保存されます。

[比較明合成]

4K 連写ファイルから、合成したいコマを複数枚選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1 枚の写真に合成します。



MENU ボタン → [再生] → [比較明合成]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [選択合成]：合成したいコマを選ぶ

① スライダーをドラッグするか、▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ

② [MENU/SET] ボタンを押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

③ 手順 ①～② を繰り返す、合成したいコマを選ぶ (最大 40 コマ)

④ ▼ で [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [範囲合成]：合成する範囲を選ぶ

① 先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択方法は、[選択合成] の手順 ① と同じです。

② 終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。



【軌跡合成】

4K 連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を 1 枚の写真に合成します。

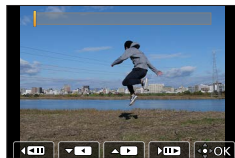


MENU ボタン → [再生] → 【軌跡合成】

- 1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 合成したいコマを選ぶ

コマの前後で動いている被写体が重ならないように、コマを選択してください。
(被写体が重なると正しく合成されない場合があります)

- ① スライダーをドラッグするか、▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押す
 - 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
 - ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。
- ③ 手順 ①～② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ (3 コマ～ 40 コマ)
- ④ ▼ で [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。



軌跡合成のコツ

軌跡合成に使用する画像を撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

【クリアタッチ】 不要な部分を消去する

- 消去操作はタッチでのみ行えます。
【クリアタッチ】では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



MENU ボタン → **▶** 【再生】 → 【クリアタッチ】

1 ◀▶ で写真を選び、【MENU/SET】ボタンを押す

2 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- 【1つ戻す】をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。



💡 細かい部分を消去するには（拡大表示）

- ①【移動】をタッチする
 - 画面をピンチアウト/ピンチインすると、拡大/縮小表示できます。
 - 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。
- ②【消去】をタッチする
 - 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。



3 【決定】をタッチする

4 【保存】をタッチする、または【MENU/SET】ボタンを押す


- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は1枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。
- ファインダー表示時は使えません。
- HDMI マイクロケーブル接続時、【クリアタッチ】は使えません。
- 次の画像はクリアタッチできません。
 - ・パノラマ写真
 - ・動画
 - ・4K 連写ファイル
 - ・フォーカスセレクト撮影した画像
 - ・【クオリティ】が【RAW】の写真

【文字焼き込み】



撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

MENU ボタン →  **[再生]** → **[文字焼き込み]**

1 写真を選ぶ (P.199)

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に  が表示されます。

2 ▼ で **[設定]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す


撮影日時	[日付]：撮影日を焼き込む [日時]：撮影日時を焼き込む
名前	 ：個人認証に登録された名前を焼き込む  ：[プロフィール設定] で登録された名前を焼き込む
旅行先	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で設定された旅行日の経過日数を焼き込む
タイトル	[タイトル入力] で登録した文字を焼き込む

3 **[Q.MENU/👉]** ボタンを押す4 ▲ で **[実行]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

- 文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みをすると画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みをすると、グループ画像とは別に新規保存されます。
- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ 4K 連写ファイル
 - ・ フォーカスセレクト撮影した画像
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・ パノラマ写真
 - ・ 文字焼き込み済みの写真
 - ・ 時計設定を行わずに撮影した画像

【リサイズ (縮小)】 画像サイズ (画素数) を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量 (記録画素数) を小さくします。

MENU ボタン →  [再生] → [リサイズ (縮小)]

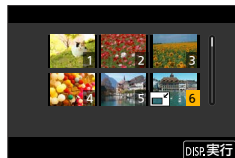
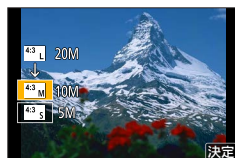
1 写真、サイズを選ぶ

【1 枚設定】

- ① ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼ でサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

【複数設定】 (100 枚まで)

- ① ▲▼ でサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(繰り返す)
 - 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- ③ [DISP.] ボタンを押して実行する



- リサイズすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ] が [RAW] の写真
 - パノラマ写真
 - グループ画像
 - 文字焼き込み済みの写真



【トリミング (切抜き)】 画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

MENU ボタン → [再生] → 【トリミング (切抜き)】

- 1 で写真を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す
- 2 写真を切り抜く部分を表示して、**[MENU/SET]** ボタンを押す

操作	タッチ操作	操作内容
		画像を拡大
		画像を縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動

- グループ画像は 1 枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。
- トリミングすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ] が [RAW] の写真
 - パノラマ写真
 - 文字焼き込み済みの写真

【画像回転】

画像を手動で 90° ずつ回転させることができます。

- [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

MENU ボタン → [再生] → 【画像回転】

- 1 で画像を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す
- 2 で回転方向を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

: 時計回りに 90° 回転します。
 : 反時計回りに 90° 回転します。



【動画分割】

1 つの動画を 2 つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

MENU ボタン →  [再生] → 【動画分割】

1 ◀▶ で分割する動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 分割したい位置で ▲ を押し一時停止する

- 一時停止中に ▶▶ を押し、分割位置の細かい調整をすることができます。

3 ▼ を押し


- 分割した元の動画は残りません。
(分割後の 2 つの動画のみになります)



- 分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 次の画像には設定できません。
 - 撮影時間が短い動画

【インターバル動画作成】

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン →  [再生] → 【インターバル動画作成】

1 ▶▶ でインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは [124 ページ](#) の手順 **5** 以降をお読みください。

【コマ撮りアニメ作成】

【コマ撮りアニメ】で撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン →  [再生] → 【コマ撮りアニメ作成】

1 ▶▶ でコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは [126 ページ](#) の手順 **8** 以降をお読みください。



【縦位置自動回転】

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させることができます。

MENU ボタン →  **【再生】** → **【縦位置自動回転】** → **【ON】**

- パソコンで再生するとき、OS またはソフトウェアが Exif に対応していない場合は、画像が回転して表示されないことがあります。Exif とは、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです。

【画像表示順】

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン →  **【再生】** → **【画像表示順】**


ファイル名	フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置が分かりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数のカメラで同じカードに撮影した場合に画像を探しやすい表示形式です。

- 本機にカードを入れた直後は **【撮影日時】** の順で表示できない場合があります。しばらくすると、**【撮影日時】** の順で表示されます。

【消去確認画面】

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、**【はい】** / **【いいえ】** のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

お買い上げ時は **【いいえ】** がはじめに設定されています。

MENU ボタン →  **【再生】** → **【消去確認画面】**

【はい】 がはじめ	最初に 【はい】 が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
【いいえ】 がはじめ	最初に 【いいえ】 が選ばれます。誤って画像を消去することを防ぎます。



Wi-Fi[®]/Bluetooth[®] 機能でできること

スマートフォンとつないで使う

- スマートフォンで、カメラのシャッターボタンを操作する（リモート撮影）
（P.224）
- カメラの画像を再生 / 保存する、SNS へ送信する（P.226）
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンで好み結合する（P.229）

Bluetooth low energy に対応したスマートフォンと接続して、さらに広がる楽しみ方

- ペ어링（接続設定）（P.217）
- スマートフォンで、カメラの電源を操作する（P.223）
- バルブ撮影をする（P.225）
- 撮影した画像をスマートフォンに自動転送する（P.227）
- 撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する（P.228）
- カメラの時刻をスマートフォンに合わせる（P.228）

テレビに写真を映す（P.230）

ワイヤレスでプリントする（P.234）

AV 機器に画像を送る（P.235）

パソコンに画像を送る（P.236）

Web サービスを利用する（P.238）

- 特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。

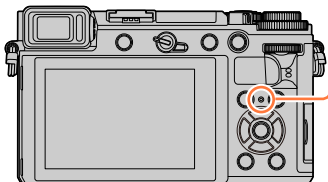


Wi-Fi/Bluetooth 機能について

■ご使用前に

- あらかじめ時計を設定してください。(P.33)
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■WIRELESS 接続ランプの表示 (青色)



点灯：Wi-Fi/Bluetooth 機能 ON 時、または接続中
点滅：カメラ操作で画像データ送信時

- [セットアップ] メニューの [WIRELESS 接続ランプ] で、点灯 / 点滅しないように設定できます。(P.190)

■[Wi-Fi] ボタン

本書では [Wi-Fi] を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi] ボタンと記載して説明しています。(お買い上げ時、撮影時は [Fn4] に [Wi-Fi] が設定されています)

- [Wi-Fi] ボタンは、撮影時と再生時で別々に設定できます。詳しくは 51 ページをお読みください。

[Wi-Fi] ボタンを押す操作 (撮影時)

① [Fn] をタッチする



② [Fn4] をタッチする



Wi-Fi/Bluetooth 機能について

■ [Wi-Fi] ボタンを押してできる操作

Wi-Fi 接続していないときに [Wi-Fi] ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。(P.219)

- その際に [DISP.] ボタンを押すと、以前に接続した履歴から素早く接続することができます。(P.248)

Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

[接続を終わる]	Wi-Fi 接続を終了します。
[接続先を変える]	Wi-Fi 接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
[画像の送信設定を変える]	(P.232)
[今の接続先をお気に入りに入れる]	現在の接続先や接続方法を登録しておくで、次回以降、同じ設定で接続することができます。
[ネットワークアドレス表示]	(P.250)

- お使いの Wi-Fi 機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

■ 操作の記載方法

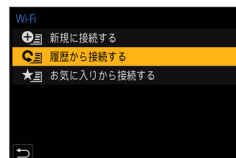
手順で「[履歴から接続する] を選ぶ」などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作

カーソルボタンで [履歴から接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作

[履歴から接続する] をタッチする



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」（以降では「Image App」と表記）をインストールする必要があります。

スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

対応 OS	Android™ : Android 4.2 以上 (Bluetooth 機能を使うには Android 5.0 以上が必要です) iOS : iOS 9.0 以上 (iPad 2 では Bluetooth 機能を使用できません)
-------	---

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android) 「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2018 年 2 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機との Wi-Fi 接続を終了して、3G や LTE 等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- 対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。



Bluetooth low energy 対応のスマートフォンと接続する

カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続します。


対応スマートフォン

Android : Android 5.0 以上で、Bluetooth 4.0 以上を搭載
(Bluetooth low energy 非対応の一部の端末を除く)
iOS : iOS 9.0 以上 (iPad 2 を除く)

■初めて接続する

初回のみペアリング設定 (接続設定) が必要です。ペアリング設定をすると、Wi-Fi 接続も自動で行います。

(カメラ側)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth]
→ [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]

- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名が表示されます。



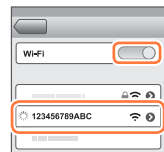
(スマートフォン側)

- 「Image App」を起動する
 - カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。
- [Bluetooth] を選ぶ
- Bluetooth を ON にする
- [登録可能な機器] の項目から、カメラの画面に表示されているデバイス名を選ぶ
 - カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。
 - (Android 機器) [接続] を選ぶと、Wi-Fi 接続されます。

Android 機器は以上で操作が完了します。

iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad) のみ、以下の手順に進んでください。

- カメラの [Wi-Fi パスワード] (P.250) が [OFF] の場合、[Wi-Fi 設定] を選んでください。(お買い上げ時は [Wi-Fi パスワード] が [OFF] に設定されています)
 - カメラの [Wi-Fi パスワード] が [ON] の場合、プロフィールのインストールが必要です。
 - プロフィールをインストールする
 - [インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。
 - スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。
 - ブラウザを終了する
- 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
 - Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ (手順 ④ で選んだデバイス名)
 - SSID が表示されない場合、Wi-Fi 機能を OFF にしてから再度 ON にすると表示される場合があります。
 - 接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。
 - 「Image App」を起動する
 - Wi-Fi 接続の完了後、ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。



スマートフォンと接続する

■ ペ어링済みのスマートフォンと接続する（2 回目以降の接続）

（カメラ側）

① Bluetooth 機能を有効にする

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [ON]

（スマートフォン側）

② 「Image App」を起動する

- ・カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

③ [Bluetooth] を選ぶ

④ Bluetooth を ON にする

⑤ [登録済みの機器] の項目から、接続したいカメラ（デバイス名）を選ぶ

- ・複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは 1 つです。

■ Bluetooth 接続を解除する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [OFF]

- ・接続が解除され、カメラの Bluetooth 機能が停止します。
- ・接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

■ ペ어링設定を解除する

（カメラ側）



① メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定]
→ [解除]

② 解除したいスマートフォンを選ぶ

（スマートフォン側）

[登録済みの機器] の項目から、ペアリングを解除したいカメラ（デバイス名）を選び、登録解除する

- Bluetooth 接続中は撮影画面に  が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは  が半透明で表示されます。
- スマートフォンとカメラのペアリングに時間がかかるときは、一度両方のペアリング設定を解除してから再設定すると正しく認識される場合があります。
- 登録できるスマートフォンは 16 件までです。16 件を超えて登録すると、古いものから順番に消去されます。
- [ネットワーク設定リセット] を行うと登録済み機器情報は消去されます。



Bluetooth low energy に対応していないスマートフォンと接続する

スマートフォンと Wi-Fi 接続を行います。

- Bluetooth low energy に対応したスマートフォンでも、同じ操作で Wi-Fi 接続できます。

パスワードを利用せずに接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、本機と Wi-Fi 接続することができます。

(カメラ側)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

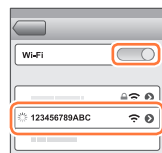
- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (SSID) が表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。



SSID

(スマートフォン側)

- 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- [Image App] を起動する
 - 本機に接続確認画面が表示されたら、[[はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。(初回接続時のみ)



お買い上げ時は [Wi-Fi パスワード] が [OFF] に設定されています。

Wi-Fi 接続を開始する際、本機の接続確認画面に表示されている機器が実際に接続したい機器が必ずご確認ください。別の機器が表示されている場合でも、「はい」を選ぶとそのまま接続されます。

お近くに別の Wi-Fi 接続機器がある場合などは、[Wi-Fi パスワード] を [ON] に設定することをお勧めします。(P.250)

スマートフォンと接続する

パスワードを利用して接続する

【Wi-Fi パスワード】を【ON】に設定すると、手動入力または QR コードによるパスワード認証を行うことで、セキュリティを強化できます。

準備

(カメラ側) 【Wi-Fi パスワード】を【ON】にする。(P.250)

■ QR コードを読み取って接続する場合

(カメラ側)

MENU ボタン →  【セットアップ】 → 【Wi-Fi】 → 【Wi-Fi 機能】 → 【新規に接続する】
→ 【スマートフォンとつないで使う】

- ・スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID とパスワード) が表示されます。
- ・カメラの【Wi-Fi】ボタンを押すことでも表示できます。



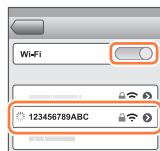
(スマートフォン側)

- ① 「Image App」を起動する
- ② 【QR コード】を選ぶ
 - ・スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、QR コードが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
 - ・(iOS 機器) 確認画面が表示されます。【OK】を選んで進んでください。
- ③ 本機に表示された QR コードを「Image App」で読み取る
 - ・カメラの【MENU/SET】ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。

Android 機器は以上で操作が完了します。

iOS 機器 (iPhone、iPod touch、iPad) のみ、以下の手順に進んでください。

- ④ プロファイルをインストールする
 - 【インストール】を選び、【インストール】 → 【完了】を選んでください。
 - ・スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。
- ⑤ ブラウザを終了する
- ⑥ 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- ⑦ Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- ⑧ 「Image App」を起動する
 - ・(iOS 機器) 手順 ① ~ ⑤ は 2 回目以降は不要です。



スマートフォンと接続する

■パスワードを手動入力して接続する場合 (カメラ側)

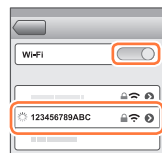
MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID とパスワード) が表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。




(スマートフォン側)

- ① 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- ② Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- ③ 本機に表示されたパスワードを入力する (初回接続時のみ)
- ④ 「Image App」を起動する



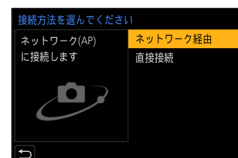
Wi-Fi 接続方法を変える

接続方法を切り換える場合は、以下の操作をしてください。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン

または

Wi-Fi ボタン → [DISP.] ボタン → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン



スマートフォンと接続する

■ [ネットワーク経由] で接続する場合

(カメラ側)

- ① [ネットワーク経由] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 245 ページの接続方法に従って本機を無線アクセスポイントに接続してください。

(スマートフォン側)

- ② 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- ③ 本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
- ④ [Image App] を起動する

■ [直接接続] で接続する場合

(カメラ側)

- ① [直接接続] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 247 ページの接続方法に従って本機をスマートフォンに接続してください。

(スマートフォン側)


- ② [Image App] を起動する

Wi-Fi 接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタン半押しで撮影モードに戻ります。


2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [はい]

- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。



3 スマートフォンで「Image App」を終了する

- スマートフォンで 4K プリ連写を撮影時は、カメラの [Q.MENU/ ] ボタンを押して 4K 連写に切り換えてから、接続を終了してください。



スマートフォンとつないで使う

■ 必要な無線接続の種類

スマートフォンとつないで使う機能により、必要な無線接続の種類が異なります。

必要な無線接続	Bluetooth low energy の対応
Bluetooth	Bluetooth low energy 対応のスマートフォンで使えます。
Wi-Fi	Bluetooth low energy に対応していないスマートフォンでも使えます。
Bluetooth Wi-Fi	Bluetooth low energy 対応のスマートフォンで使えます。 • Bluetooth と Wi-Fi の両方でスマートフォンと接続する必要があります。

スマートフォンで、カメラの電源を操作する

必要な無線接続： **Bluetooth** Wi-Fi

カメラの電源を切っても、スマートフォンでリモートで起動して操作することができます。離れた場所からカメラの電源を入れて撮影したり、かばんの中にカメラを入れたまま電源を入れて画像を確認したりできます。



1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.217)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]

3 カメラの電源スイッチを [OFF] にする

4 スマートフォンで「Image App」を起動し、Bluetooth 接続可能な状態 (スタンバイ) にする

5 スマートフォンを操作する

① を選ぶ



② [リモート操作] を選ぶ

- カメラの電源が入り、自動で Wi-Fi 接続を行います。
 - (iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

■ カメラの電源を切る

① を選ぶ

② [OFF] を選ぶ


- [リモート起動] を [ON] に設定時、カメラの電源を切っても Bluetooth 機能が働くため、バッテリーが消耗します。


スマートフォンで、カメラのシャッターボタンを操作する (リモート撮影)

必要な無線接続： Wi-Fi

1 スマートフォンと接続する (P.216)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、 → [リモート操作] を選んでください。
(iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

①  を選ぶ



② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。




■ カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [リモート優先操作設定]

 カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ダイヤルの設定はスマートフォンで変更できません。
 スマートフォン	スマートフォンでのみ操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ダイヤルもスマートフォンで操作できます。 • リモート撮影を終了するときは、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了] を選んでください。

• 接続中は設定を変更できません。

● 次の場合、リモート撮影はできません。

- パノラマモード ([リモート優先操作設定] を  (スマートフォン) に設定時は、リモート撮影中のみ一時的にプログラム AE モードに切り換えてリモート撮影することができます)
- インターバル撮影時

Bluetooth 接続だけで、スマートフォンでシャッターボタンを操作する

必要な無線接続： Bluetooth

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.217)

2 スマートフォンを操作する

① [家] を選ぶ

② [シャッターリモコン] を選ぶ



③ 撮影する

- 「Image App」の「シャッターリモコン」の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 「シャッターリモコン」は、カメラの電源スイッチが「ON」のときのみ使用できます。
- カメラのライブビューはスマートフォンで確認できません。
- 撮影中に「スリープモード」が動いてカメラの電源が切れたときは、スマートフォンで再度「シャッターリモコン」を選択すると、電源を入れ直すことができます。（[リモート起動]を「ON」に、[自動画像転送]を「OFF」に設定時のみ）



B (バルブ) (最大約 30 分間)

マニュアル露出モードでシャッタースピードを [T] (タイム) に設定しておくと、B (バルブ) 撮影ができます。

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるので、星空や夜景の撮影に便利です。

1 スマートフォンを操作する

① [●] を押して、撮影を開始する（押したまま、指を離さない）

② [●] から指を離して、撮影を終了する

- [●] を LOCK 方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影することができます。（[●] を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します）
- B (バルブ) 撮影中に Bluetooth 接続が切れた場合は、再度 Bluetooth 接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。
- カメラの画面には [T] (タイム) と表示されます。



スマートフォンとつないで使う



■スリープモードからの復帰にかかる時間を短くする

スマートフォンを使って [スリープモード] から復帰するときに、優先して使うスマートフォンの機能を選びます。

準備

[Bluetooth] と [リモート起動] を [ON] に設定する (P.223)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [スリープモードからの復帰動作]

	リモート操作 / 画像転送優先	[リモート操作] や [画像転送] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
	シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

カメラの画像を再生 / 保存する、SNS へ送信する

必要な無線接続： [Wi-Fi]

1 スマートフォンと接続する (P.216)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[] → [リモート操作] を選んでください。

(iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

① [] を選ぶ

- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。



(再生する)

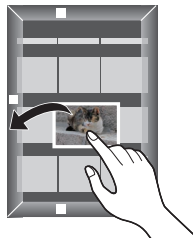
② 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます

- 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

(保存する、SNS などの Web サービスに送信する)

③ 画像を長押ししてドラッグする

- AVCHD 動画、[画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は保存できません。
- RAW 形式の写真は、スマートフォンの OS が Android 7.0 以上、iOS 10.0 以上の場合のみ保存可能ですが、スマートフォンまたは OS のバージョンによっては正しく表示されない場合があります。



撮影した画像をスマートフォンに自動転送する

必要な無線接続：**Bluetooth** Wi-Fi

Bluetooth で接続したスマートフォンに、撮影した画像を Wi-Fi で自動転送します。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.217)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラに Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されたら、[はい] を選んで終了してください。

3 スマートフォンで [はい] (Android 機器) または [Wi-Fi 設定] (iOS 機器) を選ぶ

- Wi-Fi 接続を自動で行います。
- (iOS 機器) スマートフォンに表示されるメッセージに従って Wi-Fi 設定画面で接続先を変更してください。

4 カメラで送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.232)
- 自動画像転送できる状態になり、撮影画面に [📶] が表示されます。(表示されないときは自動画像転送できません。スマートフォンとの Wi-Fi 接続状況をご確認ください)

5 カメラで写真を撮影する

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイルを送信中は [📶] が表示されます。



[自動画像転送] を [ON] にしておくと、次回カメラの電源を入れてスマートフォンで「Image App」を起動したときに、自動で Wi-Fi/Bluetooth 接続機能が働き、自動画像転送できる状態になります。

■自動画像転送を終了する

手順 **2** で [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されます。

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。
- 画像を転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すとき送信を再開します。
 - 電源を入れ直す前にカードを入れ換えた場合など、送信していないファイルの保存状況が変化すると再送信できない場合があります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを再送信できない場合があります。
- 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は自動転送できません。
- RAW 形式の写真は、スマートフォンの OS が Android 7.0 以上、iOS 10.0 以上の場合のみ保存可能ですが、スマートフォンまたは OS のバージョンによっては正しく表示されない場合があります。

撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する

必要な無線接続： **Bluetooth**

スマートフォンの位置情報を Bluetooth でカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。



① 位置情報を取得

② 位置情報を送信

③ 位置情報を書き込みながら撮影

準備

スマートフォンの GPS 機能を有効にする。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.217)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報の記録ができる状態になり、撮影画面に [GPS] が表示されます。

3 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

[GPS] が半透明で表示される時

位置情報が取得できないため書き込みできません。建物やかぼんの中などでは、スマートフォンの GPS が測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの説明書もお読みください。

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。
- 次の場合、位置情報は書き込まれません。
 - AVCHD 動画

カメラの時刻をスマートフォンに合わせる

必要な無線接続： **Bluetooth**

[セットアップ] メニューの [時計設定] と、[ワールドタイム] の [ホーム] または [旅行先] の設定を、スマートフォンの設定に合わせます。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.217)

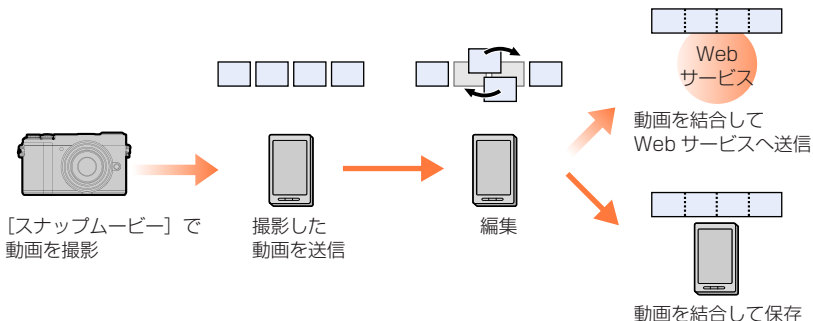
2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]

スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

必要な無線接続： [Wi-Fi]

スマートフォンを使って、カメラの [スナップムービー] で撮影した動画をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Web サービスへアップロードしたりできます。



■スマートフォンを操作して動画を結合する

①スマートフォンと接続する (P.216)

②スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[🏠] → [リモート操作] を選んでください。
 (iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

① [🏠] を選ぶ



② [SNAP] を選ぶ

- [スナップムービー] で撮影した動画を、日付の新しいものから自動でスマートフォンに送信します。
- 日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。

③スマートフォンを操作して動画を編集する

- [Image App] の [スナップムービー] の操作について、詳しくは [Image App] のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

● [Image App] の [スナップムービー] は、Android OS 4.3 以上に対応している必要があります。

テレビに写真を映す

お部屋ジャンプリンクや DLNA (DMR) に対応したテレビに写真を表示できます。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [TVで見る]


1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.245、247)

2 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

3 本機で撮影または写真を再生する

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。


MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]
([Wi-Fi] ボタンを押すことでも、接続を終了できます。)

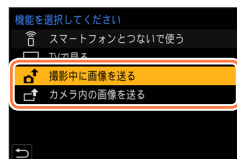
- Wi-Fi 機能を使って表示する場合は、4K の出力解像度で出力できません。4K の出力解像度で出力したい場合は、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。(P.252)
- 本機との接続中に、テレビ画面が一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、本機で [効果] と [音設定] を設定していても、テレビには反映されません。
- 動画、4K 連写ファイルは再生できません。
- マルチ再生画面などの一部の画面では、本機に表示されている画像はテレビに表示されません。
- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。



画像を送る

〔新規に接続する〕を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
 → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する]
 → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]



■本機で送信できる画像

送信先	JPEG	RAW	MP4※1	AVCHD※1、※2	4K 連写ファイル※1 フォーカスセレクト 撮影した画像※1
[スマートフォン]	○	○※3	○※4	×	×
[PC]	○	○	○	○	○
[クラウド同期サービス]	○	×	○※4	×	×
[Web サービス]	○	×	○※4	×	×
[AV 機器]	○	×	×	×	×
[プリンター]※1	○	×	×	×	×

※1 [撮影中に画像を送る] 時は送信できません。

※2 4 GB を超える場合、送信できません。

※3 Android 7.0 以上、iOS 10.0 以上の OS が必要です。


※4 [画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の取扱説明書、または Web サービスをご確認ください。

〔撮影中に画像を送る〕

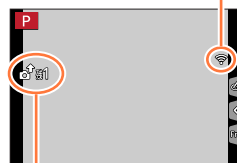
写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
 → [Wi-Fi 機能] → [はい]

- 写真を送信中は設定を変更することはできません。

〔撮影中に画像を送る〕で
接続中に表示



ファイルを送信中に表示

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切ったり、Wi-Fi 接続を終了した場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や [再生] メニューの使用はできない場合があります。
- インターバル撮影時は、Wi-Fi 接続を終了するため使用できません。

【カメラ内の画像を送る】

撮影後に画像を選んで送信できます。

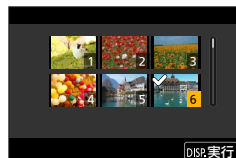
【1枚選択】選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定] を選ぶ



【複数選択】選択時

- ① 画像を選ぶ（繰り返す）
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ② [実行] を選ぶ



- 接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。

- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに [DISP.] ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。


【送信サイズ】	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [自動] / [変更] ([M]、[S]、[VGA]) • [自動] の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。 送信先が [Web サービス] の場合のみ設定できます。
【送信ファイル形式】	送信先が [スマートフォン]、[PC] の場合のみ設定できます。 [JPG] / [RAW+JPG] / [RAW]
【位置情報データ消去】	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。送信先が [クラウド同期サービス]、[Web サービス] の場合のみ設定できます。 [ON]：位置情報を消去して送信します。 [OFF]：本機の画像から位置情報は消去されません。
【クラウド上限枚数動作】	クラウドフォルダーの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。送信先が [クラウド同期サービス] の場合のみ設定できます。 [ON]：画像を送信しません。 [OFF]：古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。



スマートフォンに画像を送る

準備

「Image App」をインストールしておく。(P.216)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [スマートフォン]

1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.245、247)

(スマートフォン側)

■ [ネットワーク経由] で接続する場合

- ① Wi-Fi 機能を ON にする
- ② 本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
- ③ 「Image App」を起動する

■ [直接接続] の [WPS 接続]*で接続する場合

- ① 「Image App」を起動する

*WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォンが対応しているかどうかは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

■ [直接接続] の [手動接続] で接続する場合

- ① Wi-Fi 機能を ON にする
- ② 本機の画面に表示されている SSID と同じものを選ぶ
- ③ 「Image App」を起動する

2 接続したい機器を選ぶ

3 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.232)

[撮影中に画像を送る] 選択時

4 写真を撮る (P.231)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

4 画像を選ぶ (P.232)

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。




ワイヤレスでプリントする


撮影した写真をワイヤレスで PictBridge (ワイヤレス LAN 対応)*のプリンターから印刷することができます。

*DPS over IP 規格準拠

PictBridge (ワイヤレス LAN 対応) のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

- 1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.245、247)
- 2 接続したいプリンターを選ぶ
- 3 画像を選んでプリントする

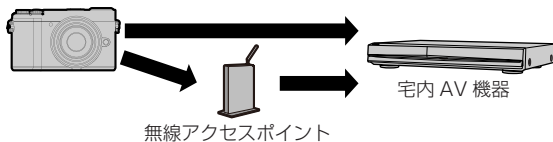
- 画像の選び方は USB 接続ケーブルで接続時と同じになります。(P.259)
- 接続を終了するには、[Q.MENU/ ] ボタンを押してください。

● [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。



AV 機器に画像を送る

お部屋ジャンプリンクや DLNA に対応したレコーダーなど、家の中にある AV 機器（宅内 AV 機器）に写真や動画を送れます。



MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [AV 機器]

- 1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.245、247)
- 2 接続したい機器を選ぶ
- 3 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.232)

[撮影中に画像を送る] 選択時

- 4 写真を撮る (P.231)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

- 4 画像を選ぶ (P.232)

- AV 機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。
- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

パソコンに画像を送る

準備

- パソコンの電源を入れておく。
- あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく。(下記)
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する。(P.250)

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント（アカウント名（254文字以内）とパスワード（32文字以内））は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、フォルダーを作成できない場合があります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使用する場合

- ①「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする (P.255)
- ②「PHOTOfunSTUDIO」で受信するフォルダーを作成する
 - 詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)

対応 OS : Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7

例) Windows 7

- ①受信するフォルダーを選び、右クリックする
- ②「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする
 - 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)

対応 OS : OS X v10.5 ~ v10.11、macOS 10.12 および 10.13

例) OS X v10.8

- ①受信するフォルダーを選び、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」
- ②フォルダーに共有の設定をする
 - 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

パソコンに画像を送る

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [PC]

1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.245、247)

2 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) を入力してください。

3 送信するフォルダーを選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.232)

[撮影中に画像を送る] 選択時

5 写真を撮る (P.231)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

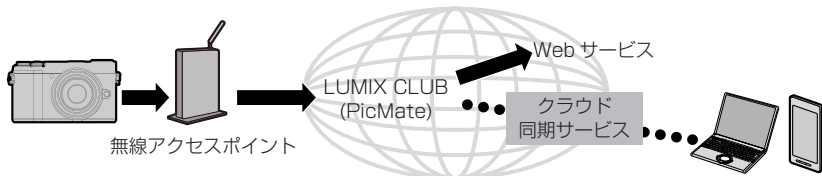
5 画像を選ぶ (P.232)

- 設定したフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを要求された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) にスペース (空白文字) などが入っていると、正しく認識できないことがあります。15 文字以内の英数字のみを組み合わせたコンピューター名 (Mac の場合は NetBIOS 名) に変更することをお勧めします。
- OS およびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。
- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。



Web サービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで、写真や動画を SNS などに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすると、パソコンやスマートフォンで転送した写真や動画を受信できます。



Web サービスに画像を送る

準備

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」へ登録する (P.242)
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」以外の Web サービスに画像を送信するには、その Web サービスに登録する (P.239)

- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。
- 画像の送信に失敗すると、「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。

Web サービスを利用する

Web サービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する

対応する Web サービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。


https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備

利用する Web サービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

- 1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする
<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
- 2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID とパスワードを入力し、ログインする
- 3 「LUMIX CLUB (PicMate)」にメールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録する
- 4 「Web サービス連携設定」で利用する Web サービスを選び、登録する
 - 画面の指示に従って操作してください。

画像を送る

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [Web サービス]

- 1 [ネットワーク経由] を選び、接続する (P.245)
- 2 接続したいサービスを選ぶ
- 3 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。 (P.232)

[撮影中に画像を送る] 選択時

- 4 写真を撮る (P.231)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

- 4 画像を選ぶ (P.232)

● [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

Web サービスを利用する

■カメラ内の画像を簡単に Web サービスに送る

① 画像を表示する

② ▼ を押し、◀ で [はい] を選ぶ

(グループ画像を 1 枚ずつ再生時は、▲ を押して [アップロード (Wi-Fi)] または [全画像アップロード (Wi-Fi)] を選ぶ)

- [] をタッチしても操作できます。

(グループ画像選択時は、[]、[]、[]、[] をタッチしたあと [SUB/MENU] をタッチし、[アップロード (Wi-Fi)] または [全画像アップロード (Wi-Fi)] を選んでください)

③ 接続したい Web サービスを選ぶ

④ 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 続けて画像を送信する場合は、手順 ③、④ は不要です。
- 画像の送信設定を変更するには、[DISP.] ボタンを押してください。(P.232)
- 接続を終了する場合は、[MENU/SET] ボタンを押すなどの操作をし、再生画面を終了してください。[Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。



画像の送信設定、Web サービスを変更するには

以下のいずれかを行ってください。

- Wi-Fi 接続を終了し、もう一度手順 ① 以降を操作する
- Wi-Fi 接続中に [Wi-Fi] ボタンを押す

- 利用可能な無線アクセスポイントの接続履歴がない場合：
接続方法を選び、本機を無線アクセスポイントに接続してください。(P.245)
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録してない場合：
ログイン ID を取得し、パスワードを設定してください。(P.242)
- グループ画像をまとめて表示している場合は、グループ内の画像すべてを送信します。グループ画像を 1 枚ずつ表示している場合は、表示中の画像 1 枚を送信します。

クラウド同期サービスに画像を送る

準備

- [LUMIX CLUB (PicMate)] に登録する。(P.242)
- クラウド同期設定を行う。(パソコンの場合は「PHOTOfunSTUDIO」で、スマートフォンの場合は「Image App」で設定してください。)

■ [クラウド同期サービス] を利用する (2018年2月現在)

- 送信された画像はクラウドフォルダーに一時保存され、パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダーに送信された画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。以下の場合、自動的に消去されますので、お気をつけください。
 - 送信後30日を超えた場合
(30日以内であっても指定した機器すべてにダウンロードされた場合は消去されることがあります。)
 - 1000枚を超えた場合 ([クラウド上限枚数動作] (P.232) の設定による)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [クラウド同期サービス]

1 [ネットワーク経由] を選び、接続する (P.245)

2 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.232)

[撮影中に画像を送る] 選択時

3 写真を撮る (P.231)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

3 画像を選ぶ (P.232)

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

LUMIX CLUB (PicMate) を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録（無料）をして、ログイン ID を取得します。

■「LUMIX CLUB (PicMate)」


デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。
<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

新規でログイン ID を取得する（[新規登録]）


MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [ログイン・新規登録] → [新規登録]

・ネットワークに接続します。[次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

1 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する (P.245)

・ [次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

2 LUMIX CLUB (PicMate) の利用規約を読み、[同意する] を選ぶ

- ・ ページを切り換える：▲▼
- ・ 拡大表示（2 倍）する：後ダイヤルを右側に回す（左側に回すと 1 倍に戻ります）
- ・ 拡大位置を移動する：▲▼◀▶
- ・ 登録せずに中止する：[Q.MENU/ ] ボタンを押す

3 パスワードを入力する

- ・ 英数字交じり 8 ～ 16 桁で任意のパスワードを入力してください。
- ・ 文字の入力方法 (P.54)

4 ログイン ID を確認し、[OK] を選ぶ

- ・ ログイン ID（数字 12 桁）は自動的に表示されます。
パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- ・ ログイン ID とパスワードは必ず控えを取ってください。

Web サービスを利用する

ログイン ID やパスワードを確認・変更する（[ログイン ID 設定]）

準備

取得済みのログイン ID を使う場合、ID とパスワードを確認しておく。
パスワードを変更する場合、スマートフォンまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [ログイン・新規登録] → [ログイン ID 設定]

- ログイン ID とパスワードが表示されます。
- パスワードは「★」で表示されます。

1 変更したい項目を選ぶ

2 ログイン ID またはパスワードを入力する

- 文字の入力方法 (P.54)
- パスワードはスマートフォンまたはパソコンで変更したものを入力してください。

3 [終了] を選ぶ

本機とスマートフォンのログイン ID を合わせる

本機とスマートフォンのログイン ID を合わせておくと、本機の画像を他の機器や Web サービスに送信するときに便利です。

■本機またはスマートフォンのどちらか一方がログイン ID を取得している場合

- ①本機とスマートフォンを接続する (P.219)
- ②「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる

- 本機とスマートフォンを接続後、再生画面に切り換えたときにログイン ID を合わせる画面が表示される場合があります。


■本機とスマートフォンがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合

- どちらか一方のログイン ID とパスワードを変更してください。
- 本機のログイン ID とパスワードを変更する場合 (P.243)

Web サービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]
→ [利用規約確認]

ログイン ID の消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡 / 廃棄などする場合に、本機のログイン ID を消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

- ログイン ID の変更などは、本機で取得したログイン ID に対してのみ行えます。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定]
→ [消去・退会]

1 ログイン ID 消去の確認画面で [はい] を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。


2 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で [はい] を選ぶ

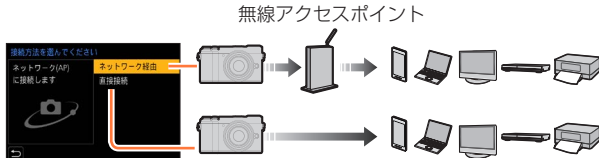
- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。
- 退会をしない場合は、[いいえ] を選ぶとログイン ID の消去のみが実行されます。

3 [OK] を選ぶ

Wi-Fi 接続について

接続には以下の種類があります。

MENU ボタン →  **[セットアップ]** → **[Wi-Fi]** → **[Wi-Fi 機能]**

<p>[新規に接続する]</p>	<p>Wi-Fi 機能や送信先を選択して接続します。下記のような画面が表示されたら、[ネットワーク経由] (P.245) か [直接接続] (P.247) かを選んで接続します。</p> <p style="text-align: center;">無線アクセスポイント</p> 
<p>[履歴から接続する] / [お気に入りから接続する]</p>	<p>以前と同じ設定で接続します。(P.248)</p>

無線アクセスポイントを経由して接続する（[ネットワーク経由]）

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

<p>[WPS (プッシュボタン)]</p>	<p>WPS マークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <p>1 無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す</p>
<p>[WPS (PIN コード)]</p>	<p>WPS マークがあり、PIN コード方式の Wi-Fi Protected Setup 対応の無線アクセスポイントを登録します。</p> <p>1 カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ 2 カメラの画面に表示されている PIN コードを無線アクセスポイントに入力する 3 カメラの [MENU/SET] ボタンを押す</p>
<p>[一覧から選ぶ]</p>	<p>WPS に対応しているか分からない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。(P.246)</p>

- ・初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、**[DISP.]** ボタンを押して、接続先を変更してください。
- ・WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



WPS に対応しているか分からない場合（[一覧から選ぶ] で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)

暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法 (P.54)

■ [マニュアル入力] で接続する場合

- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、
「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

- ① 手順 1 の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ
- ② 接続する無線アクセスポイントの SSID を入力して [決定] を選ぶ
 - 文字の入力方法 (P.54)
- ③ ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA2-PSK	対応する暗号化方式：TKIP、AES
WPA2/WPA-PSK	
暗号化なし	—

- ④ ([暗号化なし] 以外選択時)
暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P.271)、「Q&A 故障かな?と思ったら」(P.277) をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

直接接続する（[直接接続]）

お使いの機器と本機を直接接続します。

[WPS 接続]	<p>[WPS（プッシュボタン）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カメラの画面で [WPS（プッシュボタン）] を選ぶ 2 機器を WPS モードにする <ul style="list-style-type: none"> • 本機の [DISP.] ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。 <p>[WPS（PIN コード）]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 カメラの画面で [WPS（PIN コード）] を選ぶ 2 機器の PIN コードをカメラに入力する
[手動接続]	<ol style="list-style-type: none"> 1 機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSID とパスワードを機器に入力する <ul style="list-style-type: none"> • 接続先が [スマートフォン] の場合は、パスワードは表示されません。SSID を選んで接続してください。(P.219) <div data-bbox="720 535 971 710" style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>パスワードを入力してください 接続機器の設定から パスワードを入力してください</p>  <p>SSID とパスワード</p> </div>

- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定で素早く接続する 【履歴から接続する】 / 【お気に入りから接続する】

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

- 接続する機器の Wi-Fi 設定が変更されていると、接続できない場合があります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  【セットアップ】 → 【Wi-Fi】 → 【Wi-Fi 機能】

【履歴から接続する】	以前と同じ設定で接続します。
【お気に入りから接続する】	お気に入りに登録された設定で接続します。

2 接続したい項目を選ぶ

- 履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示できます。

履歴をお気に入りに登録する


MENU ボタン →  【セットアップ】 → 【Wi-Fi】 → 【Wi-Fi 機能】 → 【履歴から接続する】

1 登録したい項目を選び、▶ を押す

2 登録名を入力する

- 文字の入力方法 (P.54)
- 入力できる文字数は最大 30 文字です。全角文字は 2 文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

MENU ボタン →  【セットアップ】 → 【Wi-Fi】 → 【Wi-Fi 機能】
→ 【お気に入りから接続する】

1 編集したいお気に入り項目を選び、▶ を押す

【お気に入りを消す】	—
【お気に入りの順番を変える】	移動先を選びます。
【登録名を変える】	• 文字の入力方法 (P.54)


Wi-Fi 接続について

- 履歴に保存できる数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録してください。
- [ネットワーク設定リセット] を行うと、履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続] を使って本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する] で接続し直してください。(P.245)
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する] で接続してください。



[Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。Wi-Fi 接続中は変更できません。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

リモート優先操作設定	(P.224)
Wi-Fi パスワード スマートフォンと直接接続する際にパスワードを要求し、セキュリティを強化できます。	<p>[ON] : SSID とパスワードを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P.220)</p> <p>[OFF] : SSID を利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P.219)</p> <p>• [ON] に設定時は QR コードを読み取って接続することもできます。</p>
PicMate 設定	[LUMIX CLUB (PicMate)] のログイン ID の取得や変更を行います。(P.242)
PC 接続設定 ワークグループを設定することができます。	<p>パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)</p> <p>① [MENU/SET] ボタンを押す ② 接続するパソコンのワークグループ名を入力する</p> <p>• 文字の入力方法 (P.54) • お買い上げ時の設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。</p>
機器名称 本機の名前 (SSID) を変更することができます。	<p>① [DISP.] ボタンを押す ② 任意の機器名称を入力する (最大 32 文字) • 文字の入力方法 (P.54)</p>
Wi-Fi 機能ロック 誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護したりするため、Wi-Fi 機能をパスワードで保護することをお勧めします。	<p>[設定] : 数字 4 桁で任意のパスワードを設定します。 [解除]</p> <p>• 文字の入力方法 (P.54) • パスワードを忘れた場合、[ネットワーク設定リセット] (P.196) を行うとパスワードをリセットできます。</p>
ネットワークアドレス表示 本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。	<p>• 「MAC アドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 • 「IP アドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどの DHCP 機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例 : 192.168.0.87)</p>
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

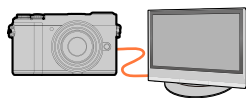


4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■テレビで見る

本機と 4K 動画対応テレビを接続して、[画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画を再生すると、きめ細かい 4K 動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K 動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。

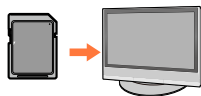


準備

- [HDMI 出力解像度 (再生時)] (P.194) を [AUTO] または [4K/30p] に設定する。
- 4K 動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定する。

① HDMI マイクロケーブルで本機と 4K 動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P.252)

- [ピエラリンク] を [ON] に設定していてピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切替が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、[254 ページ](#)をお読みください。
- [記録方式] が [MP4] で [画質設定] のサイズが [4K] の動画は、4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの取扱説明書もお読みください。



■パソコンで見る

[画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画をパソコンで再生する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。



4K 動画を残す

■パソコンに残す

4K 動画をパソコンに取り込むには、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。

■当社製ブルーレイディスクレコーダーに残す

[画質設定] のサイズが [4K] の動画は、4K 動画取り込みに対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクへダビングすることができます。

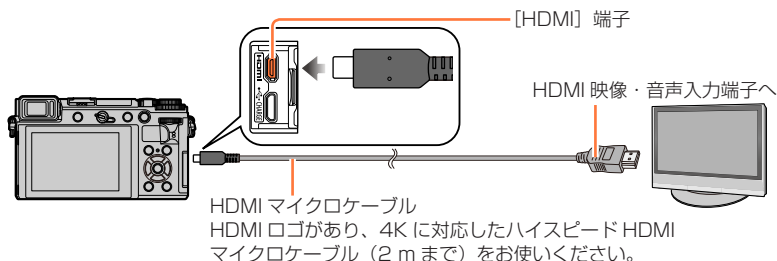
テレビで見る

準備

本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

- 端子カバーを開ける (P.23)
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] (再生) ボタンを押す

- 画像横縦比によっては、上下や左右に帯が表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
- [HDMI 出力解像度 (再生時)] (P.194) を確認してください。
- 24p 動画を再生時は [HDMI 出力解像度] を [AUTO] に設定してください。[AUTO] 以外に設定していると、24 コマ / 秒では出力できません。
- 本機の画面に画像は表示されません。また、本機のスピーカーからは音声は出ません。
- USB 接続ケーブル (付属) と同時に接続すると、[HDMI] 端子は動きません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。



SD カードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの取扱説明書をお読みください。



カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI 出力時は、テレビなどでモニターしながら写真や動画を撮影することができます。



■ 情報表示の有無を切り換える

[セットアップ] メニューの [テレビ接続設定] の [HDMI 情報表示 (撮影時)] で、HDMI 出力時の表示を変更できます。

[ON] : カメラの表示をそのまま出力する。

[OFF] : 映像のみを出力する。

- 撮影時に HDMI 出力する場合、接続する機器に合わせて自動で画質を切り換えて出力します。
 - ・ただし、次の場合は [動画] メニューの [画質設定] に合わせて出力します。(接続する機器が対応していない場合は、接続する機器に合わせて自動で画質を切り換えて出力します)
 - 動画撮影時
 - クリエイティブ動画モード時
 - [記録枠表示] を [●●] に設定時
- 撮影時に HDMI 出力する場合は、画像縦横比は [16:9] に固定されます。
- 4K 動画に対応した外部モニターやテレビと接続時は、以下の設定をすると通常よりもさらに画角が狭くなります。
 - ・ [画質設定] の [4K/100M/30p] / [4K/100M/24p]
 - ・ 4K ライブクロップ
- オートフォーカスモードの [⊕] と MF アシストでの、画面の一部での拡大表示はできません。
- EX テレコン (動画) は動きません。(クリエイティブ動画モードを除く)
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音を本機のマイクが拾い、異常音 (ハウリング) が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
- HDMI 出力時に Wi-Fi 接続した場合は、カメラのモニターに映像は表示されません。
- 一部の設定画面は HDMI 出力されません。
- 次の場合、HDMI 出力されません。
 - ・ パノラマ撮影中
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) を使う

ビエラリンク (HDMI) とは

- 本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク (HDMI) は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備

[ビエラリンク] を [ON] に設定しておく。(P.194)

- 1 HDMI マイクロケーブルで、本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ (ビエラ) をつなぐ (P.252)
- 2 本機の電源を入れ、[▶] (再生) ボタンを押す
- 3 テレビのリモコンで操作する

電源 OFF

- テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMI マイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の [▶] (再生) ボタンを押すと、テレビの入力切換が自動で本機の画面に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの [電源オン連動] を [する] に設定している場合)

- 本機のボタンを使っでの操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で [音設定] を [AUTO] または [音声] に設定してください。
- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル (2 m まで) をお使いください。
- ビエラリンク (HDMI) が正しく動かない場合は、[278 ページ](#)をご確認ください。

写真や動画をパソコンに残す

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくはパソコンの取扱説明書をお読みください。

■使用できるパソコン

マストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合：Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7
- Mac の場合：OS X v10.5～v10.11、macOS 10.12 および 10.13



AVCHD 動画はファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windows の場合、AVCHD 動画は「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。
- Mac の場合、AVCHD 動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできない場合があります。（iMovie の詳細は、Apple にお問い合わせください）

ソフトウェアをダウンロードする

- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 対応 OS は 2018 年 2 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。

PHOTOfunSTUDIO 10.0 AE

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理したりできます。また、写真の補正や動画の編集、DVD への書き込みなどもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。

本ダウンロードは 2023 年 3 月まで有効です。

http://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs10ae.html



写真や動画をパソコンに残す

・動作環境

対応 OS	Windows® 10 (32 bit/64 bit) Windows® 8.1 (32 bit/64 bit) Windows® 7 (32 bit/64 bit) SP1 • 4K 動画、4K フォトをご利用の場合、Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 の 64 bit 版 OS が必要です。
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB 以上 (32 bit) / 2 GB 以上 (64 bit)
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量

- 4K 動画の再生、編集機能や、4K フォトの写真切り出し機能をご利用の場合の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF) をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使えません。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

・動作環境

対応 OS	Windows® 10 Windows® 8.1 Windows® 8 Windows® 7 Mac OS X v10.6 ~ v10.11、macOS 10.12 および 10.13
-------	--

- SILKYPIX Developer Studio の動作環境や使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトウェアラボトリーのサポートサイトをご覧ください。

LoiLoScope -30 日間フル体験版

(Windows 10 / 8.1 / 8 / 7)

簡単に動画を編集することができます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。

<http://loilo.tv/product/20>

- LoiLoScope の詳しい動作環境や使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」は Mac では使えません。

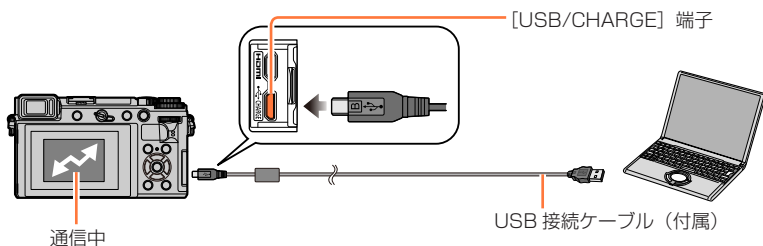
写真、動画を取り込む

準備

- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.255)
- 本機とパソコンの電源を入れる。

1 本機とパソコンを接続する

- 端子カバーを開ける (P.23)
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。



- 表示中は USB 接続ケーブル (付属) を抜かない。

2 ▼ で [PC(Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [セットアップ] メニューで [USB モード] を [PC(Storage)] に設定しておく、[USB モード] の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

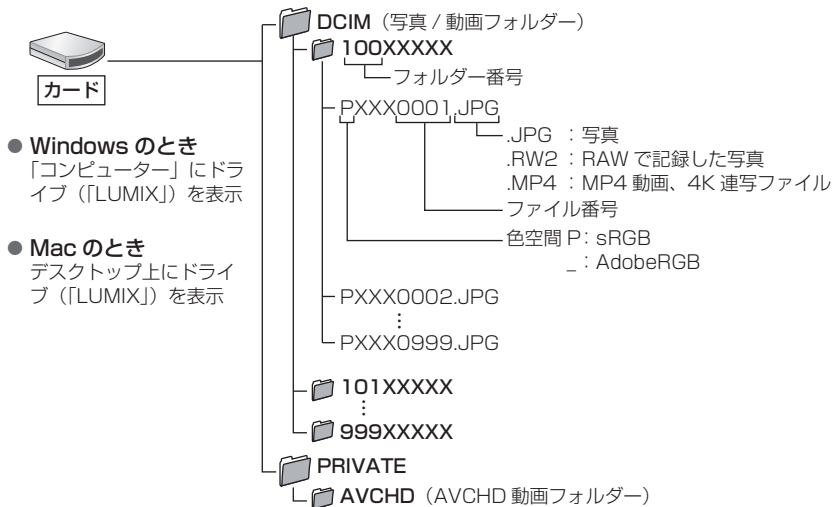
- カードの抜き差しは、本機の電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター (別売: DMW-AC10) および DC カプラー (別売: DMW-DCC11) を使用してください。
- バッテリー使用時、USB 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。USB 接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。

写真や動画をパソコンに残す

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ&ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

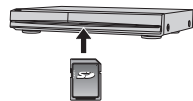
- 本機のカードの中（フォルダー構造）は以下ようになります。



写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。

- 本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式（JPEG、RAW、AVCHD、MP4）によって他の機器への取り込み方法が異なります。
- [画像横縦比] を [16:9] 以外に設定し撮影した 4K 連写ファイル（MP4 形式）は、4K 動画取り込みに対応した当社製レコーダーであっても、ハードディスクへダビングすることができない場合があります。（2018 年 2 月現在）
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。



プリントする

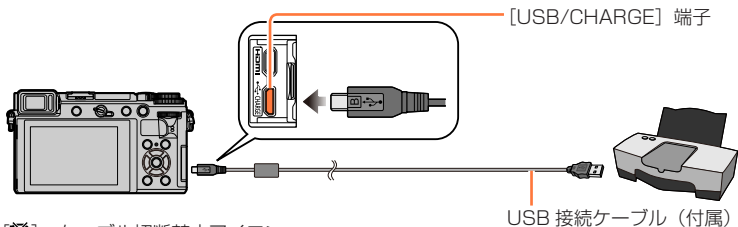
本機を ピクトブリッジ PictBridge 対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備

- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

1 本機とプリンターを接続する

- 端子カバーを開ける (P.23)
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。



[X]：ケーブル切断禁止アイコン

- 表示中は USB 接続ケーブル（付属）を抜かない。（プリンターによってはアイコンが表示されません）

2 ▲で [PictBridge (PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶でプリントする写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

【複数プリント】

複数まとめてプリントします。

1 「プリントする」 (P.259) の手順 3 で ▲ を押して複数プリントに設定する

2 ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数選択	① ▲▼◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す) ② [DISP.] ボタンを押して実行する
全画像	すべての画像
レーティング	[レーティング] を設定した画像

3 ▲ で [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像は、グループ単位ではなく 1 枚ずつ表示されます。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター (別売 : DMW-AC10) および DC カプラー (別売 : DMW-DCC11) を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB 接続ケーブル (付属) を抜いてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの取扱説明書をお読みください。
- プリント中に黄色の [●] が表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
- プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。(残り枚数の表示が設定と異なることがあります)
- 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像はプリントできません。
- RAW で記録した写真はプリントできません。(同時に記録した JPEG 形式の写真はプリントできます)

プリントする

■本機でプリントの各種設定をする

プリント枚数や用紙サイズなどを設定できます。[プリント開始] を選ぶ前に設定してください。

日付プリント	ON (日付プリントする) /OFF
プリント枚数	枚数を設定 (最大 999 枚)
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- [日付プリント] を [ON] にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。(プリンター側の設定が優先される場合があります)
- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには [🔒] (プリンター優先) を選び、プリンター側で設定してください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)

■写真に日付や文字を入れる

[再生] メニューの [文字焼き込み] で日付や日時を写真に焼き込むことができます。(P.208)

■ [文字焼き込み] せずに日付などをプリントする

お店プリントの場合：

撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。

- ・ [個人認証] または [プロフィール設定] の [月齢 / 年齢] や [名前]、[トラベル日付] の [旅行先]、[タイトル入力] で入力した文字は、お店でプリントできません。

プリンターの場合：

日付プリント対応プリンターをお使いの場合は、本機で [日付プリント] (P.261) を [ON] に設定すると、撮影日時を印刷できます。

ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。

別売品を使う

外部フラッシュ（別売）

フラッシュライト（別売：DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L）を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。



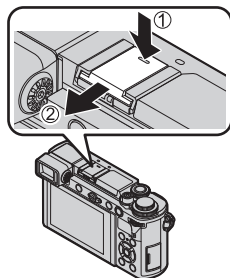
準備

内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを [OFF] にしてください。

ホットシューカバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す



1 ホットシューに外部フラッシュを取り付け、本機と外部フラッシュの電源を入れる

- 本機で外部フラッシュの設定をするとき (P.137)
- ワイヤレスフラッシュの設定について (P.141)



本機（DC-GX7MK3）との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることできる製品をお使いください。
- 絞り優先 AE モードまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先 AE モードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラム AE モードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）



別売品を使う

- 外部フラッシュ装着時は、フラッシュ使用時も以下の機能が使えます。
 - ・ 絞りブラケット
 - ・ フォーカスブラケット
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

AC アダプター（別売） / DC カプラー（別売）

AC アダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC11）を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。

AC アダプターと DC カプラーは、必ずセットでお買い求めください。本機の場合、単独では使用できません。

- AC アダプターおよび DC カプラーの取扱説明書もお読みください。



海外旅行先で使う

AC アダプター（付属）は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは AC アダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

変換プラグの付け方



主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

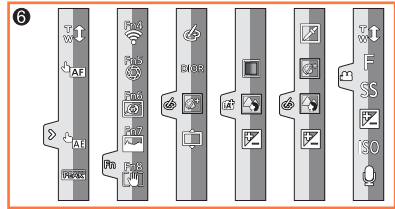
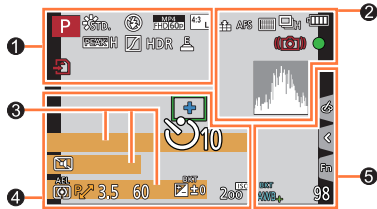
北米							
アメリカ合衆国 A	カナダ A	ハワイ A					
ヨーロッパ							
イギリス BF, B3	イタリア C (C2)	オーストリア C (C2), SE	オランダ C (C2), SE	ギリシャ A, B, B3, C (C2), SE	スイス A, B, C (C2), SE		
スウェーデン B, C (C2), SE	スペイン A, C (C2), SE	デンマーク C (C2)	ドイツ A, C (C2), SE	ノルウェー C (C2)	ハンガリー C (C2)		
フィンランド B, C (C2)	フランス A, C (C2), SE	ベルギー B, C (C2), SE	ロシア A, C (C2), SE				
アジア							
インド B, BF, B3, C (C2)	インドネシア B, B3, C (C2), SE	シンガポール B, BF, B3	タイ A, BF, C (C2)	大韓民国 A, C (C2), SE	台湾 A, C (C2), O		
中華人民共和国 すべて	フィリピン A, O	ベトナム A, BF, C (C2), SE	香港特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マカオ特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マレーシア B, BF, B3, C (C2)		
オセアニア							
オーストラリア O	グァム島 A	サイパン島 A	トンガ O	ニュージーランド O	フィジー A, B, C (C2), O		
中南米							
アルゼンチン BF, C (C2), SE	プエルトリコ A, BF, C (C2)	ブラジル A, C (C2), SE	メキシコ A, C (C2), SE				
中東・アフリカ							
アラブ首長国連邦 B, BF, B3	エジプト BF, B3, C (C2), SE	クウェート B, B3, C (C2)	トルコ A, B, C (C2), SE	南アフリカ共和国 B, BF, B3, C (C2)	モロッコ A, C (C2), SE		
タイプ	A	B	BF	B3	C (C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ		ヨーロッパタイプ			オーストラリアンタイプ
コンセント 形状							
変換 プラグ	不要です						

モニター / ファインダーの表示一覧

モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 画面は [モニター表示設定] を [] (モニタースタイル) に設定時の例です。
- 表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時



1		撮影モード (P.38)
3		カスタムセット (P.79)
4		フォトスタイル (P.160)
5		フラッシュ設定 (P.136、137、139、141)
		EX テレコン (動画時) (P.130)
		記録方式 / 画質設定 (P.145)
		スナップムービー (P.148)
		画像横縦比 (P.158) / 記録画素数 (P.159)
		EX テレコン (写真時) (P.130)
		画像サイズ (パノラマモード) (P.66)
		画像効果 (フィルター) 調整表示 (P.72、162)
		画像効果 (フィルター) 種別 (P.162)
		ループ記録 (P.104)
		カード (記録時のみ表示) (P.28)
		記録経過時間*1 (P.143)
		同時記録表示 (P.147)
		ファインダー / モニター自動切換 (P.36)
		ビーキング (P.181)
		ハイライトシャドウ (P.165)
		HDR (P.171) / iHDR (P.58)
		多重露出 (P.172)
		デジタルズーム (P.132)

	電子シャッター (P.170)
	動画撮影中の写真撮影 (写真優先) (P.147)
	温度上昇表示 (P.274)
2	
	クオリティ (P.159)
	フォーカスモード (P.81、92)
	フォーカスブラケット (P.122)
	オートフォーカスモード (P.82)
	プリント送り (P.149)
	個人認証 (P.185)
	AF ロック (P.95)
	連写 (P.117)
	4K フォト (P.102)
	フォーカスセレクト (P.112)
	セルフタイマー (P.119)
	バッテリー残量表示 (P.25)
	手ブレ補正 (P.127、128)
	手ブレ警告表示 (P.127)
	4K プリ連写 / プリ記録 (P.103)
	フォーカス (緑点灯) (P.37) / 記録動作 (赤点滅) (P.143)
	フォーカス (低照度時) (P.80)
	フォーカス (星空 AF 時) (P.80)
	Wi-Fi 接続状態
	Bluetooth 接続状態 (P.218)

モニター / ファインダーの表示一覧

② (続き)

GPS	位置情報記録 (P.228)
	ヒストグラム表示 (P.182)

③

名前*2 (P.187)
トラベル経過日数*3 (P.189)
月齢 / 年齢*2 (P.187)
旅行先*3 (P.189)
現在日時 / 旅行先設定*3 : (P.188)
露出メーター (P.183)
焦点距離表示 (P.133)
ステップズーム (P.133)

④

	AF エリア (P.88)
+	スポット測光ターゲット (P.164)
+	センターマーカー表示 (P.182)
	セルフタイマー (P.119)
	録音レベル表示 (P.173)
	サイレントモード (P.169)
AEL	AE ロック (P.95)
	測光モード (P.46、164)
	プログラムシフト (P.60)
3.5	絞り値 (P.37)
BKT 3.5	絞りブラケット (P.122)
60	シャッタースピード (P.37)
	露出補正 (P.96)
BKT ±0	露出ブラケット (P.121)
	明るさ (露出) (P.59、75)
	マニュアル露出アシスト (P.62)
200	ISO 感度 (P.97)

⑤

	ダイヤル操作ガイド (P.180)
AWBc	ホワイトバランス (P.99)
BKT AWB+	ホワイトバランスブラケット (P.101)
	ホワイトバランス微調整 (P.100)

	色合い (P.58)
98	記録可能枚数 (P.29)
r20	連続撮影可能枚数 (P.117)
残 XXmXXs	記録可能時間*1 (P.30)

⑥

タッチタブ (P.180)	
	タッチズーム (P.134)
	タッチシャッター (P.45)
	タッチ AF (P.45)
	タッチ AE (P.46)
	ピーキング (P.181)
	ファンクションボタン (P.51)
	色合い (P.59)
	ポケ味コントロール (P.59、75)
	明るさ (露出) (P.59、75)
	ぼかし方 (ジオラマ) (P.74)
	ワンポイントカラー (P.74)
	サンシャイン (P.74)
	画像効果 (フィルター) 調整表示 (P.72、162)
(P.59)	画像効果の入 / 切 (P.162)
(P.75)	画像効果 (フィルター) (P.162)
(P.76) DIOR	絞り値 (P.76)
F	シャッタースピード (P.76)
SS	ISO 感度 (P.76)
ISO	録音レベル設定 (P.76)

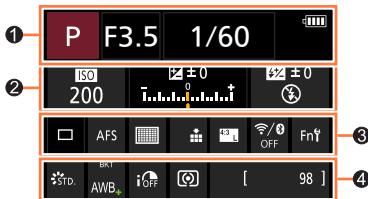
*1 h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

*2 [プロフィール設定] を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。

*3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

モニター / ファインダーの表示一覧

■ モニター撮影情報画面

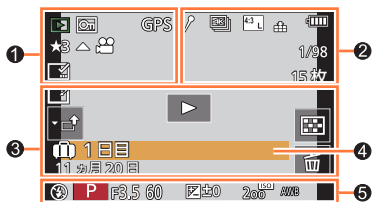


1		撮影モード (P.38)
	F3.5	絞り値 (P.37)
	1/60	シャッタースピード (P.37)
		バッテリー残量表示 (P.25)
2		ISO 200
		±0
		露出ブラケット
		明るさ (露出)
		フラッシュ設定
		マニュアル露出アシスト (P.62)
		フラッシュ設定 (P.136、137、139、141)

3		単写 (P.116)
		連写 (P.117)
		4K フォト (P.102)
		フォーカスセレクト (P.112)
		セルフタイマー (P.119)
		フォーカスモード (P.81、92)
		オートフォーカスモード (P.82)
		クオリティ (P.159)
		画像横縦比 (P.158) / 記録画素数 (P.159)
		Wi-Fi/Bluetooth (P.214)
		ファンクションボタン設定 (P.51)
4		フォトスタイル (P.160)
		ホワイトバランス (P.99)
		ホワイトバランスブラケット (P.101)
		ホワイトバランス微調整 (P.100)
		iD レンズコントロール (P.166)
		測光モード (P.46、164)
	98	記録可能枚数 (P.29)
	r20	連続撮影可能枚数 (P.117)
	残 XXmXXs	記録可能時間* (P.30)

*h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

再生時



1		再生モード (P.201)
		プロテクト (P.201)
	GPS	位置情報あり (P.228)
	★3	レーティング (P.201)
		ケーブル切断禁止アイコン (P.259)
		動画再生 (P.151)
		パノラマ再生 (P.67)
		グループ画像連続再生 (P.155)
		4K 連写ファイルから写真を保存 (P.105)
		フォーカスセレクト撮影した画像から写真を保存 (P.113)
		フォーカスブラケット撮影したグループ画像 (P.155)
		文字焼き込み済み (P.208)
	XXhXXmXXs	再生経過時間※1
2		マーカーあり表示 (P.106、107)
		4K フォト (4K 連写ファイル) (P.102)
		フォーカスセレクト (P.112)
		フォーカス合成 (P.114)
	4:3 L	画像横縦比 (P.158) / 記録画素数 (P.159)
	MP4 FHD60p	記録方式 / 画質設定 (P.145)
	SNAP	スナップムービー (P.148)

	クオリティ (P.159)
	バッテリー残量表示 (P.25)
1/98	画像番号 / トータル枚数
	Wi-Fi 接続状態
15 枚	グループ画像枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間※1 (P.151)
	ループ記録 (P.104)

3		クリアタッチ済み表示 (P.207)
		情報取得中アイコン
		再生 (動画) (P.151)
	1 日目	トラベル経過日数 (P.189)
		アップロード (Wi-Fi) (P.240)
		グループ表示 (P.155)
		サブメニューアイコン (P.240)
		サイレントモード (P.169)
		マルチ再生 (P.153)
		消去 (P.156)

4	名前※2 (P.185、187)
	旅行先※2 (P.189)
	タイトル※2 (P.202)
	月齢 / 年齢 (P.185、187)

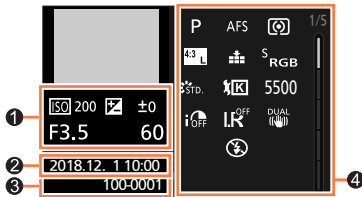
5	撮影情報
---	------

*1 hは「hour (時間)」、mは「minute (分)」、sは「second (秒)」を省略した表示です。

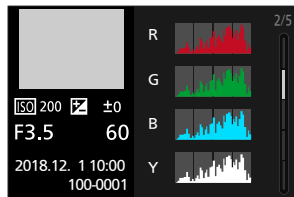
*2 [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん/ペット)、[名前] (個人認証) の優先順位で表示されます。

モニター / ファインダーの表示一覧

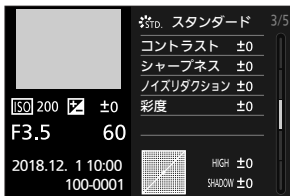
詳細情報表示



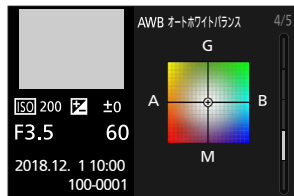
ヒストグラム表示



フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示



ホワイトバランス表示



レンズ情報表示



①
撮影情報 (基本)

②
撮影日時 / ワールドタイム (P.188)

③
100-0001 フォルダー・ファイル番号 (P.258)

④
撮影情報 (詳細)

5500	ホワイトバランス (色温度) (P.99)
iOFF	iD レンズコントロール (P.166)
HDR ON	HDR (P.171) /iHDR (P.58)
L.R OFF	超解像 (P.166)

メッセージ表示

画面に表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カード

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？

- ・パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.29) してください。
- ・別のカードを入れてお試しください。

リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください

- ・カードが確実に入っているか確認してください。(P.27)
- ・電源を切ってからカードを抜き、再びカードを入れてから電源を入れてください。
- ・別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- ・動画の〔記録方式〕や〔画質設定〕によって必要なカードのスピードクラスが異なります。4K フォトの撮影には、必要なカードのスピードクラスがあります。対応したカードをお使いください。(P.28)
- ・推奨のスピードクラスのカード (P.28) を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット (P.29) することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で撮影が終了する場合があります。

メモリーカードエラー / このカードは使用できません

- ・対応するカードをご使用ください。(P.28)

■バッテリー

このバッテリーは使えません

- ・パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・バッテリーの端子部のごみなどを取り除いてください。

■レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- ・レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(P.31)
- ・電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- ・レンズを本体から取り外し、レンズ側と本体側の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。再度レンズを取り付け、電源を入れ直し、それでも表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。



メッセージ表示

■ Wi-Fi 機能

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P.246)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/
ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

■ その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF 規格 (P.150) に準拠していない画像は消去できません。パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。(P.29)

この画像には設定できません

- DCF 規格 (P.150) に準拠していない画像は [タイトル入力]、[文字焼き込み] などができません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.29) してください。フォーマットを行ったあとに [セットアップ] メニューの [番号リセット] を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。(P.196)

電源を入れ直してください / システムエラー

- 電源を入れ直してください。(それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

Q&A 故障かな？と思ったら

①まず、272～279 ページの方法をお試しください。

それでも解決できない場合は、

- ② [セットアップ] メニューの [設定リセット] (P.196) を行うと症状が改善する場合があります。
- ③ また、パナソニックのサポートサイトで最新のサポート情報をご確認いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- ④ これらの処置をしても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

本機を振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

■ 電源、バッテリー

充電ランプが点滅している。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電している。
→ 周囲の温度が 10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところで USB 接続ケーブル（付属）をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

電源を入れても動作しない。電源を入れてもすぐ切れる。

- バッテリーが消耗している。
→ 充電してください。(P.21)

電源が勝手に切れる。

- [エコモード] が働いている。(P.191)

バッテリーの消耗が早い。

- [録画] (4K プリ連写) や [プリ記録] に設定している。
→ [録画] (4K プリ連写) や [プリ記録] に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなります。撮影するときだけ設定してください。
- 長時間 Wi-Fi 接続を行っている。
→ Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。[エコモード] (P.191) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

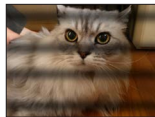


Q&A 故障かな?と思ったら

■撮影

蛍光灯やLEDなどの照明下で、ちらつきや横しماが出る。

- 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しماが軽減されることがあります。(P.61)
- 動画撮影中、蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しماが目立つ場合、[フリッカー軽減] (P.173) を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120] から選択できます。クリエイティブ動画モード (P.76) でも手動でシャッタースピードを設定できます。



撮影できない。シャッターボタンを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先] が [フォーカス] に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影されません。(P.178)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子が汚れている。(指紋などの汚れが付いている)
→ レンズが汚れたときは、電源スイッチを [OFF] にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
→ 撮像素子が汚れたとき (P.281)

撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。

- 不適切な状態で AE ロック (P.95) がかかっている。

1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを [単写] 以外に設定している。(P.116)
- ブラケットを設定している。(P.120)

ピントが合わない。

- 撮影可能範囲から外れている。
- [フォーカス/リリース優先] が [リリース] になっている。(P.178)
- [シャッター半押し AF] が [OFF] になっている。(P.176)
- 不適切な状態で AF ロック (P.95) がかかっている。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまう被写体にピントが合わない場合があります。

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
→ 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー (P.119) の使用をお勧めします。

Q&A 故障かな?と思ったら

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試ください。
 - ISO 感度を低くしてください。(P.97)
 - [フォトスタイル] の [ノイズリダクション] をプラス方向にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P.161)
 - [長秒ノイズ除去] を [ON] に設定してください。(P.168)

被写体が曲がって撮影される。

- 電子シャッター撮影時、動画撮影時または 4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

ISO 感度が高いとき、横しماが出る。

- ISO 感度が高いとき、使用するレンズによっては横しماが撮影されることがあります。
 - ISO 感度を低くしてください。(P.97)

撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しماが現れたりすることがあります。


被写体がない明るい点が記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。
 - [ピクセルリフレッシュ] (P.197) を行ってください。

露出補正ができない。

- [カスタム] メニュー (操作) の [ダイヤル設定] で [露出補正ダイヤル] を [OFF] に設定時は、後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換えてください。(P.96)

4K フォトの撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。




■動画

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画の【記録方式】や【画質設定】によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。(P.28)

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの音が録音される。録音される音声が小さい。

- 静かな環境下での撮影や、使用するレンズによっては、絞りやフォーカスなどの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は【AF 連続動作】(P.146)で【OFF】に設定することができます。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画に操作音が記録される。

- 操作音が気になるときは、クリエイティブ動画モードで撮影することをお勧めします。(P.76)

■レンズ

レンズを他のデジタルカメラに取り付けたときに、マニュアルフォーカス操作ができない。

- 交換レンズ(H-FS12032)は対応した機種でのみマニュアルフォーカス操作ができます。詳しくは、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>



Q&A 故障かな?と思ったら

■フラッシュ

発光しない。

- 次の場合は発光しません。
 - フラッシュを閉じている。
 - [ⓧ] (発光禁止) になっている。(P.135、137、138)
- [シャッター方式] を [自動切換] または [メカシャッター] に設定してください。(P.170)
- [サイレントモード] を [OFF] に設定してください。(P.169)

■モニター / ファインダー

電源が入っているときに、モニター / ファインダーが消える。

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、[LVF / モニター自動 OFF] (P.191) が働き、モニター / ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があると、モニター表示がファインダー表示に切り換わることがあります。(P.36)

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機ファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像には問題ありません。

■再生

再生できない。撮影した画像がない。

- カメラにカードが入っていない。
- パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか? その場合、本機で再生することはできません。
 - パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.255) を使うことをお勧めします。
- [再生モード] を [通常再生] に設定してください。(P.201)

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正 ([⚡👁️]) または [⚡👁️]) が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
 - 内蔵フラッシュを閉じる、フラッシュモードを [👁️] にする、または [デジタル赤目補正] を [OFF] にして撮影することをお勧めします。(P.166)



Q&A 故障かな?と思ったら

■Wi-Fi 機能

無線 LAN に接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi 接続全般

- 無線 LAN ネットワークの通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。
→ 機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。〔通信エラー〕などのメッセージが表示されます
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイント

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
→ 無線アクセスポイントの近くで接続してください。
→ 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
→ 無線アクセスポイントの電源を切って、入れ直してください。
→ 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1 ~ 11 チャンネルの中から選び、設定してください。
- 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。
→ ネットワーク SSID を入力して設定してください。(P.246) もしくは、無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。

スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてください。

「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント / Microsoft アカウント）があります。
→ ローカルアカウントを設定して、必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Q&A 故障かな?と思ったら

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。**Wi-Fi 機能を使用してパソコン (Mac/Windows) に接続できない。**

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。
→ [Wi-Fi 設定] の [PC 接続設定] で、接続するパソコンのワークグループ名へ変更してください。(P.250)
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているかご確認ください。
- カメラ本体と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できない場合があります。
→ カメラ本体の [時計設定] / [ワールドタイム] が、Windows の「日付と時刻」 / 「タイムゾーン」または、Mac の「日付と時刻」 / 「時間帯」と合っているか、ご確認ください。大きくずれている場合、合わせてください。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報 (ログイン ID/ ユーザー名 / メールアドレス / パスワード) が間違っていないか確認してください。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。**画像送信が途中で失敗する。送信できなかった画像がある。**

- 画像のサイズが大きすぎませんか?
→ [動画分割] で動画を分割して送信してください。(P.211)
→ [送信サイズ] で画像サイズを小さくして送信してください。(P.232)
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
→ 無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる画像のファイル形式は異なります。(P.231)

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

- [セットアップ] メニューの [ネットワーク設定リセット] を実行してください。(P.196)
ただし、お客様が [Wi-Fi 設定] や [Bluetooth] で設定した情報もリセットされます。

■ テレビ、パソコン、プリンター**テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。**

- 正しく接続していない。(P.252)
- テレビの入力切替を外部入力にしていない。

ビエラリンク (HDMI) が働かない。

- 本機の [ビエラリンク] を [ON] に設定していますか? (P.194)
→ 接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- 本機の [USB モード] を [PC(Storage)] にしてください。(P.193、257)
- 本機の電源を入れ直してください。

Q&A 故障かな?と思ったら

パソコンにカードが認識されない。(SDXC メモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンが SDXC メモリーカードに対応しているか確認してください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの [通信中] の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブル (付属) を抜いてください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridge 対応機を使用していない。
- 本機の [USB モード] を [PictBridge(PTP)] にしてください。(P.193、259)

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。
- 写真の横縦比がプリントする用紙の横縦比と異なる。
→ お店に依頼した場合、16:9 のサイズに対応しているか確認してください。

■ その他

本機を振ると装着したレンズから「カタカタ」音がする。

- 装着するレンズによっては、レンズが内部で移動することで音がする場合があります。故障ではありません。

電源 [ON] 時に、本体から音がする。

- ダストリダクション機能 (P.281) が動作する音で、故障ではありません。

レンズ部から音がする。

- 電源を入れたり、切ったりするときレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。

- [AF 補助光] を [ON] にしている。(P.177)

本機が熱くなる。

- ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→ 再度時計を設定してください。(P.33)

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど）からはできるだけ離れて使ってください。
 - ・ テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
 - ・ スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
 - ・ マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
 - ・ 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。
- 電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
 - ・ 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなる場合があります。
- 付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。
- 本機のそばにクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。
 - ・ かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーまたは DC カプラー（別売：DMW-DCC11）、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。



使用上のお願いとお知らせ

■撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを [ON] にすると自動的に働きますが、特にごみが気になる場合は [セットアップ] メニューの [センサークリーニング] を行ってください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、次のことを必ずお守りください。

- ブロワー（市販）で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れしないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ファインダー / アイカップのお手入れ

- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、ブロワー（市販）でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。



使用上のお願いとお知らせ

しばらく使わないとき

- 電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
 - ・特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります。
 - ・時計設定はバッテリーを取り出しても、約3か月記憶します。
(満充電のバッテリーを入れて約24時間経過した場合)
- ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤(シリカゲル)とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく(15℃～25℃)、湿気の少ない(湿度40%RH～60%RH)、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

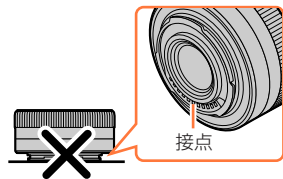
モニター/ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が見れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ部を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くとときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取り付け部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。



使用上のお願いとお知らせ

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

- 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
 - 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
 - スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
 - 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプター（付属）と USB 接続ケーブル（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P.264）
- バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
 - 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



AC アダプター（付属）について

- AM ラジオからは 1 m 以上離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- AC アダプター（付属）の内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています）

カードやデータについて

- カードやデータの破損を防ぐために
 - ・高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
 - ・折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
 - ・使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
 - ・カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
 - ・本機やパソコンの機能による [フォーマット] や [消去] では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することを勧めます。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

三脚 / 一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認してください。(三脚の取扱説明書もお読みください)
- 三脚 / 一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚 / 一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター (別売 : DMW-TA1) を取り付けてから三脚 / 一脚に装着することをお勧めします。

ショルダーストラップについて

- 本体に重いレンズ (約 1 kg 以上) を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。



使用上のお願いとお知らせ

個人情報について

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードや Wi-Fi 機能ロックを設定することをお勧めします。(P.250)

[プロフィール設定] / 個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

[サイレントモード]、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

● 免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。

個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [ネットワーク設定リセット] / [消去・退会] を行って必ず消去してください。(P.196、244)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P.196)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻ることがあります。
- 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

● メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。(P.284)**● 画像を Web サービスにアップロードするとき**

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。



Wi-Fi 機能について

■本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

* SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

使用上のお問い合わせ

- G MICRO SYSTEM は、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠した LUMIX のレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズロゴマークはオリンパス（株）の日本・米国・EU・その他の各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズロゴマークはオリンパス（株）の日本・米国・EU・その他の各国の商標または登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- "AVCHD"、"AVCHD Progressive"、および "AVCHD Progressive" のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- "Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- LEICA/ライカはライカマイクロシステムズ IR GmbH の登録商標です。SUMMILUX/ズミルックスはライカカメラ社の登録商標です。LEICA DG レンズは、ライカカメラ社の品質基準に基づき、ライカカメラ社が認定した測定機器と品質保証システムによって生産されています。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。





本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。

(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。



さくいん

あ行

アイカップ	281
アイセンサー	36、193
アイセンサー AF	176
青空をさわやかに撮る	69
アクセス表示	28
圧縮率	159
位置情報記録	228
位置情報データ消去	232
イルミネーションをキラキラ撮る	70
色温度設定	99
色空間	163
インターバル撮影	123
インターバル動画作成	211
インテリジェントオートプラスモード	55
インテリジェントオートメニュー	57
インテリジェントオートモード	55
インテリジェント ISO	97
インプレッシブアート	72
ヴィヴィッド	160
動くペットをきちんと撮る	70
後ダイヤル	38
エコモード	191
オートフォーカス	80
オートフォーカスモード	82
オートホワイトバランス (AWB)	100
オートマーキング	108
オートレビュー	180
オールドデイズ	72
お気に入りから接続する (Wi-Fi)	248
お手入れ	280

か行

カード	27、28、284
回折補正	169
ガイドライン表示	182
外部フラッシュ	262
顔・瞳認識	56、83
拡張 ISO 感度	176
下限シャッター速度	167
画質設定 (動画撮影時)	145

画質調整	161
カスタム (フォトスタイル)	160
カスタムセット登録	79
カスタムマルチ (AF)	85
カスタムメニュー	175
カスタムモード	79
カスタムモードメニュー	157
風音キャンセラー	174
画像回転	210
画像サイズ (パノラマ)	66
画像表示順	212
画像横縦比	158
カメラ内の画像を送る (Wi-Fi)	231、232
カレンダー再生	154
感度 (アイセンサー)	193
機器名称 (Wi-Fi)	250
軌跡合成	206
逆光でしっかり撮る	69
逆光でふんわり撮る	69
逆光補正	57
記録画素数	159
記録可能時間 (動画撮影時)	30
記録可能枚数	29
記録方式 (動画撮影時)	145
記録枠表示	184
クイックメニュー	49
クイック AF	176
クオリティ	159
クラウド上限枚数動作	232
クラウド同期サービス	241
クリアレタッチ	207
クリエイティブコントロールメニュー	71
クリエイティブコントロールモード	71
クリエイティブ動画メニュー	76
クリエイティブ動画モード	76
グループ画像	155
クロスフィルター	73
クロスプロセス	73
言語設定	194
光学ズーム	130
個人認証	185

さくいん

子どもをかわいく撮る 69
 コマ撮りアニメ 125
 コマ撮りアニメ作成 211
 コントラスト 161

さ行

再生 150
 再生ズーム 153
 再生メニュー 199
 再生モード 201
 彩度 161
 サイレントモード 169
 撮影距離基準マーク 93
 撮影中に画像を送る (Wi-Fi) 231
 撮影メニュー 158
 撮影方向 (パノラマ) 66
 撮影 / 再生切換 52、53
 三脚 284
 サンシャイン 73、74
 残枚数 / 残時間切換 184
 シーンガイドモード 68
 シーン切換 68
 シェーディング補正 168
 ジオラマ 73、74
 色調 161
 自動画像転送 227
 自動時刻合わせ 228
 自動シーン判別 56
 視度調整 36
 絞りブラケット 122
 絞り優先 AE モード 61
 シャープネス 161
 シャッターディレイ 170
 シャッター半押しリリース 176
 シャッター半押し AF 176
 シャッター方式 170
 シャッター優先 AE モード 61
 充電 21
 消去 156
 消去確認画面 212
 常時プレビュー (M モード) 181
 焦点距離設定 129
 焦点距離表示 133

省電力ファインダー撮影 191
 ショルダーストラップ 20
 シルキーモノクローム 72
 人物 160
 人物の肌をきれいに撮る 69
 人物をきれいに撮る 69
 スイーツをかわいく撮る 70
 水準器 42
 水準器調整 197
 水面をキラキラ撮る 69
 ズーム 130
 ズーム速度 133
 ズームリング操作 133
 スタANDARD (フォトスタイル) 160
 ステップズーム 133
 スナップムービー 148
 スポーツをきれいに撮る 70
 スポット測光 164
 スマートフォンとつないで使う 223
 スライドショー 200
 スライドフォトセレクト画面 106
 スリープモード 191
 スリープモード (Wi-Fi) 191
 スリープモードからの復帰動作 226
 設定リセット 196
 セットアップメニュー 188
 セピア 72
 ゼブラパターン表示 183
 セルフタイマー 119
 セルフタイマー自動解除 184
 センサークリーニング 197
 センターマーカー表示 182
 操作ロック 52
 操作ロック設定 179
 送信サイズ 232
 送信ファイル形式 232
 測光モード 164
 ソフトフォーカス 73

た行

タイトル入力 202
 ダイナミックモノクローム 72
 タイム撮影 63



ダイヤル設定 40
 ダイヤル動作切換設定 40
 ダイヤル操作ガイド 180
 ダイレクトフォーカス移動 177
 多重露出 172
 ダストリダクション機能 281
 タッチシャッター 45
 タッチズーム 134
 タッチ設定 180
 タッチタブ 180
 タッチパッド AF 90、180
 タッチパネル 44
 タッチ AE 46
 タッチ AF 45、91、180
 縦位置検出機能 34
 縦位置自動回転 212
 縦 / 横位置フォーカス切換 178
 ダビング 251、259
 中央重点測光 164
 超解像 166
 長秒ノイズ除去 168
 追尾 (AF) 84
 露付き 13
 低照度 AF 80
 デジタル赤目補正 166
 デジタルズーム 132
 手ブレ補正 127
 デモモード 197
 手ブレロック (動画) 128
 テレビ再生 230、251、252
 テレビ接続設定 194
 電子音 190
 電子シャッター 170
 電子補正 (動画) 128
 トイフォト 73
 トイポップ 73
 動画から写真を作成 152
 動画再生 151
 動画撮影 37、52、76、143
 動画撮影中の写真撮影 147
 動画分割 211
 動画ボタン 37、143、179
 動画メニュー 173
 動画露出設定 76

時計設定 33
 ドライブモード 116
 トラベル日付 189
 取扱説明書の Web サイト 188
 トリミング (切抜き) 210

な行

ナチュラル 160
 認証情報 250
 認証情報編集 202
 ネットワークアドレス表示 250
 ネットワーク設定リセット 196
 ノイズリダクション 161

は行

バージョン表示 194
 ハイキー 72
 ハイダイナミック 72
 ハイライトシャドウ 165
 ハイライト表示 182
 パソコンに画像を残す 236、255
 発光禁止 135、137、138
 発光モード 136、142
 バッテリー 21、283
 花をふんわり撮る 70
 パノラマメニュー 66
 パノラマモード 66
 バルブ撮影 225
 パワーズームレンズ 133
 番号リセット 196
 ピーキング 181
 ピエラリンク 194、254
 比較明合成 205
 ピクセルリフレッシュ 197
 ヒストグラム表示 182
 日付プリント 261
 ピント 37、80、146
 ピント送り 149
 ピンポイント AF 設定 177
 ピンポイント (AF) 87
 ファイル番号 195、196、258、269

ファインダー 36、265
 ファインダー / モニター自動切換 36、193
 ファンクションボタン 51
 ファンタジー 73
 フィルター効果 71、161、162
 フィルター設定 162
 フィルターなし同時記録 71、163
 風景 160
 風景をきれいに撮る 69
 フェード 148
 フォーカスエリア選択 52
 フォーカス合成 114
 フォーカスセレクト 113
 フォーカスセレクト撮影 112
 フォーカスブラケット 122
 フォーカスモード 80、81、92
 フォーカス枠のループ移動 178
 フォーカス / レリーズ優先 178
 フォーマット 29
 フォトスタイル 160
 フォルダー番号 195、196、258、269
 フォルダー / ファイル設定 195
 ブラケット撮影 120
 フラッシュ 56、135
 フラッシュ光量調整 140、142
 フラッシュシンク口 139
 フラッシュ設定 137
 フラッシュモード 137
 プリーチバイパス 73
 プリ記録 103
 フリックカー軽減 173
 プリント 234、259
 プリント枚数 261
 プレビューモード 64
 プログラムシフト 60
 プログラム AE モード 60
 プロテクト 201
 プロフィール設定 187
 ポケ味コントロール 59、75
 星空 AF 80
 ホットシュー 262

ホットシューカバー 262
 ポップ 72
 ボディ内手ブレ補正 127
 ほのぼのした雰囲気撮る 69
 ホワイトバランス 99
 ホワイトバランス微調整 100
 ホワイトバランスブラケット 101

ま行

マーカー 108
 マイメニュー設定 198
 前ダイヤル 38
 マニュアル発光量設定 136、142
 マニュアルフォーカス 92
 マニュアル露出モード 62
 マルチ再生 153
 マルチ測光 164
 メカシャッター 170
 メニューガイド 184
 文字入力 54
 文字焼き込み 208
 モニター 265
 モニター輝度 193
 モニター撮影情報画面 42、49、51、267
 モニター調整 192
 モニター表示速度 192
 モノクローム 72、160
 モノクロで撮る 70
 モノクロライブビュー 180

や行

夜景をアーティスティックに撮る 69
 夜景を暖かく撮る 69
 夜景をきれいに撮る 69
 夜景を手持ちで撮る 70
 夜景をバックに人物をきれいに撮る 70
 夕焼けを印象的に撮る 69
 夕焼けを幻想的に撮る 69
 夜空をクールに撮る 69

ら行

ライブビューブースト	181
ラフモノクローム	72
リサイズ (縮小)	209
リモート起動	223
リモート撮影	224
リモート優先操作設定	224
粒状	161
料理をおいしそうに撮る	70
履歴から接続する (Wi-Fi)	248
ループ記録	104
レーティング	201
レトロ	72
連写	117
連写速度	117
レンズ	19、31、282
レンズ位置メモリー	184
レンズ内手ブレ補正	127
レンズフード	32
レンズ Fn ボタン設定	184
ローキー	72
録音レベル設定	174
録音レベル表示	173
露出ブラケット	121
露出補正	96
露出補正ダイヤル	40、96
露出補正リセット	176
露出補正連動	140
露出メーター	183

わ行

ワールドタイム	188
ワイヤレス設定	141
ワイヤレスチャンネル	141
ワイヤレス通信光量	142
ワイヤレスフラッシュ	141
ワイヤレスプリント	234
ワイヤレスモード	141
ワイヤレス FP	142
ワンタッチ AE	65
ワンポイントカラー	73、74

英数字

1 点 (AF)	87
1 枚消去	156
49 点 (AF)	85
4K 動画	143、251
4K フォト	102
4K フォト一括保存	205
4K プリ連写	102、103
4K ライブクロップ	77
4K 連写	102、103
4K 連写ファイル	103、105
4K 連写 (S/S)	102、103
5 軸ハイブリッド手ブレ補正	127
AC アダプター	
	23、263、264、283
AF エリア表示	178
AF 補助光	177
AF 連続動作 (動画)	146
AFC	81、146
AFF	81、146
AF-ON	95
AFS	81、146
AFS/AFF	81
AF/AE ロック	95
AF/AE ロック維持	176
AF/AE ロック切換	95
AF+AE	91
AF+MF	178
AV 機器 (Wi-Fi 接続)	235
AVCHD	145
AVCHD Progressive	145
B (バルブ)	225
Bluetooth	190、213
DC カプラー	263
DCF 規格	150
Dual I.S.	127
EX テレコン	130
F n ボタン設定	51
HDAVI Control™	254
HDMI 出力解像度 (再生時)	194

HDMI 情報表示 (撮影時)	194、253	USB モード	193
HDMI マイクロケーブル	251 ~ 254	Web サービス	238
HDR	171	Wi-Fi	189、213
i 手持ち夜景	57	Wi-Fi 機能ロック	250
iD レンジコントロール	166	Wi-Fi 設定	250
iHDR	58	Wi-Fi ネットワーク設定	190
Image App	216	Wi-Fi パスワード	250
iOS	216	WIRELESS 接続ランプ	190、214
IP アドレス	250	WPS	245、247
ISO オート上限設定 (写真)	167		
ISO オート上限設定 (動画)	76		
ISO 感度	97		
ISO 感度ステップ	176		
i.ISO (インテリジェント ISO)	97		
<small>ルミックス クラブ ピクメイト</small> LUMIX CLUB (PicMate)	238、242		
LVF 調整	192		
LVF/ モニター切換	193		
LVF/ モニター自動 OFF	191		
LVF/ モニター表示スタイル	52		
LVF/ モニター表示設定	41		
L. モノクローム	160		
L. モノクローム D	160		
MAC アドレス	250		
MF	92		
MF アシスト	93、179		
MF アシスト表示	179		
MF ガイド	93、183		
MP4	145		
PC 接続設定	250		
PHOTOfunSTUDIO	255		
<small>ピクメイト</small> PicMate 設定	242		
<small>ピクトブリッジ</small> PictBridge(PTP)	193、259		
<small>クイックメニュー</small> Q.MENU	49、50		
RAW	159		
RAW 現像	203		
SD スピードクラス	28		
T (タイム)	63		
TTL	136		
TV で見る (Wi-Fi)	230		
UHS スピードクラス	28		
USB 接続ケーブル	23、257、259		

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

©Panasonic Corporation 2018